

課内保存用

※配付厳禁※



平成14年度 ジュニアスタディーツアー

Junior Study Tour 2002

# 報告書



アルゼンチン



ボリビア



ブラジル



カナダ



キューバ



日本



ペルー



フィリピン



シンガポール



アメリカ

◎ 沖縄県

(財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

## は じ め に

ジュニアスタディーツアー事業は、北米、南米を中心に世界各地に在住する海外県系人子弟を沖縄県に招待し、県内外の児童生徒とともに、沖縄の歴史、文化、自然などの体験学習をとおして母県・沖縄との絆を深めることにより、県系人社会の発展とウチナーネットワークを担う次世代の人材育成に貢献することを目的としています。

本事業は、平成13年7月に「第3回世界のウチナーンチュ大会」のプレイベントとして実施されました。世代交代が進みつつある海外県系人社会の若い年齢層にウチナーンチュアイデンティティーの継承が図られる一方で、県内の児童生徒が、海外の若い世代との交流の中で国際的視野を広げた等、高い評価をいただくとともに、継続して欲しいとの海外県人会からの強い要望を受け、平成14年度から新規の事業として実施しています。

平成14年度は、海外9か国・14県人会から県系人子弟と引率者合わせて29名が来県し、県内の中学・高校生20名、国内沖縄県人会子弟4名とともに、7月下旬の1週間にわたり、県内各地で様々な体験学習を行いながら、交流を深めました。

沖縄の美しい海と山原の自然を舞台としたエコツアー、首里城の美しさ、三線の音色、エイサーの勇壮なリズム、沖縄の歴史・平和学習、ホームステイによる親戚との団らん、また、県内高校生ボランティアの協力による交流会、国際通り散策、キャンプファイヤーなど盛り沢山のプログラムが実施されました。ツアーに関わった皆さんは、言葉や生活習慣の違いを乗り越え、意欲的に沖縄の歴史、文化、自然、ことばの学習に努め、無事、全日程を修了されました。

この報告書は、スタディーツアーの記録として、期間中の写真、参加者のツアー後の成果や滞在中に受けた印象・感想を取りまとめたものです。参加者の皆さんのよき思い出となるとともに、今後、母県・沖縄への関心を高め、移住先国と沖縄県の交流促進の一助となれば幸いです。

このスタディーツアーで育んだ友情を大切にして、海外から参加された皆さんが、母国県人会の発展に尽くされるとともに、本県との友好親善の架け橋として活躍されること、また、ツアーに関わった皆さん一人ひとりが、国際的視野を一層広げ、将来、国際交流・協力の担い手としてご活躍されることを心から期待しております。

終わりに、ジュニアスタディーツアーの実施にあたり、御尽力いただきました関係者の皆様に改めて心から感謝申し上げますとともに、今後とも本県の国際協力及び国際交流の推進に対し、御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げ発刊のごあいさつといたします。

平成14年10月

沖縄県文化環境部長 永山 政邦

# ジュニアスタディーツアー報告書

## 目次

はじめに

目次

感想文人名別索引

■ 事業概要	1
■ スケジュール	2
海外参加者出迎え	6
第一日目	7
第二日目	8
第三日目	9
第四日目	10
第五日目	11
第六日目	12
第七日目	13
帰国	14
■ ジュニアスタディーツアーに参加して	17
■ 資料編	89
受入実績	89
平成14年度参加者名簿	90
平成13年度（第3回ウチナアンチュ大会）参加者名簿	92
制作物	95
参加申込書・引率者調査表	96
パーティー式次第	97
評価と反省・要望点	98
協力団体	99
新聞記事	100
世界で活躍するウチナアンチュ	102

## 感想文人名別索引

### ■海外参加者

当間 嗣栄 マウリシオ (ブラジル)	17
Mauricio Shiei Touma	
高良 グラウシヤ ネンシー (ブラジル)	19
Glaucia Nancy Takara	
志良堂 ジャケリネ (ブラジル)	21
Jacqueline Shirado	
米須 トマス (アルゼンチン)	22
Tomas Komesu	
島袋 エリアーナ ビルヒーニア (アルゼンチン)	24
Eliana Virginia Shimabukuro	
広中 山城 ルイス フェルナンド (ペルー)	26
Luis Fernando Hironaka Yamagusuku	
ゴンザレス 平良 ハイメ (ペルー)	31
Jaime Gonzales Taira	
仲里 秋奈 (ボリビア)	33
Akina Nakazato	
ヴェレス 真栄城 ロニー (ボリビア)	34
Rony Velez Maeshiro	
ナリマン ピーニャ フォンテ (キューバ)	36
Narryman Piña Fonte	

### ■県内参加者

宮城 聖里香 Serika Miyagi	55
大城 奈津紀 Natsuki Ohshiro	55
山城 夢乃 Yumeno Yamashiro	56
宮里 あすか Asuka Miyazato	57
嵩本 哲也 Tetsuya Takemoto	58
西筋 理奈 Rina Irisuji	58
玉城 智佳 Chika Tamaki	59
國場 雄作 Yusaku Kokuba	60
又吉 香穂利 Kahori Matayoshi	61
石井 雄大 Takehiro Ishii	62
宮里 諒哉 Ryoya Miyazato	63
奥間 友里恵 Yurie Okuma	63
與那城 美姫乃 Mikino Yonashiro	64

### ■引率者

具志堅 ジーナ 美千代 Gina Michiyo Gushiken (ブラジル沖縄県人会)	73
新里 ダニエル エステバン Shinzato Daniel Esteban (在亜沖縄県人会)	73
赤嶺 光弘 Mitsuhiro Akamine (ペルー沖縄県人会)	75
エステル タマキ トーレス Esther Tamaki Torres (キューバ沖縄県人会)	76
呉屋 君子 Kimiko Goya (北米沖縄県人会)	79
大城 順市 Junichi Oshiro (北加沖縄県人会)	80
藤田 みどり Midori Fujita (トロント球陽会)	81
エステーラ アレホ アドルフォ Estela Alejo Adolfo (フィリピン沖縄県人会)	84
橋本 真理 Mari Hashimoto (星流会・シンガポール)	87

清本伊舎良 マッシュー誠 (アメリカ)	37
Matthew Makoto Kiyomoto-Isara	
伊良波 クリストファー マイケル (アメリカ)	39
Christopher Michael Iraha	
比嘉 クリステイン ミヨシ (アメリカ)	41
Cristan Miyoshi Higa	
バウチャー 飛鳥 (アメリカ)	43
Asuka Christine Boutcher	
ジョナサン サンダース (アメリカ)	44
Johnathan David Saunders	
ジョセフ リー バザード (アメリカ)	46
Joseph Lee Buzzard	
藤田 エリザベス 由利子 (カナダ)	47
Elizabeth Yuriko Fujita	
ミシェル アバダニア ペベニト (フィリピン)	49
Michelle Abedania Pebenito	
ジョネロベス コメロス イグナシオ (フィリピン)	52
Jonerobeth Comeros Ignacio	
照屋 なつ子 (シンガポール)	54
Natsuko Teruya	

伊良波 一美 Kazumi Iraha	65
嘉数 真菜 Mana Kakazu	65
比嘉 麻臣 Asami Higa	66
平敷 綾 Aya Heshiki	67
山城 信裕 Nobuhiro Yamashiro	67
杉山 星河 Seika Sugiyama	68
川平 一之 Kazuyuki Kawahira	69

### ■県外参加者

川崎 麻奈美 Manami Kawasaki	70
金城 香奈 Kana Kinjo	70
糸洲 久美子 Kumiko Itosu	71
與那嶺 美香 Mika Yonamine	72

# 事業概要

## ■ 目的

海外県系人子弟を沖縄県に招待し、県内外の児童生徒とともに、沖縄の歴史、文化、自然などの体験学習をとおして、母県・沖縄との絆を深めることにより、県系人社会の発展とウチナーネットワークを担う次世代の人材育成に貢献する。

## ■ 事業内容

(1) 実施時期：7月22日(月)～7月28日(日)

※7月20日、21日来沖、29日離沖

(2) 参加者

- 海外参加者：14～18歳までの海外県系人子弟20名
- 海外引率者：県人会が推薦、生徒の引率及び通訳の役割9名
- 県内参加者：沖縄県内の中学・高校生20名
- 国内参加者：日本国内の県系人子弟中学・高校生4名
- その他：通訳ボランティア、スタッフボランティア等10名程度

ア 海外・国別内訳(9か国・14県人会・29名)

ブラジル	4名(1)	アメリカ合衆国	8名(2)
アルゼンチン	3名(1)	カナダ	2名(1)
ペルー	3名(1)	フィリピン	3名(1)
ボリビア	2名	シンガポール	2名(1)
キューバ	2名(1)		

【( )内の数字は、引率者で内数】

イ 海外・世代別内訳

海外参加者	2世=4名、3世=9名、4世=7名
海外引率者	1世=5名、2世=3名、3世=1名

(3) 学習プログラム

### ①自然学習

世界有数の美しい海とそこにある自然、生物に触れあいながらその大切さを学ぶ。

### ②歴史学習

首里城をはじめ、ユネスコ世界遺産に登録された琉球のグスクをめぐりながら、沖縄の歴史とロマンに触れる。

### ③文化学習

三線、エイサー、伝統芸能、空手、焼き物等の体験学習をする。






### ④平和学習

南部戦跡、平和祈念資料館、平和の礎等を見学しながら、平和の意味を考える。






### ⑤沖縄の社会学習

県庁、県議会訪問、米軍基地、黒糖工場等を見学。








月日 時間	7月21日(日)	7月22日(月)	7月23日(火)	7月24日(水)	7月25日(木)	7月26日(金)	7月27日(土)	7月28日(日)	7月29日(月)
7:00			起床 朝食	起床 朝食	起床(6:00) 朝食(6:30)	起床 朝食	起床 朝食		
8:00					出発		出発		
9:00	来沖日		社会学習	平和学習	伝統芸能体験	自然学習1(山)			帰沖日
10:00			県庁表敬 ・県民ホール	・平和祈念資料館	・玉泉洞 ○三線 } 1つ ○舞踊 } ○空手 }	・やんばるエコツアー	自然体験2(海) ・ビーチレクリエーション 海洋博記念公園		
11:00			記念写真	・平和の礎		2班に分かれて 同じコースを体験			
12:00			県議会棟見学	・平和祈念堂	昼食				
13:00		集合 (財)沖縄県国際交流・人 材育成財団 オリエンテーション	国際通り散策	昼食	○エイサー (全員) 		ホームステイの家族へ引 き渡し(北部)		
14:00		宿泊先へ移動	歴史学習 ・首里城	伝統工芸体験 ・琉球ガラス村	玉泉洞出発	エコツアー終了	ホームステイの家族へ引 き渡し(中部)		
15:00				伝統工芸体験 ・琉球漆器	嘉手納基地を通過	名護バイナッブルパーク	ホームステイの家族へ引 き渡し(南部)		
16:00		交流プログラム			黒糖工場見学	バスで宿泊先へ 宿舎着			
17:00									
18:00									
19:00	ウェルカムパーティー ・宿泊先のホールにて		夕食 ・宿泊先で	夕食 ・宿泊先で	夕食 バーベキュー キャンプファイヤー	夕食		さよならパーティー ・沖縄都ホテル 瑞雲の間(B1F)	
20:00									
21:00	ミーティング(20分)		ミーティング(20分)	ミーティング(20分)	ミーティング(20分)	ミーティング(20分)			
22:00	就寝		就寝	就寝	就寝	就寝			
宿泊先	ハイパーホテル (海外参加者)	ホテルスポーツロッジ糸満	ホテルスポーツロッジ糸満	ホテルスポーツロッジ糸満	ペンション 「キャロライナ」	ペンション 「キャロライナ」	ホームステイ (親戚知人宅・一般家庭)	ハイパーホテル (海外参加者及び離島参加者)	

Day Time	21/July (Sun.)	22/July (Mon.)	23/July (Tue.)	24/July (Wed.)	25/July (Thurs.)	26/July (Fri.)	27/July (Sat.)	28/July (Sun.)	29/July (Mon.)
7:00			Wake-up time Breakfast	Wake-up time Breakfast	Wake-up time(6:00) Breakfast(6:30)	Wake-up time Breakfast	Wake-up time Breakfast		
8:00									
9:00	Arrive in Okinawa				Culture & Performing arts class	·Yanbaru Ecology Tour	·Recreation at beach		Departure
10:00			Visit the Okinawa Prefectural Government	·Peace Prayer and Memorial Park	·Gyokusen-do ○Sanshin ○Buyo (Ryukyu dance) ○Karate				
11:00				·Cornerstone of Peace					
12:00		Meeting place: Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation (OIHF) Orientation	Lunch	·Peace Prayer and Memorial Hall	Lunch ·Eisa dance show & class		Meet host families at beach (First group)		
13:00			Naha city Tour	Lunch					
14:00				Traditional arts class ·Ryukyu glass fabric			Meet host families (Second group)		
15:00		Arrive at the hotel	·Shurijo Castle		Leave Gyokusen-do Pass the Kadena Air Base	Leave Yanbaru	Meet host families at OIHF (Last group)		
16:00		Interchange program		·Lacquerware	·Factory of brown sugar	·Nago pineapple park			
17:00						Return to the lodge			
18:00									
19:00		Welcome Party	Dinner at the hotel	Dinner at the hotel	Dinner (B.B.Q)	Dinner		Farewell Party with host families	
20:00					Campfire				
21:00			Briefing (20min)	Briefing (20min)	Briefing (20min)	Briefing (20min)			
22:00		Bed time	Bed time	Bed time	Bed time	Bed time			
Lodging	Hyper Hotel Naha	Hotel Sports Lodge Itoman	Hotel Sports Lodge Itoman	Hotel Sports Lodge Itoman	Pension Carolina	Pension Carolina	Overnight stay at host family's	Hyper Hotel Naha	

ホームステイ  
KOHOSHUHO  
HOHOSHUHO  
HOHOSHUHO  
HOHOSHUHO

	21/Julio (Domingo)	22/Julio (Lunes)	23/Julio (Martes)	24/Julio (Miércoles)	25/Julio (Jueves)	26/Julio (Viernes)	27/Julio (Sábado)	28/Julio (Domingo)	29/Julio (Lunes)
7:00			Levantarse Desayuno	Levantarse Desayuno	Levantarse(6:00) Desayuno(6:30)	Levantarse Desayuno	Levantarse Desayuno		
8:00									
9:00	Llegada a Okinawa 		Visita Oficial al Gobernador de Okinawa (Kencho)	Parque Commemorativo de la Paz · Lápida de la Paz	Práctica de artes tradicionales · Gyokusendo · Sanshin · Buyo (Baile Ryukyu) · Karate	· Ecoturismo por Yanbaru	· Recreación en la playa 		Regreso al país 
10:00				· Templo Commemorativo de la Paz					
11:00				Almuerzo	Almuerzo				
12:00		Lugar de reunión: Fundación Internacional de Intercambio y Desarrollo Recursos Humanos de Okinawa (OIHF) Orientación	Almuerzo	Show de Eisa 			Encuentro con los familiares de Okinawa (primer grupo)		
13:00			Paseo por la ciudad de Naha	Clase de artesanía tradicional · Taller de Vidrio	Salida de Gyokusendo		Recibimiento(segundo grupo)		
14:00			Visita : · Castillo de Shuri				Recibimiento(último grupo) : OIHF en Naha		
15:00		Llegada al hotel		· Taller de laqueado de Okinawa		Salida de Yanbaru			
16:00		Programa de intercambio			· Fábrica de azúcar negra(caña de azúcar)	· Nago Pineapple Park			
17:00						Llegada a la Pensión			
18:00			Llegada al hotel						
19:00		Fiesta de Bienvenida	Cena en el hotel	Cena en el hotel	Cena (Barbacoa) Fogata	Cena en la Pensión		Fiesta de despedida	
20:00									
21:00			Reunión	Reunión	Reunión	Reunión			
22:00		Hora de acostarse	Hora de acostarse	Hora de acostarse	Hora de acostarse	Hora de acostarse			
Aloja- miento	Hyper Hotel Naha	Hotel Sports Lodge Itoman	Hotel Sports Lodge Itoman	Hotel Sports Lodge Itoman	Pensión Carolina ( Norte de Okinawa)	Pensión Carolina ( Norte de Okinawa)	Estadía con la familia de Okinawa	Hyper Hotel Naha	



	21/Julho (Domingo)	22/Julho (2a)	23/Julho (3a)	24/Julho (4a)	25/Julho (5a)	26/Julho (6a)	27/Julho (Sábado)	28/Julho (Domingo)	29/Julho (2a)
7:00			Acordar Café da manhã	Acordar Café da manhã	Acordar(6:00) Café da manhã(6:30)	Acordar Café da manhã	Acordar Café da manhã		
8:00									
9:00	Chegada em Okinawa 		Visita oficial ao Governador de Okinawa	Museu Memorial da Paz Lápide da Paz Pavilhão da Paz	Aulas de Cultura e Artes Tradicionais • Gyokusendo ○ Sanshin ○ Buyo (Dança de Okinawa) ○ Karate Almoço	Ecoturismo em Yanbaru  Almoço	Recreação na praia 		Retorno ao país 
10:00									
11:00									
12:00		Lugar de reunião: Fundação de Intercâmbio Internacional e Desenvolvimento de Recursos Humanos de Okinawa(OIHF) Reunião de orientação	Almoço  City Tour em Naha	Almoço	Aula de Eisa 		Encontro com as famílias de Okinawa para homestay(na Praia)  Encontro		
13:00									
14:00				Aulas de Lições de Artesanato de Okinawa • Vidracaria	Saída do Gyokusendo		Encontro ( na OIHF)		
15:00		Chegada ao alojamento	Castelo de Shuri	• Laqueados Okinawanos	Fabrica de açúcar	Saída Yanbaru Nago Pineapple Park			
16:00		Programa de intercâmbio							
17:00			Chegada ao alojamento	Chegada ao alojamento	Chegada ao alojamento	Chegada ao alojamento			
18:00									
19:00		Festa de Boas-vindas	Jantar	Jantar	Jantar (Churrasco) Fogueira	Jantar		Festa de Despedida	
20:00									
21:00			Reunião (20 min)	Reunião (20 min)	Reunião (20 min)	Reunião (20 min)			
22:00		Hora de dormir	Hora de dormir	Hora de dormir	Hora de dormir	Hora de dormir			
Alojamento	Hyper Hotel Naha	Hotel sports lodge Itoman	Hotel sports lodge Itoman	Hotel sports lodge Itoman	Pension Carolina	Pension Carolina	Estada na casa anfitriã	Hyper Hotel Naha	

# 海外参加者出迎え

## スケジュール

7月20日 来沖日  
アルゼンチン  
ブラジル  
ボリビア  
ペルー

7月21日 大阪  
キューバ  
ハワイ  
フィリピン  
ロサンゼルス  
サンフランシスコ  
アトランタ  
トロント  
ワシントンD.C.

7月22日 シンガポール

宿泊先：ハイパーホテル那覇



平成14年7月22日（月）

スケジュール

オリエンテーション  
（財）沖縄県国際交流・  
人材育成財団にて

交流プログラム  
ホテルスポーツロッジ糸満にて

ウェルカムパーティー

宿泊先：ホテルスポーツロッジ糸満



平成14年7月23日（火）

スケジュール

県庁表敬  
議会棟見学  
国際通り散策  
歴史学習  
・首里城

宿泊先：  
ホテルスポーツロッジ糸満



平成14年7月24日（水）

スケジュール

平和学習

- ・ 平和祈念資料館
- ・ 平和の礎
- ・ 平和祈念堂

伝統工芸体験

- ・ 琉球ガラス作り
- ・ 琉球漆器作り

宿泊先：

ホテルスポーツロッジ糸満



平成14年7月25日（木）

スケジュール

伝統芸能体験

- ・玉泉洞
- 三線
- 琉球舞踊
- 空手
- エイサー体験

嘉手納基地通過

黒糖工場見学

夕食（バーベキュー）  
キャンプファイヤー  
ペンションにて

宿泊先：

ペンション「キャロライナ」



平成14年7月26日（金）

スケジュール

自然学習1（山）  
・やんばるエコツアー  
慶佐次ヒルギ公園  
比地大滝

名護パイナップルパーク

宿泊先：

ペンション「キャロライナ」



平成14年7月27日（土）

スケジュール

自然体験2（海）  
・ビーチレクリエーション  
海洋博記念公園

ホームステイの家族宅へ

ホームステイ

宿泊先：ホームステイ  
（親戚知人宅・一般家庭）





平成14年 7月28日 (日)

スケジュール

# ホームステイ

さよならパーティー  
・沖縄都ホテル  
瑞雲の間 (地下1F)

宿泊先：ハイパーホテル那覇



# 帰 国

## スケジュール

7月29日 キューバ  
アトランタ  
トロント  
サンフランシスコ  
ワシントン  
フィリピン  
石垣  
宮古  
アルゼンチン  
ブラジル  
ボリビア  
シンガポール  
ハワイ  
ロサンゼルス  
ペルー  
大阪  
神奈川





ジュニアスタディーツアーに参加して



当間嗣栄 マウリシオ  
Mauricio Shiei Touma  
ブラジル Brazil  
ブラジル沖縄県人会  
4世



### 『今、私はウチナンチュだと自慢できます』

7月20日から29日までジュニアスタディーツアーに参加できてとても楽しかったです。良い勉強になりました。私の先祖の国の文化や歴史、習慣など知り、本当にウチナンチュなのだと感じました。

ブラジルから私と参加した友達は、とても思いやりのある人達でした。知り合う事ができて、とても幸せでした。これからも文通を続けていきたいです。

沖縄ではいろいろ見学しました。県庁、首里城、平和祈念公園、ヤンバル、玉泉洞、琉球ガラス、国際通り、とても楽しかったです。最初に私達ブラジル人が参加したのは沖縄の踊りを鑑賞しました。とても楽しかったです。その後、引率者のみちよさんのお母さんがパーティーに招待してくれました。みちよさんのお母さんは金城先生と同じく踊りの先生です。

見学で一番気に入ったのは首里城でした。私が感心したのは、城が戦争で壊れて、今は素晴らしく再建されていることです。そして首里城の中に王様の部屋の非常口が3階にあったこと、そして城の下にはほら穴もありました。昔の儀式の模型もいろいろありました。

私はアララクアラ市で仲村渠先生に三線を習っています。玉泉洞で空き缶の三線を初めて見ました。感心しました。エイサーも習って、大太鼓もできとても楽しかったです。ヤンバルの自然の美しさに感動しました。川の水の清らかさ、森の緑、比地大滝の素晴らしさ空気が良かったです。

悲しかった時もありました。それは平和祈念公園に行った時でした。そこで世界の平和を祈りました。

ジュニアスタディーツアーに参加してとても良い勉強になりました。色々な国の友達もたくさん出来るチャンスもありました。ポルトガル語が上手な沖縄のよう子さんとみのりさんにも色々

とお世話になりました。

内藤さん、おおしろさん、気分が悪かった時手伝ってくれて助かりました。一生忘れません。沖縄に行ってきたたくさん知ることが出来ました。新しい三線も買えました。私の心にウチナーは深く残ることでしょう。

今、私はウチナンチュだと自慢することが出来ます。出来るだけ、沖縄の文化を友達に伝えます。そして良い文化交流が出来るように頑張ります。

稲嶺沖縄県知事様、実行委員会事務局の皆様、ブラジル沖縄県人会の皆様にお礼を申し上げます。心から感謝しております。

Gostei muito de ter participado deste programa de intercâmbio cultural, pois com isso vejo que aprendi muito sobre a história, cultura e tradição da terra dos meus antepassados e me senti muito mais UCHINANCHU!

O pessoal que foi comigo do Brasil foi muito simpático. São todas pessoas muito boas; nunca vou esquecer-las e espero continuar a manter contato com todas elas: Jacqueline, Nancy e Michiyo.

Em Okinawa, visitamos muitos lugares bonitos e inesquecíveis, tais como o *Kencho*, *Shurijo*, *Heiwa Kinen Koen*, *Yambaru*, *Gyokusendo*, *Ryukyu Glass* e *Kokusaidoori*. Estes lugares chamaram muito a minha atenção pela sua beleza e riqueza cultural. Fiquei muito grato por ter tido a oportunidade de visitá-los.

De todos os lugares que visitamos, o que mais atraiu minha atenção foi o *Castelo de Shuri (Shurijo)*, pois o castelo é muito bonito, e um dos fatos mais interessantes é que o castelo foi destruído durante a II Guerra Mundial, porém, foi totalmente restaurado A MÃO, uma coisa

incrível! São locais interessantes: a parte interna do castelo, o local onde o imperador ficava, a saída de emergência que dá ao terceiro andar, além da caverna existente debaixo do castelo. Realmente são locais muito impressionantes. Havia umas maquetes retratando algumas das cerimônias que ocorriam no castelo antigamente.

Em um dos primeiros dias, nós do Brasil fomos ver a apresentação de odori do Grupo do BRASIL que estava se apresentando em Okinawa. Foi um espetáculo muito bonito. Depois disto, fomos convidados pela mãe da Michiyo, *Gushiken Sensei*, para participarmos da festa que o pessoal fez para as dançarinas e senseis. A sensei, que ensina odori em Araraquara, *Sra. Setsuko Kaneshiro*, igualmente se apresentou naquele dia.

Houve momentos em que fiquei triste, como quando visitei *Heiwa Kinen Koen* pois não pude visitar algumas partes do parque porque não estava passando bem. Fiquei também triste em outros lugares por causa dos problemas intestinais.

Gostei igualmente de *Gyokusendo*, pois neste lugar fomos aprender a tocar *Sanshin*. Estou praticando este instrumento, em Araraquara, com o *Nakandakare Sensei*. Aprendemos também a dançar *Eisá*, algo também que estou aprendendo com a *Sensei Setsuko Kaneshiro*. Visitamos a caverna existente no local que é muito linda e inesquecível.

A natureza de Okinawa com suas águas límpidas e transparentes, o verde das florestas e a cachoeira muito linda de *Yambaru* são lembranças que ficarão sempre gravadas na minha memória.

Apreciei muito as festas das quais participei. Tive a chance de encontrar muitas pessoas legais, como, por exemplo, os jovens voluntários Leandro e Leonardo que moravam em São Paulo e que já estão morando em Okinawa há dois anos. Fiquei muito amigo deles. Fiz amizade também com a Yoko, uma okinawana muito receptiva que inclusive falava o português muito bem. Além disso, havia a Minori, uma voluntária okinawana simpática, que igualmente falava português. Todos eles nos auxiliarem muito durante a realização do evento.

Durante o programa, fiz amizades com diversas pessoas e ficamos amigos. Não vou esquecer-los. Posso mencionar entre outros amigos o Luís Fernando (Hiroshi) e Jaime (Jimmy) do Peru; Tomas e Daniel da Argentina; os okinawanos: Ryoya (Gori), Kahori e especialmente Moriyasu (Mori), um cara que me ajudou muito e foi legal demais comigo.

Fiquei muito amigo também dos assessores *Naito-san* e *Oshiro-san*, pessoas que me ajudaram bastante na recuperação da minha indisposição intestinal. O pessoal voluntário que ficou à disposição da galera da América Latina foi muito legal.

Meus sinceros agradecimentos às seguintes pessoas:

Sra. *Mitsue Yamada*, minha professora de nihongo do Kumon, que me treinou muito para este tour;

Sr. *Tokio Asato*, presidente da Associação Okinawa de Araraquara, que me incentivou muito até o fim para este tour;

Srs. *Shigeru* e *Kyoko Miyagi*, meus parentes okinawanos, que me acolheram muito bem em sua casa, me levaram a lugares lindos e me ajudaram a fazer as compras;

Srs. Coordenadores desse programa de intercâmbio particularmente;

Sr. *Keiichi Inamine*, Governador de Okinawa;

Todos que me auxiliaram direta e indiretamente durante este maravilhoso programa.

No final deste tour, aprimorei muito meu conhecimento a respeito de Okinawa. Comprei muitas lembranças, inclusive um *sanshin* para mim, para que UCHINÁ esteja sempre perto de mim.

Agora, principalmente, tenho ainda mais orgulho de ser UCHINANCHU! E sei que, se depender de mim, não deixarei a tradição okinawana morrer, pois nunca esquecerei de UCHINÁ!

Prometi a meus amigos de UCHINÁ que voltarei a Okinawa, e vou cumprir essa promessa se Deus quiser, no próximo FESTIVAL UCHINANCHU TAIKAI que será daqui a 4 anos.



高良 グラウシア ネンシー  
GlauCIA Nancy Takara  
ブラジル Brazil  
ブラジル沖縄県人会  
3世



## 『沖縄の人々の温かさや文化を感じました』

まず、私の祖先の文化を知る機会を与えて下さり、沖縄県に感謝申し上げます。また、スタッフ、ボランティアの皆さんの思いやりと、私の夢をかなえてくれたブラジル県人会にも感謝します。

私達の7日間の沖縄での滞在は、様々なプログラムがあった。初日、私達グループは、沖縄にいるブラジルの女の子達の踊る琉球舞踊を鑑賞した。地元の観客の喜んだ顔を見て、とても嬉しく思った。

次の日、ウェルカムパーティーがあった。私達はサンバを踊り、みんなで楽しんだ。私達のダンスは好評で、その日から毎晩、みんなから教えてくれるように頼まれた。

私達は県庁、首里城、平和祈念資料館など、色々な場所を訪れた。特に資料館は、多くの人が苦しんだ沖縄戦のビデオと、その戦争で犠牲になった人々の名が刻まれた平和の礎、この忘れられない二つのものを見て、この旅で一番印象に残った場所だった。それから、私は生命と世界平和の大事さを考えるようになった。

また、沖縄の首都那覇の街を知ることもできた。玉泉洞では、三線、舞踊、空手のグループに分かれて、それぞれ学んだ。私は、子供の頃に習っていた舞踊を選んだ。そして、その後はみんなでエイサーも踊った。その時、沖縄の文化に触れた気がした。

ヤンバルでのエコツアーでは、滝までの道のり沖縄の偉大な自然と、マングローブの重要性を学んだ。また、私達は海にも行くことが出来た。

最後の日、皆とても仲良くなっていたので、さよならパーティーはとても寂しかった。今は、インターネットや手紙、そして何度か電話でも連絡を取りあっています。

最後にまた、私の助けになってくれた皆さんに感謝したいです。沖縄で自分が観光客だとは感じませんでした。沖縄の人々の温かさや、文化を感じました。ブラジルにいる多くの県系人の子供達にも、私のこの感情を伝える必

要があると思っています。そして、私は今、もっとウチナーンチュに近づいたように思っています。本当にありがとうございました。

Primeiramente, gostaria de agradecer ao governo okinawano por possibilitar o aprofundamento da cultura a descendentes desta ilha que encontram-se em toda parte do mundo. Também sou grata à dedicação dos coordenadores e voluntários do Junior Study Tour 2002 e não posso deixar de agradecer a Associação Okinawa do Brasil por ter concretizado um sonho meu ao me selecionar.

Ficamos em Okinawa por 7 dias (21 à 28 de Julho) respeitando a programação feita pelo governo. Como no primeiro dia podíamos passear por conta própria, nós, brasileiros (acabamos por levar nossos amigos argentinos), decidimos assistir à apresentação de buyô representadas pelas meninas de nosso país. Tive uma sensação de orgulho ao ver o sorriso nos rostos do público okinawano. No dia seguinte, na Festa de Boas Vindas, Jackeline Shirado e eu sambamos e todos divertiram-se com o ritmo e os movimentos da música brasileira. O “sucesso” foi tanto que todas as noites pediam para ensinar-lhes samba.

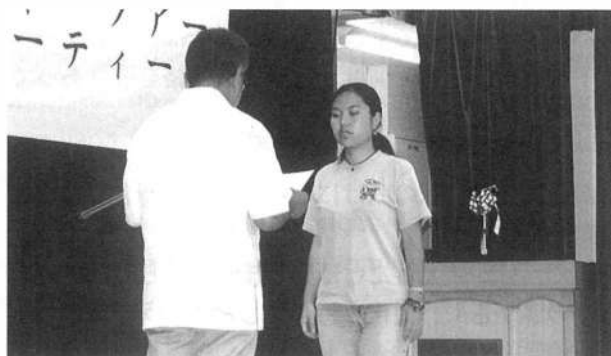
Visitamos vários lugares tais como: o Prédio do Governo, o Castelo de Shuri e o Museu Memorial da Paz que foi o lugar que mais marcou a viagem para mim já que vi duas coisas que nunca esquecerei: o filme sobre a Batalha de Okinawa devido ao sofrimento da população e as lápides onde estão cravadas os nomes de todos os mortos na guerra. Desta forma, aprendi a valorizar ainda mais a vida e refletir sobre a paz mundial.

Conhecemos ainda um pouco de Naha (capital de Okinawa). Em Gyokusendo, o grupo dividiu-se para aprender sanshin, buyô ou karatê. Escolhi o

buyô, já que quando era criança praticava este tipo de dança. Depois, o grupo tocou Eisa. Nesse momento, me senti mais próxima da cultura okinawana. Em Yanbaru (região Norte), fizemos ecoturismo conhecendo a Natureza, e importância de preservar os mangues e ainda caminhamos até chegar a cachoeira. Tivemos, também, oportunidade para ir a praia.

No último dia, houve uma Festa de Despedida que foi muito comovente já que o grupo se entrosou de tal maneira que até hoje mantemos contato pela internet, por cartas e algumas vezes por chamadas telefônicas.

Finalizando, gostaria de agradecer novamente todos que me ajudaram. Gostaria também de dizer que não agi como turista: senti o calor do povo okinawano e vivi a cultura fortalecendo então meus laços culturais. Sinto a necessidade de transmitir minhas impressões para os descendentes de Okinawa do meu país e me sinto mais uchinanchu agora. Muito obrigada!







志良堂 ジャケリネ

Jacqueline Shirado

ブラジル Brazil

カンポグランデ沖縄県人会

4世



## 『いちやりば ちょーでー』

私はカンポグランデ沖縄県人会を通して、ジュニアスタディーツアーの参加者に選ばれました。沖縄への訪問という私の夢がかなうとは、信じられませんでした。

沖縄に着いた時、私は日本語があまり上手く話せないで少し心配でしたが、リラックスした雰囲気のおかげでみんなと会話する勇気が出ました。

短い期間ではありましたが、このツアーは本当にとても became になりました。沖縄文化への知識や興味が増しました。

光栄にも副知事にお会いすることもできました。沖縄の今がわかる国際通りにも行く機会がありました。首里城、平和祈念公園を訪れた時には、沖縄の過去を体験出来ました。そこで、沖縄の人々の強さと信念、希望がわかりました。首里城は4回も再建され、今では多くの観光客が訪れる場所です。平和祈念公園では、戦争の跡を見てとても心を動かされました。“戦争のない世界にするためには、戦争を忘れてはいけない”という考えがそこで伝わってきました。

また、私達は琉球ガラスと琉球漆器の工場を見学する機会もありました。とても貴重な体験でした。私はブラジルで三線とエイサー、舞踊の練習を少ししていたのですが、やはり本場での練習はととても良かったです。ブラジルでの練習よりもっと本格的でした。沖縄の自然はととても保護されていました。マングローブも大切にされていて、比地大滝は本当に美しかったです。そして、沖縄の海は世界中から見ても美しい海でした。

しかし、一番素晴らしかったことは、私達がここで築き上げた友情です。

“いちやりば ちょーでー”、この一つのフレーズを実現することができました。“会えば兄弟”という意味の沖縄の方言です。

このツアーで私の沖縄への思いが増しました。絶対にまた沖縄に戻りたいです。

沖縄県の方々に、私の先祖の地を知る機会を与えて下さったことと、その古い文化を守り続けていることに感謝します。

Por intermédio da Associação Okinawa de Campo Grande, fui escolhida para participar do Junior Study Tour 2002. Eu nem acreditei, pois meu sonho iria se tornar realidade.

Ao chegar, eu fiquei meio preocupada pois meu japonês não era fluente. Mas o ambiente descontraído me deixou menos tímida para tentar conversar.

Apesar do pouco tempo, esse Tour foi muito proveitoso pois aumentou meu conhecimento e meu interesse pela cultura okinawana.

Tive o privilégio de conhecer a governadoria e vice governador de Okinawa e também a Kokusai Dori que reflete bem Okinawa nos dias atuais.

Ao visitarmos o Castelo de Shuri e o Memorial da Paz vivemos um pouco do passado de Okinawa. E nesses lugares pude notar a força, a crença e a esperança do povo okinawano. Pois o Castelo de Shuri já foi reconstruído 4 vezes e hoje é um ponto turístico bastante visitado. E no Memorial da Paz, as marcas da guerra me comoveram. Mas o pensamento de que “ não se pode esquecer a guerra, mas viver num mundo sem ela é fundamental” é constantemente transmitido.

Também tive a oportunidade de observar a fabricação dos produtos mais aceitos pelos turistas e pelos próprios okinawanos que são o Ryukyu Glass e os laqueados. Experiência única.

No Brasil, eu já me dedicava a aprender um pouco de sanshin, eissá e buyo, mas aprender e assistir no país de origem foi muito melhor. São bem mais dedicados e corretos.

A natureza do lugar se mostrou bem conservada. Os mangues são bem cuidados e a cahoeira Hiiji Ohtaki tem uma beleza incomparável. As praias também são únicas no mundo.

Mas a maior riqueza, que nós mesmos criamos, foi a amizade, e aquilo que era apenas uma frase se tornou realidade: ao nos encontrarmos, já somos irmãos.

Com certeza quero voltar a Okinawa porque este Tour fez aumentar ainda mais minha paixão pela província.

Agradeço ao Governo de Okinawa por ter me dado oportunidade de conhecer o país do meus antepassados e de manter viva essa cultura milenar.



米須 トマス  
Tomas Komesu  
アルゼンチン Argentina  
在亜沖縄県人連合会  
2世



## 『自分のルーツを知ることが出来た』

ジュニアスタディツアーに参加することができて、心から感謝しています。沖縄では、短い間でしたが、ウチナンチューの心のやさしさに触れ、感動しました。沖縄とアルゼンチンがあまりにも離れていることが、残念です。子供の頃から沖縄へ行くことが夢だったので、ジュニアスタディーの参加者として、行く事ができるのは、思ってもいませんでした。沖縄の思い出の中で、一番心に残った事は、お互いに尊敬し合うことと、礼儀正しさです。

県内の色々なところへ行くことが出来ました。県庁、国際通り、首里城、平和祈念公園、玉泉洞、ガラス工場、比地大滝、マングローブ林、海洋博記念公園、どこもとでも楽しかったです。その中でも一番、楽しかったのは、玉泉洞での体験でした。そこでは初めて琉球舞踊や、エイサーの練習、沖縄民謡も聞くことができ、とても良い体験ができました。

首里城見学はとても興味深いものでした。平和祈念公園が一番心に残り、わたしの祖父が経験した戦争の苦しみを知ることが出来ました。エコツアーではとても素晴らしい景色も楽しめました。国際通りは三回も行くチャンスがあり、色々なお店があるので、私のお気に入りの場所でした。ビーチは、あんなに透明で、きれいな海は初めてでした。琉球ガラスや漆器作りも良い経験になりました。色々な体験から、沖縄の習慣や文化、ウチナンチューの心を学ぶことが出来ました。

糸満のホテルは色々な施設があり、水泳やサッカーを楽しみながら、他の参加者と友達になることができました。お風呂については、共同風呂には慣れていないので、初めは変な印象でしたが、特に問題はありませんでした。ペンションは静かで、とてもよかったです。

沖縄尚学高校の学生が開いて下さった交流会もとても良かったです。ダンスやゲームを用意してくれていて、みんなで楽しむことができました。国際通り散策にも私たちがガイドしてくれました。本当に心から感謝します。

沖縄の料理についても、問題はありませんでした。初めて食べた物もありましたが、どれも大変美味しかったです。一番気に入ったのは、朝食でした。

ホームステイでは、親戚に会えることができて、とてもよかったです。アルゼンチンで知り合った親戚もいま

したが、はじめて会う親戚もいました。皆さん温かく、親切に迎えてくれました。このような機会を与えて下さり、感謝します。

一番大切な経験は、いろんな国の参加者との交流でした。同じ時間を過ごし、お互いの習慣の違いを教えあった、そのようなことがこの旅で何よりも大切なことだと思いました。この短い期間では話も出来なかった人もいましたが、多くの良い友人を作ることが出来たと思います。これからもずっと、メールなどで交流を続けていきたいと思います。

最後に、私はこのツアーでの目的を達成できたと思います。沖縄の文化、自分のルーツを知ることが出来ました。それから、日本語がどれだけ大事なのか分かりました。コミュニケーションのためには、もっと日本語の勉強をしなければいけません。

タンゴを皆さんの前で踊ったことがまだ心に残っています。感動したのは、みんなが空港まで見送りに来てくれて、涙ぐんでお別れをしたことです。この思い出、経験したことは、決して忘れません。

スタッフの皆さんどうもありがとうございました。このツアーに参加できたこと、経験したこと、親切にして下さったこと、心から感謝申し上げます。このようなイベントがいつまでも続き、もっと多くの青年が私のように体験出来ることを願っています。

このツアーを他の青年達にも、来年は参加するように勧めたいと思います。わたしは、これからもっと日本語を勉強して、大学が終わったら、また沖縄へ行きたいです。どうもありがとうございました。

Estoy muy feliz y es un honor haber participado en el Junior Study Tour. En el poco tiempo que estuve en Okinawa he podido apreciar muchos de los valores que tienen los Uchinanchu. Lastima que Okinawa queda muy lejos de la Argentina. Desde chico siempre tuve la esperanza de ir a Okinawa pero nunca me imagine que mi primera vez seria de esta manera. Como becario. Ya que generalmente si iba a visitar parientes, generalmente es muy difícil conocer gente por uno mismo. Me llevo de regreso muchas cosas lindas de Okinawa, el respeto de la gente, y la buena educación, aunque estuve poco tiempo.

Me gustaron todas las excursiones (Kencho, Kokusai Dori, Castillo de Shuri, Parque Conmemorativo de la Paz, fabrica de vidrio, Gyokusendo, Cascada de Hijiotaki, Mangle, Ocean expo Park). Y las disfruté al máximo. Donde más me he divertido fue en la excursión del Gyokusendo, porque pude realizar por primera vez la danza Ryukyu buyo, la que tanto escuche hablar, y también practicar el Eisa, y disfrutar de la música; fue muy entretenido esta excursión. La excursión que más me interesó fue el Castillo de Yuri. Donde más me conmoví y valoré fue en el del Parque Conmemorativo de la Paz, porque reflexione la guerra que pasaron mis abuelos paternos. Las visitas del ecoturismo los disfruté; fue muy lindo observar toda esa variedad de paisajes, y poder recorrer esa vegetación. Con respecto a Kokusai Dori disfruté de toda esa variedad de locales me encantó, más tuve la suerte de ir tres veces. También me gusto ir a la playa, porque es la primera vez que pude observar un mar tan hermoso de aguas cristalina. Ah no me olvido de las artesanía, que pudimos realizar: el taller de vidrio y el de laqueado de madera. Me gustaron todas las excursiones, fue muy divertido lo pase muy bien, y también me transmitieron mucha información y sentimientos de esta cultura Uchinanchu.

La estadia en el Hotel Sports Lodge, lo he pase muy bien; me gustó el lugar porque se podían realizar muchas actividades. Durante el tiempo libre tuvimos tiempo de hacer actividades deportivas con los becarios. Las actividades que realizamos fueron natación, y fútbol; actividades que me dieron la posibilidad de integrarme o conversar un poco más con los becarios. En si las actividades que hacíamos durante el tiempo libre en el hotel fueron entretenidas y lo pase muy bien. No tuve problemas con el tema del ofuro, pero mi primera impresión fue muy rara, ya que no estoy acostumbrado. Me gusto el lugar y la zona, de la pensión Carolina, es muy tranquilo.

También disfrute mucho de la fiesta de bienvenida en el hotel de Itoman organizada por los alumnos del colegio de Naha, con diversas actividades que se continuaron durante las dos días de nuestra estadia. También bailamos, realizamos distintos juegos y paseamos por Kokusai Dori, guiados por ellos. Muchas gracias a ellos por atendernos y entretenernos durante esos días.

Con respecto a la comida no tuve ningún problemas; probé de todo y tengo que admitir que la comida de Okinawa es muy rica, y me encanto como desayunan allí.

Con respecto al homestay, estoy muy contento

porque pude conocer a mis parientes maternos y paternos. Algunos parientes maternos ya los conocía porque vinieron a la Argentina a visitarnos, pero a por parte de mi padre no conocía a nadie. El poco tiempo que tuve con ellos lo disfruté mucho, tantos mis familiares paternos como maternos, me han tratado y recibido muy bien. Gracias por este reencuentro posible.

Lo que más rescato del viaje es la conversación con los becarios, poderme relacionar con ellos, compartir cosas con los becarios, o intercambiar información de nuestras costumbres, fue algo lindo, es más fue lo más importante. Poder o tratar de transmitirle algo a otra persona. No pude hablar con todos, pienso que se debió al poco tiempo. Creo que pude hacer amistades, espero que ellos sientan lo mismo. No los nombro porque son muchos, pero estoy seguro que esas personas saber que se logró una buena amistad. Y espero seguir mandándoles E-mail.

Como conclusión final de este viaje creo que yo pude cumplir con los objetivo del viaje, en lo personal aprendí muchas cosas de la cultura Okinawense, pude comprender un poco más mis raíces y esto me sirve también para no perderlas y tenerlas bien presentes. En este viaje valore muchas cosas, como poder hablar nihongo, ya que me di cuenta que el idioma es fundamental para la comunicación. Poder comunicarte con la gente, o que ellos te entiendan a vos, es agradable. Por lo tanto pude realizar el intercambio cultural, o sea les transmití a ellos mucha información y ellos a mi. En lo personal algo que, me encanto realizar fue demostrarles un baile de tango porteño a la gente de Okinawa. Lo que más me emociona fue que todo tenían un sentimiento profundo, en la fiesta de despedida o en el aeropuerto de Okinawa todos se pusieron tristes y comenzaron a llorar, me sorprendieron ya que al ser todos tan expresivos, no lo esperaba. Creo que tanto para mi como para todos esos días quedaron como recuerdo de momentos muy lindo y experiencia inolvidables.

Al Staff organizador de Junior Study Tour 2002 muchas gracias por darme esta beca, y otorgarme la oportunidad de vivir esta experiencia, les agradezco por atendernos y recibirnos muy bien. Y espero que se sigan realizando estos eventos para que otros adolescentes puedan realizar experiencias como las que tuve en estos días.

Pd: voy a tratar de informar y difundir las actividades del Junior Study Tour para que otros adolescentes puedan participar el próximo año. Con respecto a mi voy a tratar de terminar mis estudios, y tener presente el objetivo de poder volver a Okinawa.



島袋 エリアーナ  
ビルヒーニア  
Eliana Virginia  
Shimabukuro  
アルゼンチン Argentina  
在亜沖縄県人連合会  
3世



### 『ツアーで生まれた絆を永遠に！』

沖縄で9日間も過ごせたことをとても幸せに思います。まず、ジュニアスタディーツアーの成功のために一生懸命働いて下さったスタッフの皆様方に感謝の言葉を送りたいです。皆さん、どうもありがとうございます。帰国後、ツアーのことを考えてばかりで皆のことが恋しいです。

沖縄の人々の温かさ、街の美しさ、そして、参加者全員のチームワークとパワーにおどろきました。文化や言語が違っていても、参加者一人一人が出来る限りお互いを理解しようとしていたので特に大きな問題はありませんでした。

沖縄の料理は気に入りましたが、唯一、豚肉の調理法がアルゼンチンと違ってあまり好きになれませんでした。

訪れた場所はどこもとても良かったと思います。特に、平和祈念資料館での平和学習と玉泉洞での文化学習が一番印象的でした。平和学習で沖縄戦のビデオを見た時、その悲しい戦争が起こった同じ場所にいるということもあり、とても衝撃を受けました。空手やエイサーの練習はとても面白かったです。何度も間違えて大笑いしました。伝統芸能体験は本当に楽しかったです。

そして、沖縄の産業ツアーも良かったと思います。私が良かったと思う所は琉球漆器工場と名護パイナップルパークです。琉球ガラスで作ったコップも漆器に貼ったさくらの花も少しゆがんでしまったけれども、自分の手で沖縄の独特な工芸品を作れたことはとても感動的でした。

でも、最も気に入ったツアーはやんばるエコツアーでした。歩き疲れたけれど、今考えてみると歩く価値があったと思います。やんばるの滝はとても美しく、そこでみんなで飛び込んだりして、楽しい時間を過ごしました。そして、海も美しかった！個人的には、もっと長い時間海で過ごしたかったな...

県庁訪問と首里城訪問はあまり好きではありませんでした。なぜかと言うと説明が足りなくて、訪問の目的が私達には理解できなかったからです。たぶん、前

もって、勉強していなかったからです。それだけでなく、訪問の時間が短く、各言語の説明も見直さなければならぬと思います。

ホームステイの時間もすごく感動的でした。沖縄の親戚とはバーベキューをしたり、出かけたりしました。知らない町、初めて会う人でも、自分の家族というだけで、身近に感じました。家族と過ごす時間がもう少し欲しかったです。

そして一つだけ苦情があります。最初の二日間の食費が自費であることを知らなかったことです。南米と日本とは経済状態がかなり違うので、前もって連絡して欲しかったです。

私は現在、いろんな国の友達ができ、文通やメールをしています。今では言語が障害ではないと分かかってとても嬉しいです。

最後に、このジュニアスタディーツアーで生まれた絆が永遠に続くように願っています。今、振り返るとたくさんの思い出が浮かんできます。私にとってジュニアスタディーツアーは忘れられない衝撃的なものでした。

Estando realmente FELIZ por haber vivido estos nueve días en Okinawa, en primero lugar, quiero expresar mi sincero agradecimiento hacia TODOS los que participaron del tour. Extraño horrores!

El clima fue muy cálido, las calles muy limpias, la gente amable, todos intentaban disfrutar de cada momento y trataban de que los que lo rodeaban también lo hagan.

La comunicación se dificultaba con la mezcla de idiomas, sin embargo esto no significó una barrera. Cada uno se daba a entender como mejor podía. Cada uno quería mostrar lo suyo (lo argentino en este caso) y a la vez conocer y adaptarse aunque sea un poco a las costumbres del otro. El acercamiento de los chicos del tour fue muy reconfortante. Yo me sentí muy cómoda.

La comida okinawense, en general, me gustó. Solamente la forma de cocinar la carne (que no se le

quita la grasa), me resultaba un poco problemático para comer. Tal vez porque no estoy acostumbrada.

Con respecto a las excursiones, creo que la elección de los lugares a conocer fue la acertada. Los temas a los que apuntaron eran muy interesantes.

El bombardeo a Okinawa en la Segunda Guerra Mundial, en el Parque Conmemorativo de la Paz; la práctica de Eisa, Sanshin, Buyo y Karate en Gyoukusendo fueron las principales experiencias de interés histórica y cultural okinawense.

Las imágenes del video de la Guerra fueron muy impactantes, creo que a todos nos dejó un poco shockeados, mas aún sabiendo que estás en uno de los lugares en los que ocurrió la catástrofe.

Las prácticas de Karate y Eisa fueron muy divertidas. Yo me reí mucho. Hacía cualquier cosa, no coordinaba. Pero fue gracioso. Me gustó mucho el hecho de que todos se animaran a hacer todo, sin vergüenza. Las demostraciones de todas las artes estuvo bárbara. Muy bueno!

Me pareció también una idea acertada que nos hayan mostrado las diferentes áreas de actividad económica. Por ejemplo, la visita a los talleres de vidrio y de laqueado, y a la fábrica de azúcar negra y Nago Pineapple Park (muy bueno). El taller de laqueado y la visita a Nago Pineapple Park fueron mis preferidos.

Me encantó participar en el taller de laqueado, yo elegí Sakura y pegué todas las flores torcidas. El vaso que hice en el taller de vidrio también me salió torcido.

La excursión que más me gustó fue la visita guiada por Yanbaru. Caminamos mucho, pero valió la pena. Las cataratas eran lindas. Pasé muy buenos momentos ahí, todos se caían intentando subir a las rocas.

Las playas eran hermosas, me hubiera gustado que nos hubieran llevado más días para recorrerla y disfrutarla.

La visita al Kencho fue la que menos me gustó. Una de las menos atractivas también fue la del Castillo de Shuri. Solamente era para sacarte un par de fotos y contarle a tu familia y amigos que fuiste ahí. Capaz fue porque no hubo mucha explicación del porqué de la visita.

Creo que hubiese sido mejor que se induzca a los participantes a estudiar acerca de los lugares que íbamos a visitar antes de la llegada a Japón. De esa manera creo que se evitaría el bullicio, la dispersión o la falta de interés durante las excursiones. Igualmente, creo que o nosotros tendríamos que haber estado más

adaptados al staff, o el staff más adaptados a nosotros. Es decir, si los elegidos del tour conocen solamente inglés, sólo japonés o sólo portugués o castellano; creo que la explicación de las excursiones debería ser en todos los idiomas. De otro modo, sabiendo que el tiempo que demoran las excursiones es escaso, creo que hacerlo en 2 idiomas (por ejemplo: inglés y japonés) sería lo ideal, siempre y cuando elijan personas que tengan conocimiento suficiente de alguno de estos idiomas.

El encuentro con mi familia fue muy emocionante. Comí barbacoa, me llevaron a pasear...Creo que uno se siente nervioso pero expectante a la vez porque está en un lugar que no conoce con gente que desconoce. Pero a pesar de todo aquella es tu familia y uno la siente como tal. Me hubiera gustado mucho pasar más tiempo junto a ellos. La estadía fue muy corta...

El único momento en el que me sentí muy incómoda fue en la visita al Gobernador de Okinawa (Kencho). El hecho de que le entregaran un regalo a Narryman (la chica de Cuba) delante de todas las cámaras, y que luego se lo quitaran cuando no la estaban enfocando, me pareció deprimente. ¿Qué intentaban demostrar? (Son re truchos) A mi entender ella merece una disculpa. Vale aclarar que yo estoy muy agradecida por todo (todos fueron muy amables), pero creo que esa actitud no corresponde. Me parece que se preocupan más por aparentar que por ser.

Una queja: yo no estaba enterada y por ejemplo, los bolivianos tampoco, de que durante los dos primeros días las comidas nos las teníamos que pagar nosotros. Teniendo en cuenta que el dólar no está 1 a 1 en todos los países, me parece que tendríamos que haber sido avisados. No solamente a los argentinos nos cuesta, sino también a todos los de países latinoamericanos.

Todavía hoy sigo en contacto con muchos chicos del tour, y me parece fantástico que el idioma no impida la comunicación. Varias de las personas que me cayeron muy simpáticas fueron con las que tenía menos posibilidad de diálogo. Espero que el contacto perdure...

Muchos recuerdos se me vienen a la mente. Es una experiencia muy importante supongo que en la vida de cada uno de nosotros. Para mí, fue como un golpe: rápido y fuerte. Pero un golpe inolvidable.

Muy-muy feliz.



広中 山城  
ルイス フェルナンド  
Luis Fernando  
Hironaka Yamagusuku  
ペルー Peru  
ペルー沖縄県人会  
4世



## 『将来ペルーと沖縄の架け橋になりたい』

ツアーへの参加が決まった時、私は、言葉に表せないほど嬉しさで一杯だった。その夜は出発の日の事が頭に浮かんだりして、自分がウチナンチュの子孫であるということをやより一層感じる事ができた。ジミーと歓迎会の余興の歌を練習したり、自分自身日本語の勉強をし、又県人会の学習塾で、三線、エイサー、ギターのクラスを受けたが、それは出発前に十分な準備と予備知識さえあれば、今回のツアーが有意義なものになるといつも引率者の赤嶺さんが話していた事だった。

7月18日/出発の日がやって来た。家族と別れるのと思うと辛く、くすぐったい気持ちにもなったが、このツアーが先祖の地を知り、外国からの参加者と友達になれる事を思えば大事なツアーであるということは分かっていた。

7月20日/午後5:30 成田着。羽田までの道のりは、僕にとって初めて目にするもので、沖縄がだんだんと近くに感じた。2時間ぐらい経っただろうか、起こされて沖縄へ着いたのが分かった。“何ときれいだろう!!” その瞬間、今回のジュニアスタディーツアーが想像できた。荷物を取り、進んでいくと、多くの人の中に各国の旗と写真で見た親戚の顔が見えた。瞬間、私は少し不安になったが、それ以上に喜びと感動で一杯になり、今回のツアーに参加できたことを感謝した。

翌日散歩に出たが、盗難防止もしないで置いていくオートバイや、道を走っている車は標識に従ってすごく驚いた。それは父母がいつも口にしてきたことで、自分の目で実際に確かめることができた。

7月22日/オリエンテーション会場の財団に集合。ツアーの説明のあと、参加者の自己紹介でオリエンテーションは終わった。財団を出た後、ホテルへ向かった。ホテルはとてもきれいで、設備も整っていた。その後、交流プログラムでゲームが始まり、各自のパフォーマンスが発表されると、海外、県内の参加者たちはすぐに打ち解け、これからのツアーに向けての交流に良い関係を保てる自信がついた。

7月23日/県庁表敬、ロビーで比嘉副知事からのメッセージを受け、県議会の視察、県庁の最上階に上がり、那覇市の風景を見ながら県のこれまでの歴史や、建物に

ついでの説明があった。その後、国際通りに出て昼食後、グループごとの市内散策に出た。今は使用されていない焼き物の窯の跡、戦時中の壕跡、市場、お土産品店が多く並んだ国際通りなど散策の跡、首里城見学に向かった。幾度となく作り直された守礼門をくぐると、王や特別に招待された人間しかくぐれなかった歓会門、龍桶を見て登り詰めると首里城に出た。御庭から首里城博物館に入り、当時の王の椅子や、幾度となく修復された首里城の歴史、沖縄の歴史など聞くうちに、沖縄がいかにして発展してきたかが理解できた。

7月24日/平和祈念公園に向かった。この地に祈念公園が作られたのは、この地で当時の日本軍司令官が自決した場所であり、海を背後に逃げ場を失った多くの県民が亡くなった場所だということを知り納得した。ビデオを見てこの戦争で私たちの曾祖父母がいかに苦しみ、恐ろしい目にあつたかを知り、また同時に忌まわしい戦争から沖縄がいかに復興したかを知り感嘆もした。

7月25日/玉泉洞に着いた。それぞれ、三線、踊り、空手と3つのグループに分かれ、文化体験学習が始まった。私は三線のクラスで、カンカラ三線で“ていんさぐぬ花”を練習した。その後、広場に集まり、それぞれの練習の成果を発表した。その後、本場のエイサーを見学したが、唄、三線まで生の演奏だったのには感激した。そして全員でエイサーを体験し、とても楽しめた。恩納村に向かい、やがて見たこともない素晴らしい海岸線を通りペンションキャロライナに着いた。夜は県内のボランティア高校生も加わって、キャンプファイヤーで最高に盛り上がった。

7月26日/今日は2つのグループに分かれ、エコツアーに行った。私は最初に慶佐次のマングローブ見学に向かった。多くの小動物が住み、海水の清浄作用など、ガイドの方からの説明を受け勉強になった。その後、比地大滝へと向かった。道はかなり険しく、吊り橋を渡り、何段もの階段を登り下りして、やっとたどり着いた大滝の景色は、とても素晴らしく、自然を満喫することができた。

7月27日/朝からみんな悲しそうな顔だ。昨夜は今日で日程が終了するのでほとんどが泣いていた。今日は海洋博公園に向かった。私たちは真っ先にビーチへ向かった。今までに見たこともない綺麗な海で、砂は砂糖のよ

うに白く、海面はプールのように穏やかで、海水はあくまでも透きとおっていて、まるで別世界だった。水族館も見学した。いろんな魚やサメなど、見たこともない熱帯の魚がいた。その後、各自ホームステイに向かったが初めて会う沖縄のおじさんや従兄弟たちと楽しく過ごし、自分にもウチナンチュの血が流れていることを改めて知った。

7月28日／さよならパーティーのため都ホテルに着いた。皆に修了証が渡されたあと、各自自慢のパフォーマンスが始まり、私はギター演奏とエイサーを踊った。ベストフレンドの曲が流れると皆涙に変わり誰として動こうともしない、ツアーで過ごした思い出が頭の中をよぎり、別れを悲しんだ。

7月29日／いよいよ別れの時が来た。空港に着くとスタッフや親戚、これまで一緒に過ごしてきたメンバーが見送りに来ている。いつか必ず会う約束をして別れたが、自然に涙が出て止まらない。必ず戻ってくると心に誓いペルーへ向かった。

終わりに、県からの招待を受け、色々な国から集まった青少年が体験学習を通じて交流を深め、これまで写真かビデオでしか知らなかった沖縄をより知ることでウチナンチュとしての誇りを持つことができました。将来この経験からペルーと沖縄の架け橋として頑張りたいと思います。そしてこれからも多くの青少年が“ジュニアスタディーツアー”を通じて沖縄を知るチャンスを与てもらいたいです。

### Mi viaje a Okinawa

#### Los Preparativos:

Cuando fui elegido sentí una tremenda alegría algo que no podía describirlo con palabras, todas las noches pensaba en el día de mi partida y cada vez más me iba identificando como descendiente okinawense. Desde el comienzo de mi elección, Akamine san nos estuvo preparando una vez por semana en su casa. Nos estuvo enseñando la cultura, historia, naturaleza, sitios turísticos de Okinawa. Y con Jimmy estuve preparando canciones para poder tocarlas el día de bienvenida.

Yo también estuve estudiando japonés y además estuve practicando shamisen, eisa, y guitarra en el taller de AOP es por eso que me iba bastante preparado y tranquilo al final del viaje me di cuenta que todo ese esfuerzo y todo lo que decía Akamine san de ir sabiendo esas cosas me sirvieron muchísimo.

18 de Julio:

El día de mi partida ya llegó, nos esperaba un vuelo largo sentía como un pequeño cosquilleo, ya que estaba un poco nervioso y sentí un poco de pena al despedirme, pero sabía que me esperaba un gran viaje, no podía creer que iba a viajar tan lejos y poder conocer la tierra de mis antepasados, y tener amigos de todo el mundo.

20 de Julio:

Llegamos al aeropuerto de Narita como a las 5 y media de la tarde. Después fuimos en bus casi media hora hasta al aeropuerto de Haneda. Al ver las calles de Japón por el bus, me emocione ya que sentía que cada vez estaba más cerca de Okinawa, y pensaba en lo fabuloso que lo pasaría.

El vuelo demoró 2 horas y estuve durmiendo buen rato cuando Akamine san me levanto a ver Okinawa. ¡¡¡Que bonito se veía!!!, ya me estaba imaginando como sería el Junior Study Tour.

Después recogimos las maletas y al avanzar vi a lo lejos un montón de personas que estaban con las bandera de Perú, Bolivia, Brasil y Argentina. Y al entrar a la salida me esperaban mi familia. En ese momento me llenó una sensación de mucha alegría y un poco de nerviosismo ya que me encontraba con mi familia a la cuál yo conocía solo por fotos, comencé a apreciar y valorar lo bonito que es estar cerca de tu familia, y lo valioso que había ser sido elegido para esta beca.

Domingo, 21 de Julio:

Este día lo aprovechamos como día libre. Salimos a pasear por las calles y vimos la construcción del nuevo monorriel en Okinawa, pero lo que más me impresiono y agradó fue que la gente dejaba sus motos sin ninguna protección contra ladrones, que las señalizaciones de tránsito estaban bien marcadas y los conductores respetaban esas señalizaciones y la los peatones, y pude comprobar con mis propios ojos todo lo que me decía mi familia de porque Japón es una de las culturas más avanzadas y lo diferente que era con respecto a mi país. Me fui a dormir rápido y Akamine san me recordó que debía ponerme mejor porque mañana ya comenzaba ¡¡¡El Junior Study Tour!!!

Lunes, 22 de Julio:

Llegamos al lugar de reunión, OIHF. Nos llevaron a una sala de estudio y nos entregaron un polo que teníamos que usarlo el día de la visita al prefecto y el día de sayonara party. También nos dieron un maletín

con información del horario de los grupos, y nos entregaron una cartuchera y un impermeable. Después Naito san nos dio charla y presento a todos los del staff. También escogimos. Luego vino la presentación de cada uno. Salimos del OIHF y llegamos al hotel de Itoman. El hotel era muy bonito, tenía de todo. Ese día vinieron los jóvenes de Okinawa Shogakukoko, que nos iban a animar la fiesta de bienvenida, barbicue y sayonara party, hubo varios juegos, bailamos todos juntos música brasileña y un baile japonés y luego, al termino de los juegos pusieron los números. Nosotros tocamos guitarra. Me encontraba muy contento y ya comenzaba a disfrutar el viaje, y hacer amigos de otros países.

Martes, 23 de Julio:

Llegamos al Kencho, estuvimos esperando un rato y nos reunimos por países y por banderas. Vinieron también bastantes canales de televisión. Entonces llegó el subprefecto Higa con las demás autoridades de Okinawa. Después mencionaron a cada uno de los países participantes y el subprefecto Higa fue a saludar a cada uno de nosotros. Luego de la reunión fuimos a conocer el kencho, y al nuevo edificio donde está el parlamento. Nos llevaron al último piso, de donde se observa gran parte de la ciudad, de Okinawa, nos explicaron que este es el edificio más alto de okinawa ya Kencho es el edificio de más importancia.

Luego nos enseñaron una laguna artificial sin agua en donde estaba representado las islas de Okinawa y el castillo de Shuri. Más tarde nos llevaron a conocer el parlamento Okinawense.

Luego de teminar de comer nos reunimos para ir al paseo por las calles de Naha, primero fuimos a ver las calderas que eran como un tipo de cocina antiguo y nos explicaron que era una de las pocas que quedaban en Okinawa pero que ya no funcionaban. Luego fuimos a visitar algunos refugios de la guerra que eran como pequeñas cuevas en donde la gente se escondía cuando había bombardeo o cuando atacaban los americanos. Después fuimos a caminar por Kokusai Dori, la calle principal de Naha. Habían muchas tiendas, restaurantes y un gran mercado de pescados, mariscos, vegetales, carnes y otros productos.

De ahí fuimos al Castillo de Shuri, subimos una colina y primero pasamos por la puerta de Shureimon, nos explicaron que esta entrada fue destruída después de la guerra y ha sido verias veces restaurada. Seguimos avanzado y pasamos por la puerta de Kankaimon, nos

explicaron que sólo los reyes o invitados especiales podían pasar esta puerta ya que era la puerta antes del castillo. También vimos un pequeño pozo donde había agua pura, y la guía nos explicó que era el agua de las montañas. Luego entramos al castillo de Shuri, había una inmensa plaza y al frente el castillo. Después entramos al museo, vimos la silla del rey, escritos antiguos y objetos del castillo. Me gustó mucho el castillo de Shuri ya que conocí parte de la historia antigua del pueblo de Okinawa y apreciar la grandeza de su pueblo al crear y reconstruir una maravilla como es el castillo de Shuri.

Miércoles, 24 de Julio:

Ese día fuimos al Parque de la Paz. Nos mostraron un vídeo de la guerra, estuve constantemente anotando porque me interesé bastante en ese tema. Nos explicaron que se construyó este templo en esta zona porque ahí murió el jefe de la escuadra máxima del ejercito de Okinawa, y también que muchos civiles perdieron la vida arrojándose al vacío de las montañas ya que al ser rodeados por los barcos americanos no tenían donde ir. En la batalla de Okinawa se perdieron mas de 236,000 vidas entre militares y civiles. Y luego de 30 años los familiares pudieron ir a recoger los huesos de sus familias ya que Okinawa estaba restringido por los Americanos. Luego de la proyección del vídeo fuimos a visitar al Museo conmemorativo de la Paz, al ver todo lo que habían sufrido los okinawenses durante la guerra sentí tristeza ya que supe que mis abuelos y bisabuelos habían pasado por lo mismo y comprendí el dolor y sufrimiento por la guerra, pero al mismo tiempo me maravillaba de cómo el pueblo okinawense había podido levantarse de la guerra y ser una prefectura muy desarrollada. Después bajamos a ver el Heiwa no Ishiji, donde están todos los nombres de los fallecidos en esa guerra entre civiles y militares cerca de 230,000 personas. Cada nombre está esculpido. También vimos la flama de la paz, rodeada en una pileta y se encuentra entre el mar y los bloques del Heiwa no Ishiji. Luego fuimos a visitar el templo conmemorativo de la Paz, en donde al entrar te tienes que lavar las manos, al entrar se encuentra la estatua gigante del Buda (12 metros de altura) como señal de paz, y se hace origami de un ave escribiendo un deseo como mensaje de paz.

Al salir del parque fuimos al taller de vidrio de Ryukyu, nosotros también tuvimos la oportunidad de hacer todo el proceso y luego fuimos al taller de laqueado de



Okinawa. Donde hicimos una figura en un plato.

Jueves 25 de Julio:

Ese día teníamos que ir a Motobu y llegamos a Gyokusendo. Ahí nos separaron en grupos de acuerdo a lo que habíamos escogido Sanshin, Buyo o Karate.

Las profesoras de Shamisen nos explicaron como utilizar el shamisen y sus diferentes afinaciones. Y nos enseñaron la canción Tinsagunu, practicamos con shamisen de lata, kankara sanshin. Yo me sentía contento porque sabía tocar shamisen y pude ayudar a mis amigos a enseñarles. Nos dieron la partitura y nos llevaron a que hagamos la presentación en el auditorio. Luego entro el grupo de Buyo y bailaron la danza general. Y por último entro el grupo de karate que hizo su demostración, luego el sensei de karate también hizo su demostración sólo y con armas.

A continuación fuimos a hacer el recorrido por la cueva de Estalactitas, son miles de piedras que terminan en punta y que dice que crecen 1cm cada 100 años, es un recorrido largo y hay bastante agua que viene de la cueva. Fuimos a ver el show de eisa y lo que me impresiono ya que nunca lo vi en Perú es que no usaban CD o cassette para bailar ya que todo era en vivo, me impresiono la fuerza ya las ganas que le ponían y no se notaba que estuvieran cansados. Me gusto mucho el baile ya que yo también practiqué eisa en Perú, y me sentía muy contento e identificado al ver el show y también al practicar eisa. Luego fuimos a la fábrica de azúcar. Ahí una guía nos explico todo el proceso de cómo se prepara la azúcar, primero lo trituran y lo calientan, eso se mueve hasta que se enfríe y ya está listo para comer. En el camino al hotel tuvimos una vista maravillosa del las playas de Okinawa. Ya estaba ansioso por ir a verlas.

Llegamos a la Pensión Carolina, que era como un hotel campestre al aire libre, totalmente diferente al hotel de Itoman. Y luego se realizo la fogata, hubo muchos fuegos muy graciosos y bailamos mucho. Yo pensaba en todo lo que había hecho hasta ese día y lo rápido que se había pasado el tiempo desde que fui escogido para la beca.

Viernes, 26 de Julio:

Nos separamos en grupos para ir a hacer Ecoturismo por Yanbaru. Yo primero fui a los Mangles. Hicimos un recorrido de media hora y caminando, y el guía nos explicaba los diferentes tipos de plantas ya mangles que habían en la zona, como crecían y se alimentaban.

También nos explicaron los diferentes tipos de animales como cangrejos, y aves, también vi a los gatos salvajes que sólo se encuentran en esta zona. Los mangles se encuentran en la entrada del río Kesaji, crece en la mezcla de aguas de río y mar y también se puede hacer paseos en bote.

Después fuimos a la Cascada de Hijiotaki la caminata eran subidas y bajadas constantes el paisaje era impresionante y al naturaleza es el elemento esencial del recorrido. El guía nos iba explicando las plantas que había en esa zona los animales como las arañas y lagartijas, las mariposas y las aves. También pasamos un puente colgante. Bajamos una gran cantidad de escaleras para llegar a la cascada de Hijiotaki. Al verlo es impresionante, la vista que se obtiene y el aire que se respira es un ambiente de paz y alegría. Luego fuimos al Pineapple Park. Nos explicaban los diferentes tipos de plantas y piñas. Para mí la piña es la fruta más rica de Okinawa y para que pueda mantener ese sabor lo debe tratar muy bien y pude constatar en el parque. Ese día en la noche hubo fuegos artificiales afuera del hotel.

Sabado 27 de Julio:

Todos estábamos tristes porque estamos llegando al final. Muchos se pusieron a llorar ayer, yo me estaba dando cuenta de lo corto que estaba resultando el tiempo, y las bonitas amistades que había hecho en este viaje. Luego partimos hacia Nago Beach, una de las mejores playas en Okinawa, ¡¡¡¡¡La playa es una de las cosas más bonitas que he visto en mi vida!!!!, la arena es blanca como el azúcar y no quema, el agua es muy cristalina, y se pueden ver los peces y los corales y se puede nadar como una piscina porque no hay olas, lamentablemente en mi país no hay playas tan bonitas es por eso que disfrute mucho el estar en la playa y con mis amigos. Luego fuimos a ver el acuario, donde habían peces raros, focas, y tiburones. Y luego fui al Homestay, toda la tarde hasta la noche la pase con mis tíos, tías y conocí a todos mis primos. Estaba muy contento ya que había podido conocer a toda mi familia de Japón, yo me sentí muy contento ese día del Homestay al estar cerca de mi familia y pasar con ellos todo el día es como si la sangre llamara.

Domingo 28 de Julio:

Fuimos al Miyako hotel para la fiesta de despedida. Mi familia, me fue a ver al Miyako hotel. Nos sentaron en sillas cada una con su nombre y comenzó la ceremonia.

Hablaron de lo bueno que había sido el intercambio, y esta experiencia, y luego nos entregaron a cada uno el diploma de estudio. Luego hicieron pasar a todos a comer y comenzaron a pasar fotos de todo nuestro viaje y algunos estaban llorando ya que eran las fotos desde el principio de nuestro viaje, hasta el final todas las cosas buenas que habíamos vivido durante esta semana tan corta.

Luego comenzaron las actuaciones yo toque guitarra y bailé eisa, y terminó con la canción Best Friend, al terminar la fiesta todo fue muy triste, todos echamos a llorar y no parábamos de llorar, después de tanto tiempo juntos, de hacernos tan amigos nos sentíamos bastante contentos pero muy triste porque nos íbamos a extrañar mucho. Yo lloré mucho ese día, mi familia se puso muy contenta por haber venido y todo lo que hice y participé. ¡¡¡Estaba contento porqué me dijeron que estaban orgullosos de mí!!! Algunos de mis amigos sabía que no los iba a ver y me despedí con un fuerte abrazo, y no olvidé a nadie de darle mi tarjeta y regalo y de pedir su correo, luego Naito san nos dejó que teníamos que ir al Hyper Hotel, me despedí de todos y agradecí muchísimo por toda la fabulosa semana que pasé.

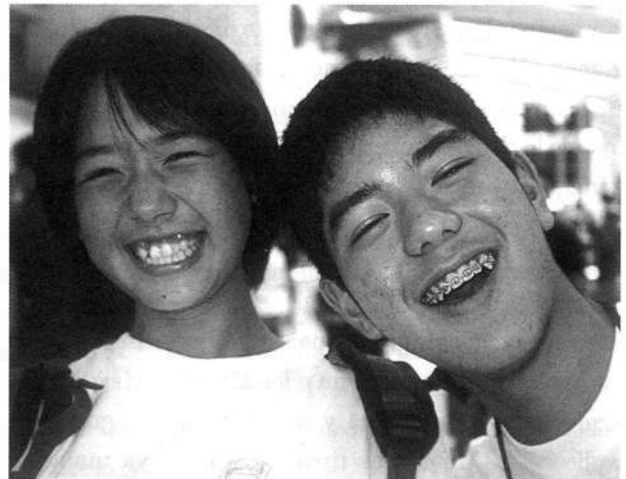
Lunes 29 de Julio:

Al llegar al aeropuerto tuve que hacer la triste despedida, estaban todos mis amigos japoneses, mi familia, mis primos, éramos los últimos y ví que todos comenzaban a llorar, yo también me puse así, Luego me despedí de todos y dejé de estar triste y les prometimos a nuestros mis amigos que nos volveríamos a encontrar algún día. Con ese deseo nos regresamos a Perú.



Mi Conclusión:

No podía creer lo rápido que se había pasado el viaje y todos los buenos momentos que había pasado, todos los lugares que había conocido, ver las cosas que sólo conocía por fotos o videos, conocer a mi familia, en fin una experiencia única, me di cuenta al final de mi viaje que todo las enseñanzas que me dieron mis padres y las cosas que me enseñaron en el taller de la Asociación Okinawense y Akamine san me sirvieron de mucho, me ayudaron a desenvolverme más y a sentirme más contento y orgulloso de ser uchinanchu y peruano. Además pude conocer otros tipos de cultura, jóvenes de todas partes y ¡¡¡Chicas Muy Bonitas!!!, ver como es el modo de vida del Japón, su cultura y la diferencia que existe con la de Perú. Me pude dar cuenta de que a pesar de que todos los jóvenes proveníamos de diferentes lugares teníamos algo en común como jóvenes y uchinanchu, ya sea por ejemplo en la música, eisa, shamisen, el fútbol, etc. Eso fue una de las cosas que más me impactó y más bonitas del viaje, poder relacionarme con todos. Siempre tendré guardado en mi memoria este viaje tan maravilloso que tuve, y espero en el futuro ser un nexo y guía en las relaciones del Perú con Okinawa, y no perder las amistades que hice en el viaje y espero que mas gente como yo pueda vivir esta grandiosa experiencia. ¡¡¡¡¡Junior Study Tour!!!!





ゴンザレス 平良 ハイメ  
Jaime Gonzales Taira

ペルー Peru  
ペルー沖縄県人会  
3世



## 『沖縄、それは私の心と血だ!』

ツアーの面接の日がやって来た。県人会館に集まった応募者は神経が高ぶり、ツアーへ参加出来るようにと、頭の中は皆同じ考えただろう。

午後から面接が始まり、やがて僕の番がやって来た。気持ちを落ち着かせるため深呼吸をし、笑顔を保つようにした。こうして自分自身を落ち着かせる事で今回のツアーへ参加出来るものと確信していた。面接が終わり、家へ帰ると両親が待っていて、様子からして良い知らせを受け取っている気がした。しばらく僕には隠していたが、やがて隠しきれずにすべてを話してくれた。その日は家族中で喜んだ。それから出発の日まで、県人会の学習塾でギターの練習と、引率者の赤嶺さんから沖縄の文化についてのクラスを受け、ツアーに備えた。

これまで見た事もない素晴らしい島、沖縄へやっと着いた。空港には沖縄の親戚が迎えに来てくれており、まるで我が家に帰ってきたような気持ちになった。また南米からの参加者とも出会い、これから1週間お世話になるスタッフの皆様の温かい歓迎も受け、その歓迎ぶりに感激した。

初日、財団でのオリエンテーションでは、皆、緊張していて冷たいような気がしたが、その後のホテルでの歓迎パーティーでは、お互いの芸を発表しあい、またゲームで交流しあう事ですぐに打ち解け、交流の輪が広がった。

そして、沖縄に来て一番感じた事は、どこに行ってもお互いが秩序や規律を守り、他人にとっても親切で、治安の良さを感じた。通りを歩いている、買い物をしなくても店の人はとても親切に対応してくれて、より一層“ウチナンチュ”の温かい心が好きになった!

県内各地を回った中で、一番印象に残ったのは平和祈念資料館でした。

編集されていない生々しい戦争記録ビデオを目の当たりにして、私たちの先祖がこの無意味な戦争で大変に苦しみ、犠牲になった事を知り、私の心は大変に打ちひしがれてしまい、そして見終わった時には、何とも言えない気持ちに陥ってしまった。別の部屋には生き残った人達の戦争証言記録や軍需品や医薬品、実際に戦争当時を再現した壕内での生活風景などが展示してあるのを見る事が出来た。そして平和の火、平和の礎、平和祈念堂を回っているうちに気持ちも和らいできた。こうした平和祈念資料館や記念碑を建てることで、後世に戦争の悲惨さを伝え、二度とこのような忌まわしい戦争が起こらないよう平和の大切さを知り、生きていかなければならないと強

く感じた。

そして別れの時間が近づくに連れて辛くなってきた。一緒に行動するうちに、かけがえのない友人もでき、皆、家族のように打ち解けていた。そして最後のさよならパーティーでは各自の自慢の芸を披露し、楽しいパーティーの始まりとなった。それが終わりの時には、皆涙ぐみ、私自身もこれから一生会えないかもしれないと思うと自然に涙がこぼれてきた。しかし、一方では同じ年代の素晴らしい友が出来たことに、幸せな気持ちにもなった。また、違った国々から来たもの同士が交流を通じてネットワークをつくり、ウチナンチュとしての血がお互いに流れていることを学ぶことができ、嬉しく思った。共に遊び、踊り、話し合ったりした事、今でも懐かしく思い出している。

最後にツアーにご苦労下さったスタッフの皆様に深く感謝申し上げます。そしてこれからも継続して曾祖父母の地に多くの青少年が招待される事を祈っています。又、様々な年代、異なった言語、習慣等を苦労して、立派なツアーに仕上げて下さったことに対しても感謝申し上げます。“ウチナンチュの心として”

“Okinawa: En mi sangre y en mi mente”

El día de la entrevista fue un día muy intenso. Todos los jóvenes postulantes habíamos venido con la misma meta y el mismo propósito: “el ser los mejores, para así, obtener la codiciada beca”.

Bueno, ese día en la tarde, nos reunimos todos los participantes y esperamos a que nos llamaran para entrar a unos cuartos donde nos hicieron algunas preguntas sobre Okinawa, qué tanto uno conocía de ella, de sus comidas, etc.

Eran cuatro cuartos y todos estábamos nerviosos. Imagínense entrar a un cuarto sólo con dos personas mayores, serias, haciéndote preguntas y, como los que entraban primero, salían con unas caras de susto y no podíamos hablar con ellos, no sabíamos realmente qué pasaría...

Me llegó el turno y, por supuesto, estaba un poco nervioso, pero mientras iba camino al cuarto me dije: ¡cálmate, respira profundo y relájate, entra seguro de ti mismo, con una gran sonrisa, carisma y con la mente siempre positiva: ¡supe que lo iba a lograr! Luego al terminar mi entrevista, salí feliz y con la misma sonrisa con la que entré, sabiendo que hice mi mejor esfuerzo. Y cuando terminaron con todos, nos reunimos para una entrevista grupal, y al término de ello nos pusimos a conversar de cómo se sintió cada

uno de nosotros.

Al llegar a mi casa mis padres ya tenían la buena noticia y creían que yo ya lo sabía, pero no era así y ellos pensaron: ¡ que bien lo oculta !, pero, cuando me lo contaron, al comienzo, ¡no lo podía creer!!!, estaba tan feliz que me puse a abrazar a toda mi familia y me dieron unas ganas de gritar y de saltar... Luego celebramos y al termino del día me dio un dolor de cabeza por tanta emoción en un solo día.

De allí hasta la fecha del viaje nos estuvimos preparando culturalmente con Akamine san y artísticamente en la asociación.

Al llegar a Okinawa no lo podía creer, era un lugar hermoso y eso que todavía no había visto nada.

¡Que emoción!! Mi familia en Okinawa había ido al aeropuerto a darme la bienvenida, estaba tan feliz, sentí ese cariño que me dan cuando estoy en casa.

Conocí a los demás sudamericanos, ¡qué bien!. Tuve con quien hablar español ese día. También conocí a todos los del staff que estarían con nosotros toda la semana.No podía esperar mas para conocer a mas personas.

El día que nos presentamos todos en el OIHF, fue un poco "frío" ya que no nos conocíamos todos, pero cuando decíamos nuestros nombres era muy gracioso y mas tarde cuando fuimos al Hotel Sports Lodge Itoman en la fiesta de bienvenida, con todos los juegos de intercambio, y con las presentaciones artísticas; empezamos a conocernos más y ese fue el inicio de una gran amistad entre todos nosotros.

Lo que más me ha impresionado de Okinawa, aparte de todos los lugares que he visitado, ha sido el respeto que tienen los demás para con otras personas, el orden y disciplina que impera y lo expresan en sus casas o al caminar por la ciudad y ¡que uno imita porque sabe que es algo bueno!!, me sentí tan seguro y protegido en todo momento... También, cuando uno va a comprar, los vendedores te tratan muy bien y conversan contigo aunque no compres nada; siempre te saludan, a donde vayas o en donde te encuentres caminando. ¡Eso es lo que me gusta, el cariño uchinanchu!!!

De todos los lugares a donde hemos ido, el que más me ha impactado, ha sido el Museo de la Paz. Al ver aquel video, que fue lo primero que vimos, me dio un duro golpe en el corazón, al saber que nuestros antepasados sufrieron todo lo que vi en ese video tan revelador, tan real, ya que no había sido editado, tan crudo y despiadado; no sé que más decir ya que no hay palabras que describan la guerra...

Al pasar por otras salas, vimos testimonios escritos por personas que estuvieron presentes en la guerra. También vimos las municiones, los medicamentos y otros accesorios que utilizaban en ella. Luego vimos una representación en maqueta, de tamaño real, con maniqués y otras cosas que mostraban cómo vivieron después de la guerra.

Al salir e ir donde se encuentra la Flama de la Paz, las Lápidas de la Paz y el Templo Conmemorativo de la Paz; me hizo sentir mejor, al saber, que todos descansan y viven en paz ahora. Al término de esta

visita supe que todos estos monumentos los construyeron para recordar y darse cuenta del nefasto daño que causa la guerra y aprender de ello que vivir en paz es lo mejor de todo.

Lo más triste de todo fueron los últimos días, ya que todos nos dábamos cuenta de que se acababa la semana y dentro de muy poco tendríamos que regresar a nuestras casas...

Con el paso de los días todos nos fuimos conociendo. Yo por mi parte, conocí a mucha gente maravillosa y, con ellos, nos convertimos en muy buenos amigos y sobretodo en una familia que empezaba a quererse mucho.

En el día de la fiesta de despedida hubieron muy bonitas presentaciones artísticas ya que todos hicieron su mejor esfuerzo para que salga una actuación bien hecha.

Al término de la fiesta, fue algo muy emotivo el ver cómo algunos se ponían a llorar, yo también derramé algunas lágrimas ya que sabía que no los iba a ver nunca más o en mucho tiempo. Por una parte estaba triste, pero por otra, estaba muy feliz porque había conocido a gente de mi edad, muy alegre, muy maravillosa, con las que compartí muchas cosas.

Estoy tan feliz de haberlos conocido a todos. Con ellos he aprendido a interrelacionarme con otras personas del mundo porque aquí todos éramos de países diferentes, pero con la misma sangre *uchinanchu* que corre por nuestras venas. También aprendí a comunicarme. Hemos jugado, bailado y conversado taaanto...!Ahora los extraño mucho!!!

Para terminar quiero agradecer a todos los que trabajan en el *kencho* y que hacen posible que muchos jóvenes como nosotros podamos ir a la tierra de nuestros bisabuelos, abuelos o padres. Agradecer también por todo el esfuerzo que hacen y seguirán haciendo en una labor ardua para reunir diferentes generaciones, que hablan diferentes idiomas y tienen nuevas costumbres, pero con el mismo espíritu UCHINANCHU.





仲里 秋奈  
Akina Nakazato

ボリビア Bolivia  
ボリビア沖縄県人会  
2世



### 『自分の目で見て感じた、沖縄の人々のやさしさにふれた』

七月二十二日から始まった、七日間のジュニアスタディーツアーは、海外から二十名、県内から二十名、県外から四名、引率者が九名の計五十三名の方々が参加し、沖縄の自然、文化、歴史や平和の学習をしました。

一日目は県庁、国際通り、そして首里城へ。何故か県庁では、スピーチをすることになった私ですが、会って間もない人々の前でスピーチをするのは初めての経験で、ものすっごくきんちょうしました。これも、今思えば一つの体験になったと思います。

平和祈念資料館では、戦争の時のビデオを見させていただきました。  
「戦争」…罪のない人々の無惨な死…こんな残酷なことがあるのでしょうか？  
忘れかけていた命の尊さをあらためて感じることができました。  
又、その後平和祈念堂では、世界の平和を願ってつるを折りました。

このツアーで他にも色々な体験もしました。  
たとえば、琉球ガラス作りや、琉球漆器作り、三味線や、エイサーなどです。  
体験の中で一番楽しかったのは、琉球ガラス作りでコップを作ったことです。ガラス工芸には以前から興味があったので、とても楽しかったです。

自然学習では、マングローブの観察をし、比地大滝へも行きました。  
海洋博記念公園では、水族館や、沖ちゃんショー…。ボリビアにこのような観光地はないのでとてもうらましく思いました。

中には、日本語ができない子も多く、国が違うため、うまくやっていけるかどうか不安でしたが、言葉がわからなくても顔の表情や仕草でコミュニケーションをとるのも面白かったです。

同じ日系人であるということから集まり、共に過ごすことができ、祖父母の古里である、テレビや人の話で見て聞くだけではわからない沖縄の良さ、すばらしさを自分の目で見て感じて、沖縄の人々のやさしさにふれ、本当に良かったと心から思い感謝しています。

このような貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。  
一生の大切な思い出にします。





ヴェレス 真栄城 ロニー  
Rony Velez Maeshiro  
ボリビア Bolivia  
ボリビア沖縄県人会  
3世



### 『生まれて初めて見る海に感激した』

この度、ジュニアスタディーツアーに参加させて頂き、心から感謝申し上げます。さらに、この機会を利用し僕の祖先の地を知ることができたこと、そして見本とも言えるべき大きな国を見ることができたことに対し、もう一度お礼申し上げます。

まず始めにジュニアスタディーツアーに参加する機会を与えて下さった沖縄県知事、及び沖縄県人会、サンタクルス市県人会の皆様にご挨拶いたします。

このツアーに参加したことで初めて飛行機に乗ることができました。目的地の那覇空港まで五つの空港を経由しました。(サンパウロ、ロサンゼルス、成田、羽田と那覇の空港)

沖縄では生まれて初めて見る美しい海に感激しました。初めて見る沖縄の山々、大きな市街地、そしてもっとも嬉しかったのは沖縄県に住む人々が友好的に温かく迎えてくれたことでした。また、親戚に会えたことも大きな喜びでした。

ジュニアスタディーツアーは内容が充実していて、僕には短いように感じました。今後ツアーに参加した友達とも会えたらいいなと思っています。きっとこの経験は僕の一生の思い出となることでしょう。帰国して2ヶ月以上たった今でも家族や友達に体験談を聞かせています。帰国して思ったことは日本語も大事な言語であるということです。これから勉強を始めたいと思っています。

首里城見学も素晴らしいものでした。平和祈念公園では、第二次世界大戦のビデオなど見せてもらいました。たくさんの人々にとって悲しい出来事であったことがしのべれます。伝統芸能体験ではガラス工芸を見ることができました。実際に自分でも一つコップを作りました。

エイサーも覚えました。初めて踊るものでしたので、嬉しかったです。イルカのショーもとても良かったです。初めて海の生き物を近くで見ることができました。ボリビアでは想像もつかない大きな水族館や海の生き物がいました。

国際通りの散歩も良かったです。2時間あまり市場の中を見ることができ、家族へのお土産も買うことが

できました。

自然学習では山へ行きました。滝があり、大きな吊り橋を渡り、大きな岩で囲まれた美しい自然を見ました。吊り橋を渡る時は、ドキドキしました。その時は平気な顔をしていましたが、本当はこわかったです。

空手の授業にも参加しました。もう少し時間があればよかったなあと思いました。

もっとも印象に残ったのは洞窟のような所に行ったことです。トンネルのようなところで、地下へ降りて上を見ますと、木の根っこのようなものがたくさん下がっておりました。その先からは、ぽたぽたと水がしたり落ちて僕たちが歩いているところに落ちてきました。透き通ったきれいな水で、何と美しいことだったか！僕はとても幸せな気持ちでした。もう一度見たいと思いました。

今回のツアーに参加して残念に思ったことは、ボリビアから引率者がつかなかったことでした。疑問などをすぐに聞いてくれる人が近くにいなかったからです。でも、いつも僕たちの側で通訳や世話をみて下さった新里ダニエルさんに心から感謝を申し上げたいと思います。

最後にもう一度、沖縄県知事に僕の感謝の気持ちを申し上げて、報告を終わります。

A tiempo de saludarle muy respetuosamente, me permito hacerle llegar mis reconocidos agradecimientos por haberme otorgado la beca que hizo posible mi viaje a la hermosa ciudad de Okinawa.

Quiero reiterar a través de esta carta mi profundo reconocimiento a su digna autoridad por haberme permitido tener la oportunidad de conocer mis raíces culturales y de sangre y el de haber podido apreciar a una Nación ejemplar.

A continuación detallo mediante resumen el informe de mi viaje a la ciudad de Okinawa:

En primer lugar agradezco al señor Keiichi

Inamine, Gobernador de la Prefectura de Okinawa-Japón y a los Sres. Directores OKINAWA KENJINKAI SANTA CRUZ-BOLIVIA, por brindarme esta beca inolvidable. Ha sido mi primer experiencia de viajar en avión y he conocido cinco Aeropuertos en cada escala que he hecho ( Sao Paulo, Los Angeles, Narita, Haneda y Naha ).

He quedado impresionado de ver el mar por primera vez, las montañas, las ciudades y me gustó bastante esa amabilidad humana que he recibido del Gobernador y de los participantes, y poder encontrarme con mis parientes de parte de mi madre. Quiero informarle que ha sido muy poco tiempo, pero estuvo muy hermoso el viaje, por eso me gustaría volver a encontrar con todos los participantes de Junior Study Tour, ha sido muy lido y será un recuerdo que durará toda mi vida, hasta ahora no termino de contar a mi familia, a mis amigos porque la he pasado muy bien, y siento que es muy importante el idioma, por esa razón voy a empezar a estudiar para aprender el idioma japonés.

Otra cosa que he podido observar es el Castillo de Shurijo que es super impresionante para mí porque nunca había visto un castillo tan grande y hermoso.

Otra de las cosas que me impresionó es el Parque Conmemorativo de La Paz, es un lugar inmenso donde también pude ver el video de la segunda guerra mundial, el cual me conmovió bastante, ya que fue algo realmente muy triste para muchas personas.

Dentro de mis experiencias prácticas fue estar en un taller de vidrio, donde pudimos observar cómo se elaboran las cosas de vidrio incluso hicimos un vaso de vidrio.

También aprendí EISA que me gustó mucho porque nunca antes he participado. Además, me encanto el show de delfines, donde pude observar muy de cerca esos bellos delfines, y los acuarios que son tan grande e impresionantes, ahí pude ver la cantidad de peces y animales acuáticos que nunca antes mis ojos habían tenido el privilegio de ver, porque donde yo vivo, en Bolivia no se conoce ninguno de estos animales.

En esa excursión tuvimos una caminata que me gustó, pues fuimos por KOKUSAI DORY durante dos horas, que la pasamos fenomenal, es un mercado enorme y hermoso donde pude comprar

algunos regalos para mi familia, además de observar algunos animalitos del monte. Cuando subimos a las montañas y llegamos a una catarata donde todo era muy hermoso, el agua, las piedras son tan grandes y sobre todo la subida arriba fue muy bonito porque era todo escalera y no había mucha tierra, también pasamos por un puente colgante que era muy grande y podía ver abajo el agua y las plantas, era todo tan hermoso aunque debo confesar que sentí un poco de miedo mirar hacia abajo.

También tuve la oportunidad de aprender un poco de Karate, porque pasamos clases aunque no fue por mucho tiempo, sólo fue una y media hora en un día, me hubiese gustado que hubiera sido todos los días para así poder aprender más de ese deporte por ser tan importante.

Una de las cosas que mas me impresionó fue cuando por primera vez entré en un lugar tan bonito que era casi como un túnel, entramos debajo de la tierra y estuvimos allí mas de treinta minutos, y cuando miraba para arriba veía solo unas puntas que parecían raíces y de allá salía agua, es decir goteaba abajo del camino por donde estábamos caminando, era un agua cristalina, ¡Que cosa mas bella !, me sentí tan feliz. Cuánto anhelo volver a ese lugar.

Debo decirle que me sentí muy solo y triste porque no pudo ir conmigo un representante de Kenjinkai, Santa Cruz-Bolivia, ya que todos los de los otros países tenían sus guía o sus acompañantes y los únicos que no la tuvimos, fuimos los dos participantes de Bolivia, y nos hizo mucha falta, porque si quería preguntar alguna cosa o palabra no tenia a quien recurrir porque casi ellos no están con nosotros. Sin embargo debo también expresar mis agradecimientos al señor Shinzato Daniel por haberme prestado su apoyo y haberme ayudado a dialogar con otras personas como interprete.

Al reiterar al señor Gobernador mis agradecimientos por todo cuanto aprendí y recibí de este tan hermoso viaje, hago propicia la oportunidad para saludarle con mis consideraciones mas distinguidas.

Muy Atentamente,



ナリマン ピーニャ  
フォンテ  
Narryman Piña Fonte  
キューバ Cuba  
キューバ沖縄県人会  
4世



### 『私もウチナンチュ』

沖縄への訪問は想像以上に素晴らしいものでした。この島の平和と自然を愛する心と将来性、特に沖縄の人々の優しさや礼儀正しさ、まるで楽園のようでした。沖縄を訪れるチャンスを与えて下さり、本当に感謝しています。

今までにない最高の思い出になりました。私の中でも何かが大きく変わったような気がします。その気持ちを忘れないようにしたいと思います。

三線やエイサー体験、琉球舞踊も鑑賞する事が出来ました。私の望みを叶えてくれた皆さんの歓迎に感謝しています。

色々な国からの沖縄の子弟や地元の子と意見や将来の夢など話し合い、交流も楽しみました。また、一度もあつた事のない親戚と過ごす事ができ、家族としての強い絆をつくれたような気がします。同じように、私を家族の一員のように迎えてくれた友人とのひとときも、私にウチナンチュの心を強く感じさせてくれました。

皆さん、大変お世話になりました。また、このイベントを企画したその他のスタッフの皆さんにも感謝します。



Visitar Okinawa fue mucho mas de lo que pude imaginar. su amor por la paz, la naturaleza y la mirada puesta en el porvenir hacen de Okinawa, sin duda alguna, un paraíso, sobre todo posible por sus personas, su sentimiento, su amabilidad y gentileza, su sensibilidad y amor por lo que hacen.

Doy gracias a todos por este regalo, el mejor que haya recibido.

Siento que algo importante dentro de mi cambio, y quiero conservar ese sentimiento por siempre.

Agradezco tambien las atenciones que recibí por parte de todos, teniendo siempre en cuenta cada uno de mis anhelos, dandome la posibilidad de practicar shanshin, bailar eisa, asistir a una presentacion de danza tradicional okinawense y en fin, disfrutar de la amistad de descendientes de otros lugares y del mismo Japon, intercambiando ideas y deseos futuros.

Fue maravilloso tambien compartir con mi familia, a la que nunca habia conocido y de la que me siento muy orgullosa, porque al igual que los amigos que me recibieron como una integrante mas de su familia, me hicieron sentir mas intensamente el sentimiento de los okinawenses.

A usted muchas gracias por su preocupacion y al resto del equipo, felicitaciones por el acertado programa y la organizacion del evento, mi saludo a Oshiro san y a Yūko por su especial cuidado y su amistad, a ella felicitaciones por su excelente trabajo y a todos los que involuntariamente no recuerdo sus nombres.

Muchas gracias por todo  
Saludos





清本 伊舎良  
マシュー 誠  
Matthew Makoto  
Kiyomoto Isara  
アメリカ U.S.A  
ハワイ沖縄県人会  
4世



## 『自分の中の魂に触れた』

### サンシン・舞踊・空手・太鼓・琉球ガラスと泡盛

沖縄という土地は、とても平和で気持ちが高まる所だ。出会った人々は皆、驚くほど素晴らしい人々で、彼らの接し方には本当に感動した。ツアーのメンバーから、沖縄の人が平和を重要視するのは、侵略された歴史があるからだと教えてもらい、私は驚いた。

私達は、沖縄でサンシン、舞踊（琉舞）、空手、エイサーを体験した。サンシンは三本の弦を持つギターのような弦楽器で、沖縄では最も親しまれている楽器なのだということが分かった。コーヒーの缶と蛇の皮でできた風変わりなサンシンを見た。琉舞を学んでいる仲間もいたので、その彼らの踊りを見ることができ、楽しんだ。私は空手のコースに参加した。文化や伝統、沖縄の重要な部分を学んだ。太鼓のたたき方を学んだのは本当に楽しかった。グラスや琉球漆器の手作り体験もとても楽しかった。本でみるだけでなく、実際に自分の手で作り、それを学ぶことは、とても為になった。そして沖縄の文化の重要性を認識した。

### 比地大滝、マングローブ、平和祈念資料館、国際通り、首里城

比地大滝は美しく、リフレッシュできる場所だった。短い散歩道が滝まで続いており、野生の木や松が生い茂っていた。クモや蛇、トカゲや亀がいてとてもおもしろかった。慶佐次ではとても暑かったが、マングローブは川の流れに任せて根を浮かせて生息しているのだということが分かり、とても興味深いものだった。平和祈念堂も、また印象的な場所だった。そこは大変美しく、小さな折り鶴が沢山供えられていて、多くの人が心安らげる寺院だった。オリジナルの仏像と違う点は、ここの仏像は六つの花卉がある花で飾り立てられているという点だ。この六つの花卉は、六大陸を表しており、平和と調和を表している。平和祈念資料館は大変楽しかったが、米軍の沖縄への侵略を記録したビデオや資料を観るのは最も辛かった。しかし、平和の礎や、平和の火をみて心が和んだ。そこには水が張られていて、沖縄の形をしていた。この場所から見る海は本当に美しく、個人的に礎にはとても感動した。

国際通りも歩いたが、そこは熱気に満ち溢れていた。

実際とても暑かったのだが、売られているサンシンや米軍の品を扱っているお店を見るのはとても楽しかった。なかでも市場が印象的だった。豚など、沖縄料理の材料が溢れていた。沖縄料理の味を忘れることは決してないだろう。首里城は本当にクールだった。まず私はお城というものを見たことがなかった。この場所は沖縄の歴史の一部なのだ。守礼の門は私が想像していたよりはるかに大きく、その門をくぐったとき、本当に嬉しかった。歓会門をくぐったときには自分がまるで百年前からやってきた侍のような気分になって、とてもそれが気に入った。

### 歓迎パーティー・サヨナラパーティー・名護パイナップル園・製糖工場・ビーチ

歓迎パーティーは楽しかった。みんなで沖縄の人のダンスを習って、それがまた一層パーティーを楽しいものにした。サヨナラパーティーは、みんなが集まり、楽しい時間だったけれど、同時に悲しさもあった。パーティーが終わると、私達はそれぞれの場所に帰っていかねばならなかったからだ。

パイナップル園も楽しかった。ハワイには無い、珍しいパイナップルワインを買えるのがいいと思った。そしてパイナップル園を見学できたのも良かった。カートが自分で動くようにプログラムされていた。製糖工場の見学はとても興味深く、普段よく使う砂糖を知ることが出来た。

海洋博祈念公園は本当に楽しかった。ビーチがあって、とても素晴らしい場所だった。水は澄んでいて、まるで湧水のような場所だ。とても思い出に残っている場所だ。

### 最後に

このレポートを締めくくるに当たって、沖縄県知事、ジュニアスタディーツアーの全ての参加者、引率者に感謝しています。素晴らしい時間を過ごすことができ、自分の中の魂に触れ、沖縄への愛を築くことが出来ました。

### Sanshin, Bujo, Karate, Taiko, Glassware, & Laquerware

Okinawa is a place that is spiritually uplifted, and very peaceful. All the people I met in

Okinawa were unbelievably nice and their attitudes were awesome. A certain someone from the trip had told me that peace is very important because of the invasion of Okinawa. That bit of information was very enlightening to me. In Okinawa, all of the participants in the Junior Study Tour participated in classes to learn segments of sanshin, buyo (Ryukyuan dance), karate, and eisa (taiko). I learned that sanshin is a three string instrument that is like a guitar. In Okinawa it's considered the most popular instrument. I've seen different kinds such as one that is made of a coffee can and one that is made of a Python's skin. I was so fortunate to observe fellow peers who performed Buyo, I enjoyed watching them dance. I participated in Karate; I've learned that it is an important part of the Okinawan heritage and culture. I had a lot of fun when I learned how to perform taiko. Making glass in Okinawa was really fun and educational because it was "hands on" instead of from the book. When I made laquerware, it was almost like carving wood, which was really fun. I realize it's important to the Okinawan culture.

#### Hijiotaki Falls, Mangrove, Peace Prayer, Peace Memorial Kokusai Dori, & Shuri Jou

Hijiotaki Falls in Okinawa is so beautiful and refreshing. I learned that there is a short hike before reaching the waterfalls and its trees and vines grow wildly. There are spiders, snakes, lizards, and beetles. It was fun. Kesaji Mangrove is very hot, but it's very interesting with the crabs, the mangroves. At the Kesaji River, I learned that the roots of the mangroves depend on the flow from the river in order to survive. Being at the Peace Prayer and Memorial Hall was so amazing to see. There were so many miniature cranes and to see the huge shrine of the Buddha had a calming effect. The difference between the original Buddha and this one is that it's decorated with a flower with six petals that each petal represents each of the six continents, which represents human harmony & world peace. The Peace Memorial Museum was so beautiful, but the horrible part was watching the video of when Okinawa was invaded by U.S. soldiers. Seeing the Heiwa no Ishiji or the Flame of Peace was just so relieving because the water just kept flowing and there were forms of islands, which represented Okinawa. Being there looking out to the sea was just very beautiful and the cornerstone was amazing to observe in person. Walking along the roads of Kokusai Dori was very firing, because it was

so hot, but it was really cool to see the sanshin, the Army stores, and especially going into the market. Seeing the pigs, the crustations, and all of the ingredients for Okinawan cuisine was an experience that I'll never forget. Shuri Jou Castle was very cool, mostly because I've never been to a real castle but also because it's part of the Okinawan culture. Shureimon Gate was bigger than I expected and everyone seemed to become happier when we passed the gate. When I went through the Kan Kaimon Gate, it felt as if I was one of the ancient samurai that was from the early hundreds; I really liked it a lot.

#### Welcome party, Sayonara party, Nago Pineapple, Sugar Factory, & the beach

The welcome party was really fun because I learned how to dance the way everyone dances in Okinawa & especially with the people, which is made the party so good. The Sayonara party was very sad yet really good at the same time. It was good because everyone was there and having a good time. It was sad because in the end, everyone had to leave and return home. Nago Pineapple Park was really cool because you can buy pineapple wine. It is unique because there is no pineapple wine in Hawaii. Plus the tour of the pineapple & plants was really good because the carts were programmed to move on its own. The factory of brown sugar was interesting and educational because everyone made sugar out of the syrup, and we got to eat it. I liked the sugar.

I enjoyed being at the Ocean Expo Park because the beach was very attracting. The water is clean like spring water. In the water there were floatation devices that are chained to the ground. The lifeguards there have jet skis. It's a memorable place that I'll never forget.

#### Conclusion

In conclusion to my report of Okinawa, I'd like to thank the Okinawan Government, all the participants, and all of the very wonderful chaperones of the Okinawa Junior Study Tour 2002. I had a really good time. I felt that I got in touch with my inner spirit and found my love for Okinawa.



伊良波 クリストファー  
マイケル  
Christopher Michael  
Iraha  
アメリカ U.S.A  
ハワイ沖縄県人会  
4世



### 『みんなにも沖縄のすばらしさを知ってもらいたい』

この小さいけれど偉大な島、沖縄をどの様に説明できるのか…。私が望んでいた以上に多くのことを学び、ジュニアスタディーツアーの参加者として選ばれたことを嬉しく思った。他の沖縄の子弟たちと知り合うことが出来、素晴らしい経験になりました。

沖縄の人は皆親切で、お互いすぐに新しい友人が出来、私自身も信頼できる友人が出来た。たった9日間のツアーで、こんなにすぐたくさんの友人が出来るなんて。沖縄での旅は素晴らしかった。素晴らしい時間を過ごし、多くのことを学んだ。今まで知らなかった沖縄の人々や文化について知った。

この小さな島は、実は活気溢れる偉大な島だと気づいた。沖縄のほんの少しの事しか学んでいないと思うかもしれない。第二次世界大戦での沖縄の人々の苦しみ、沖縄とハワイの似ている点、琉球王朝時代やその王など、古い歴史について、日本と中国に侵略されていたこと。多くのことを学び、私がウチナーンチュであることに誇りを持つことが出来た。

スケジュール、人々、食べ物、アクティビティ、本当にすべて良かった。素晴らしい時間を過ごした。そして、ホームステイも素晴らしい時間を過ごした。

日本の人々はハワイとは、全く違っていた。日本の人々は親切で、いつも笑顔で、思いやりがある。ハワイやアメリカの人々もそういう風になるともっと良くなるだろう。

マシューのいとこの家族は皆、本当に親切で、彼らと楽しいひとときを過ごしました。また、彼らは私に、沖縄とハワイの歴史から見ての共通点を教えてくれました。ひとつは、どちらも他の国によって併合した、沖縄は日本によって、ハワイはアメリカに。次に、どちらも王がいた。そして、一度失ったその独特な文化を取り戻し、今ではどちらも有名な所になっている。

この旅で得た考えや感情を持ち続け、みんながお互いに連絡を取れるように、私はサイトを作った。ハワイの人々にも、私がここで学んだことを知って欲しい、そして沖縄についても教えたい。私の友人や家族、そし

て知らない人にも沖縄のすばらしさを知ってもらうために、このサイトが続くことを願っている。そして、みんなが連絡を取り続ける為に役に立ってくれるでしょう。このレポートで、私が沖縄で学んだこと、今やり遂げたいことが伝わればいいと思う。素晴らしい時間を過ごした。そして、私の助けになってくれた友人、家族、そしてみんなに感謝したい。みんな沖縄に行くべきだと言いたいです。

### Being a Part of Okinawa

Okinawa, what else can you say about a small, yet big place as it is. I was glad that I got to be selected to enter the Junior Study Tour 2002, as I learned a lot about what I hoped to achieve. It was a fun experience, getting to know the other kids that are somewhat related to me by blood, Okinawan blood.

Everyone was nice at Okinawa, and everyone made new and great friends with each other very fast. I myself have found new friends while on the trip and they all seemed friends that you can trust. There were only nine days, and look how many new friends I made already, all from a trip to learn about Okinawa.

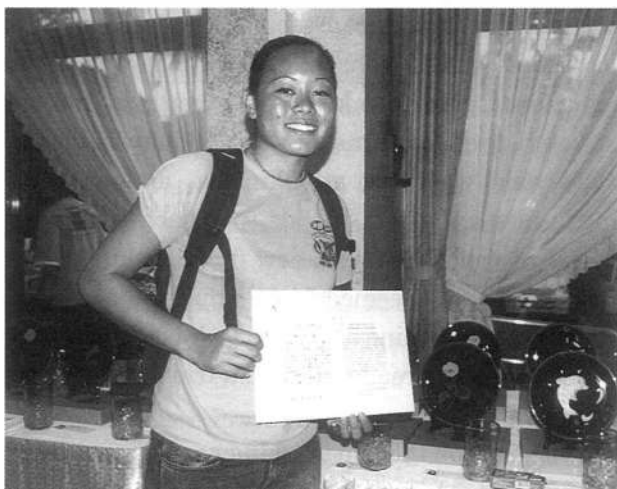
My feelings on the trip to Okinawa were wonderful. I had a great time, and I learned a lot too. I gathered information about Okinawa, the people, and the culture, that I never knew before. I discovered that this little island is in fact a huge place, filled with constant activity. I guess you can say, I only knew a little history about Okinawa, thanks to what I learned from school. I never knew that so many people suffered in the Second Great War (WW II). I never knew that Okinawa and Hawaii are quite similar. I never knew anything about the old history of the island and about the Ryukyu Dynasty and the great kings. I never knew that Okinawa faced off invasions against both Japan and China. So in fact, I did learn a lot, information that helped me realize that I am glad to

be an Okinawan.

I really loved everything that happened; everything was great! The schedule, the people, the food, the activities, I had a great time. I had a great time at homestead too. The family I stayed at were really nice people, which is another thing to bring up. The people in the Japanese islands are completely different from the ones back in Hawaii. They treat you much nicer, smile a lot, and are caring. I wish most people back in Hawaii and the United States are like that. That would make things better. Well, Matt's cousin's family was really nice people; I had a fun time with them. They taught me that Okinawa and Hawaii are very similar because of their history. They both were annexed by another country, Okinawa by Japan and Hawaii by the United. They both had kings, both had a lost culture that is now being recovered, both became well known places.

In order to preserve these feelings and thoughts about the trip, I created a site to help people stay in touch with each other. I wanted people here in Hawaii to learn what I learned; I wanted to teach them about Okinawa. And the site I hope carries out through the years, to teach all my friends, family, and strangers about how great a place Okinawa actually is. The second best thing is that the site will help all the students to keep in touch with each other with the help of a message board.

I hoped this report helps explain what I learned and what I hoped carry out now, now that I learned about Okinawa. I had a great time, and I wanted to thank all the people that helped me, my friends, my family, everyone helped. I also wanted to tell everyone that you should go visit Okinawa too; it'll be a blast!





比嘉 クリステイン  
ミヨシ  
Cristan Miyoshi Higa  
アメリカ U.S.A  
北米沖縄県人会  
4世



## 『自分のルーツを学んだ』

アメリカの日系4世ともなると、沖縄の習慣などほとんど知りません。しかし、このツアーは、私にそれを取り戻す良い機会を与えて下さいました。今までの自分の人生でこんなに意味深く個人的に色々な体験をしたことがありませんでした。今度のツアーで自分の文化を学習することが出来ました。さらに、他国の生徒から文化の違いや似ているところを学ぶことにより、自分の目を世界へ向ける良い機会になりました。

参加者全員、それぞれ違った国で生活しているのにも関わらず、皆、親切で色々な物を分かち合い又、言葉の相違がかえってコミュニケーションを楽しくさせたのも事実です。

県庁や県議会棟は、とても細かく、全ての物がこれ程までに意味深く建築されたことに驚きました。国際通り散策、鍾乳洞見学、川のせせらぎ、滝、そして植物などはリラックスでき、とても気に入りました。

沖縄のビーチは素晴らしく、自分の足が透けて見えるほど海水は綺麗で暖かく、小魚が泳いでいるのを見ることが出来ました。

私は教室で学習するよりも実際に体験することのすばらしさを味わいました。例えば、エイサーを鑑賞するだけならただのエンタテインメントになりますが、伝統的な舞踊のレッスンや、黒糖工場見学、琉球ガラス、漆器工場などでの体験は、その価値観を高め、とても勉強になりました。

最も印象深い平和祈念資料館では、沖縄の人々が苦痛に耐え忍び、困難な状況を乗り越えてきた姿をビデオで鑑賞した後は本当に胸が熱くなりました。そこでは、沖縄の歴史を学ぶばかりではなく、現在の問題などを学ぶことも出来ました。

私の曾祖父が首里出身だったので、首里城訪問は私にとってとても重要でした。親戚の家では従姉妹たちが、曾祖母の出身地、平安座へも連れて行ってくれました。そこで古い写真や祖母の結婚式の写真、私の父が沖縄に住んでいた若い頃の写真等も見せてくれました。

た。又、写真さえも見たことのない親戚の方々とも会い、伯母はわざわざジュニアスタディーツアーの皆のためにアンダギーも作ってくれました。

日記帳をめくってみると、毎日新しい人と出会い、新しいことを学び楽しい日々でした。今は、両親にツアーでの出来事を話し、両親さえ知らなかったことを教え、又、自分のルーツのつながりや沖縄の文化についても学ぶことができ、とても感謝しています。

帰国の時が来て、私が涙を流す番になりました。色々なことを発見したばかりのこの美しい沖縄と、新しくできた友人たちとも離れたくありませんでした。

このツアーで文化がいかに大切であるかを知りました。大学では日本語を外国語として取るつもりです。そして次回、沖縄を訪問する時には地元の人達に自分の意志が伝わるようになりたいです。このツアーは自分の人生で確実に良い体験をしたと思っています。

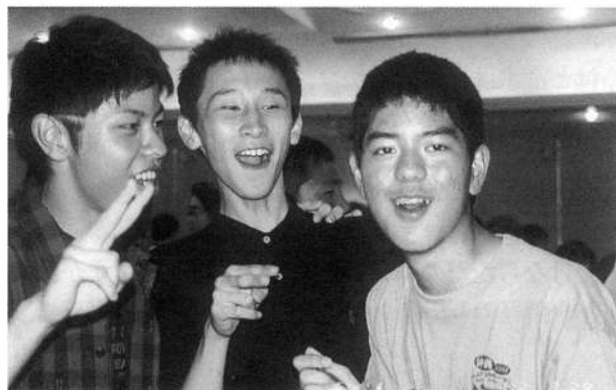
Being a Yonsei in America makes Okinawan traditions fade. This trip gave me the chance to recapture those traditions and see Okinawa first hand. Never in my life have I experienced something so meaningful and personal. I learned about my culture and embraced it, but furthermore, I learned from other students their cultures along with our differences and similarities. This trip has been an awakening for me, and has really opened my eyes to the rest of the world. Even though all of us live in different parts of the world, everyone was so kind and sharing. The language barrier didn't keep us apart, but made us more eager to try to communicate with each other.

I loved how the Okinawa Prefectural Government building had so much detail. Every thing from the ground to the ceiling was a part of Okinawa or represented something or somewhere in Okinawa, there was so much depth and meaning. I loved walking around Kokusai Dori, seeing stalagmites and stalactites in the cave for the first time, taking a hike

where the streams, waterfall, and plants made the setting so peaceful and relaxing. The beaches in Okinawa were gorgeous, the water was so clear and warm I could see my toes and tiny fish swimming around. I really enjoyed going out and experiencing Okinawa first hand, instead of just learning in a classroom. For example, just watching Eisa would have been entertaining, but learning the traditional dance enhanced my appreciation for the dance itself and the performers, same for the brown sugar, glass making, and lacquer factories. The most touching and heartbreaking place we visited was the peace memorial, I learned how much Okinawan's suffered, endured, and overcame the harsh situation placed in front of them. I learned Okinawa people are about peace and trade, not about fighting and conquering. But, not only did I learn about the history of Okinawa, I learned about present day conflicts as well.

Visiting Shuri Castle was important to me because my Great Grandfather Kaneshiro was from Shuri. During my home stay, my cousins took me to Henza, where my Great Grandmother Tamaya's family is from. They showed me old pictures of my Grandma including her wedding pictures and of my father when he lived in Okinawa as a teenager. I met relatives I had never even seen pictures of. They took their time to visit me. And my aunt made andagi for the entire Jr. Study Tour.

As I look back on my notes, everyday I wrote: I met someone new, I learned something new, and today was the most fun day. As I tell my Mom and Dad about all the activities and knowledge I gained, I am teaching them things they were not aware of. I honestly acquired a taste for my culture; now I feel I am more connected to my roots and gained a deeper pride and appreciation for my heritage. When it was my turn to depart tears started poring down my face, I didn't want to leave this beautiful place I had just discovered. I didn't want to leave my new friends I just made. This trip helped me realized culture is so important; I plan on taking Japanese in college, so the next time I return I can communicate with the locals. This trip has defiantly been the most rewarding experience of my life.





バウチャー 飛鳥  
Asuka Christine Boutcher

アメリカ U.S.A  
ワシントンD.C. 沖縄会  
2世



### 『心はいつも沖縄に！』

私達の心のかげらを残したこの島で築いたこの友情を、決して忘れることはないでしょう。

一生に一度の機会を得て、この島は信じられないほど素晴らしいものを私達の心に残してくれました。沖縄の人々や豊かな文化は強く美しく、私の今までの経験の中で比べられないほど素晴らしいものでした。私達兄弟は、ついに巡り会い、世界中に広がる絆を作り上げました。

このツアーに参加できたことをとても有り難く思います。

こんな幸運なことは今までありませんでした。

飛行機が離陸したとき、胸が締め付けられるようで、涙がこぼれました。

これは幸せの涙なのでしょうか、悲しくて泣いているのでしょうか？

沖縄のように暖かく親しみやすく、愛すべき人々に出会うことはもうないでしょう。

私の心のかげらは沖縄にある。私がどこへ行っても。沖縄へ帰るたびに、私の心は完全に満たされる。

「私の心を満たしてくれる場所が恋しい。

連れて行って 私の故郷、沖縄へ」

この短い9日間でツアーに参加した人々は本当に素晴らしい幸せに出会い、真の友情を築き、沖縄への愛を共に織り上げました。

9日間、幸せを感じながらも離れることが悲しかった。けれど、私達の心はいつも共にあります。

私達という兄弟は決して離れることはないのです。

心はいつも沖縄にあるのだから。

Friendships I will never forget, made on the island where a piece of our heart will always remain.

A once in a lifetime chance, unbelievable what this island has created and left in our hearts. The people, the land, the rich culture, so strong, beautiful, and incomparable to any thing I have ever experienced. The friends all brothers and sisters finally reunited to create a worldwide connection.

I feel so blessed to be able to take a part in this Tour. Never have I felt this lucky.

As the plane begins to take off, my chest feels tight, and I cry tears of happiness??? Sadness??? Nowhere else will I ever find people with hearts as open, warm and loving as Okinawa.

Okinawa holds a piece of my heart where ever I go, always. Every time I return to Okinawa I will be made whole again:

*I long to be in the place where I feel whole.  
Take me there, it's my home.*

Within these brief nine days, the people brought together on this tour experienced such pure and complete happiness, building true, friendships, tightly woven together by our love for Okinawa.

In those 9 days, we felt such happiness, but sadness as we parted. But in our hearts we know that we will always stay in touch.

This family, inseparable because Okinawa will always hold our hearts close to her.



ジョンナサン サンダース  
Johnathan David Sounders

アメリカ U.S.A  
アトランタ沖縄県人会  
3世



### 『将来は沖縄の力になりたい』

今回ジュニアスタディーツアーに参加する機会を与えて頂き、稲嶺沖縄県知事や関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

沖縄を訪問し、直接、沖縄の文化に接する事ができたことは私の人生に大きな変化をもたらしました。ツアーが夢だったのではないかと思う事もあります。参加者全員、本当に素晴らしい仲間であったと思います。一生、心に残るメンバーです。彼らに再会の機会があるかどうかはわかりませんが、今後はインターネットで交流をしたいと思います。短期間でしたが、この体験から学んだことは大変実りあるものでした。

日本語が話せなかった事は辛かったのですが、ボランティアやスタッフの皆様が一生懸命に英語で話しかけてくれたので、コミュニケーションに不自由を感じる事もなく、皆様には感謝しています。私達を楽しませ、活動を盛り上げるために努力なされていたことを感じました。

滞在中は、多くの珍しい食事も味わいました。アメリカで食べる量よりも多く食べたはずですが、美味しかったので、少な目に感じました。

世界のあちこちから集まった仲間に出会えて視野が大きく広がりました。沖縄県は未来へ向かって、新しい教育や技術の習得の場を提供する構想もあることを知り、感動しました。私も将来は一員として沖縄の力になりたいと望んでいます。

また機会を得て沖縄に戻ってきたいと思っています。「沖縄は伝統文化に富む、美しい島である」と祖母から聞いていたのですが、私のイメージより、はるかに沖縄は素晴らしい島でした。沖縄を取り巻く海岸、青い海や山々は自然と新しい文明が共存しています。

最後に、沖縄の皆様のおもてなしに感謝します。皆

で共に過ごした時間は、私に感動を与え、私の人生に大きな変化をもたらしました。この旅で、私の想像力、創作力、人格が新しく芽生えたと思います。沖縄から遠く離れたアトランタから、常に沖縄を思い続けるでしょう。

I want to thank you and Governor Keiichi Inamine for allowing me to participate in the Junior Study Tour in Okinawa during July 2002

In my short time on this earth, I have never felt that any opportunity I pursued would have any great effect upon me. The chance to go to Okinawa and experience the culture and visit my Okinawan heritage was life altering. Never have I had so much to absorb and to think long and hard on to make sure what I saw and felt was not a surreal experience. That was all I could do the whole time in Okinawa. I was fortunate to be able to go when I did and with the group of young people I did go with.

I was blessed to have been in the group I was in. They were a good group of people and I could not have asked for any better. Although I may or may not see some of these people again in my lifetime, which would be a rather unfortunate event, they will always have a place in my memories, heart and mind for as long as I can keep re-experiencing the trip in my head, heart and dreams. We plan to use the Internet to keep us all in touch. The time spent, no matter how brief, was most rewarding to be in such company. I also appreciate the group of volunteers and the staff who were all involved in this tour.

Sadly enough, I could not speak Japanese, but this did not seem to matter much so long as I made an effort to try. It was rather gratifying to



have the staff and volunteers try their hardest to communicate with me. The student volunteers did so much for us by just being there and I want to express my deepest gratitude for their efforts to entertain us and get us to open up to one another. The staff was always hard at work to make sure that all was going well, everyone was doing fine, and we where we needed to be. They seemed to be enjoying themselves for the duration of the study tour. I will miss the unmatched generosity and courtesy that was shown to me by everyone involved.

During my stay, I was introduced to a wide variety of foods which I had never eaten, but was willing to try at least once. To the amazement of all I know, I ate more food in Okinawa in one day than I do at home. I could not get enough of the fresh food or the dishes which we were fed.

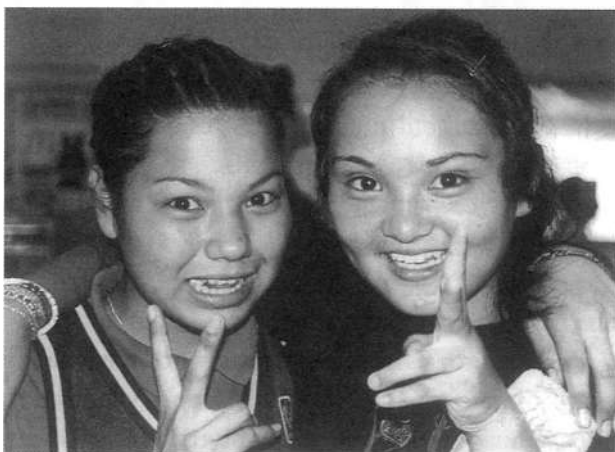
I gained a new outlook on people from other parts of the world. I know that Okinawans everywhere want to see Okinawa become a place where people want to help to develop a society where industry and commerce can grow. We were informed of plans to create new educational and technical opportunities in Okinawa. This is exciting and I would like to be a part of this in some way.

Although I hope I will have another chance to go back to Okinawa, at present I will have to be satisfied with this short visit. I had only seen the land in the descriptions of my grandmother, Tsuruko Saunders, and only through her eyes. I had been told it was a land of beauty, tradition and grandeur, but all of that is an understatement of the true beauty of the land. When I laid my eyes upon the land, it was as I had imagined it to be, but much more. I felt my heart jump into my throat when I saw the natural beauty of the mountains, beaches, and crystal blue waters of the ocean surrounding Okinawa. As I saw each example of the natural beauty, I was always in a state of awe and

bewilderment to know for myself that such places could exist in a country so similar to the US in the sense of urbanization and industrialization. I have rarely seen nature and civilization co-exist so well.

In closing, my life has been forever changed for the better by this once in a lifetime opportunity. I am deeply touched by the people involved and enjoyed the great company and good times. I shall never forget those who had helped me while I was over there and shall always be thankful for what they have done for me. My imagination, character and creativity have gained all new aspects from this trip. I may not be present in Okinawa in person, but my heart and mind keep wandering back to the land once described to me as a child and that I have now seen with my own two eyes.

Sincerely,





ジョセフ リー バザード  
Joseph Lee Buzzard  
アメリカ U.S.A  
北加沖縄県人会  
3世



### 『素晴らしい仲間に出会えて良かった』

沖縄でのこの旅は、本当に最高の体験でした。スタッフの方々は、本当に親切で、私がかか質問があるときや、必要なときに、いつもそばにいてくれて、助けてくれました。一緒に参加した仲間たちも本当に最高な人たちでした。このツアーの中で、私が一番良かった事は、そういう素晴らしい仲間と出会えたことです。こんなに最高の仲間と一緒に旅が出来た事は、私の人生の中で、最初で最後かもしれません。

沖縄に滞在中、いつも皆で笑い、そして、真面目に勉強し、沖縄県のスタッフの皆さんが用意してくれた、社会学習内容も最高でした。

私が、もっとも印象に残っているのは、首里城と、やんばるの自然学習でした。私たち先祖が創り出した、偉大な琉球王朝文化と、中国との関係は、特に興味深い事でした。沖縄の海の美しさにも感動しました。

体験学習も本当に楽しかったです。空手の時には、新しい型を、勉強する事が出来ました。舞踊や三線のクラスも楽しそうでした。

琉球グラス作成や、漆器の作成も一生の思い出です。エイサーも最高でした。ここアメリカでも、エイサーをやりたいと思いました。沖縄で、出会った人たちも、最高で、またホームステイ先の家族も親切にしてくれました。

私は、一生に一度のこのような素晴らしい体験学習が、二度と出来ないかもしれないと思うと、沖縄を離れる時とても悲しく寂しかったです。

しかしながら、この時に得た素晴らしい体験と、友情を、いつまでも忘れることなく、いつかまた、必ず沖縄に戻ってきます。

一生皆さんの事は、忘れません。

沖縄県の方々に、こういう素晴らしい体験をさせてもらった事を心から深く感謝いたします。

The trip to Okinawa was great! Everybody was so nice on the staff. If you ever had a question or needed help with something, someone was always there to help you. The kids

were all great, too. That is what I probably liked the most about the trip was all of the people. I never knew that anyone could get such a good group of wonderful people together

When I was in okinawa, I never was bored. The whole time I was laughing. The activities were great also. You always had stuff to do. They planned this trip so great. You were always going on a trip with your group to some new, exciting place, seeing things that you never imagined you would see before. And they always had free time planned for you so you could go shopping and do things that you normally couldn't do with a big group. The places we went to were so beautiful, like the Shurijo Castle and the Yanbaru Ecology Tour. The white sand beaches were also really pretty.

The classes were cool, too! I really like the karate class. I learned a new style and it was really fun. It was nice to see your friends that you made on this trip learn something new and then perform it for you. The Buyo and Sanshin classes looked really fun, too. I loved how they got us to make glass cups and lacquer ware. That was really awesome. It got me hooked. Now I am learning Eisa at home in America.

The people in Okinawa were so generous. They would always go out of their way for you. My home stay family was great. I really liked how we all got matched up by our hobbies or names. That was just another great part of the trip. This trip was so fun for me. I know that I never be able to experience what I did back home here in the U.S. I was really sad to leave Okinawa. I did not want to let go of all of the friendships that were made. I would trade anything to go back again. I do have hopes of returning. It was a wonderful trip. It will leave memories that will last for a lifetime.

To the Okinawa Government, thank you with all of my heart.



藤田 エリザベス 由利子  
Elizabeth Yuriko Fujita

カナダ Canada  
トロント球陽会  
2世



### 『私達の中にある沖縄』

夏のはじめ、私はこのような楽しく、感動的で、生涯忘れられない体験に参加できるとは思いませんでした。

当初、七月は、ミュージカル論を学ぶために毎日トロントの郊外に行き、蒸し暑い教室でバロックの巨匠について学ぶはずでした。しかしトロント球陽会の会長である永田さんからの電話を私と母が受けた瞬間からこの夏の予定が変わったのです。

私の中でいくつかの不安がありました。楽しめるだろうか？友達はできるだろうか？前回のようにひどい日焼けに苦しみはしないか？ありがたいことにひどい日焼けもなく、私の旅は終わり、ただ素晴らしい時間、思い出、友人、食べ物の思い出だけが残っています。

到着したときの感想はただ「眠い」でした。一日半よく眠れず大変な旅だったのです。そして朝起きるとすぐに、きついスケジュールが待っていました。最初の朝は、未来の友達への挨拶から始まりました。私の眠い目に映ったのは、色んな国から来た人達の顔で、疲れは見えるもののみんな笑顔でした。けれど、一つだけ彼らと私に共通するものがありました。私達の中にある沖縄の存在です。

次の日からめまぐるしい一週間が始まりました。言語の壁があったにも関わらず、沖縄の若い人に会えたことは、私にとって素晴らしい経験でした。ボランティアで地域国際交流クラブの生徒の方々が、ゲームなどを通してみんなが楽しめるように助けてくれました。そのおかげで皆がすぐにうち解けて、楽しい時間を過ごしました。そして沖縄と海外の生活をお互い学ぶことができました。

一つ残念に思ったのは、地域国際交流クラブの人達と交流できる自由な時間がもっと欲しかったという事です。

プログラム全体を通して、玉泉洞での伝統芸能体験、琉球漆器や琉球ガラスづくりがとても楽しかったです。また平和祈念公園を訪れたのは沖縄の歴史、悲惨な戦争があったことを知る上で、とても有意義だったと思います。

数々の体験を通して、沖縄の表面に触れたような気が

しました。

さよならパーティーを迎え、旅がよいよ終わりに近づいていくうちに、親しくなった友人達に別れを告げなければならないということに涙が溢れてきました。

まだ出会ったばかりで、そしてこんなにも早く別れなければならないというのに、私達はお互いに固い絆を作り上げたのです。

まだ良く知り合っていない新しい友人達と別れ、沖縄を去りましたが、不思議なことに彼らをカナダの友人達よりも近くに感じました。みんなのなかにある沖縄の血が、私達を家族のように感じさせ、一週間で固い絆を結ばせたのです。

それぞれが帰っていくのを見ながら、愛情と共にこの特別な感情を、みんなが感じたのではないかと思います。

沖縄で受けた暖かい歓迎。山原の滝までのツアーで、疲れているにもかかわらずみんなが見せた笑顔。最後の日にともに流した涙。このツアーから2週間が過ぎましたが、思いではまだ鮮やかに残っています。

私達がいつまでもつながっていられるように願っています。今では、テクノロジーやインターネットのお陰で簡単に連絡はとれます。しかし、悲しいことですが、いつかはジュニアスタディーツアーの仲間全員とは今のように話せなくなる時が来るでしょう。

しかし、わたしは彼らの幸運と、未来への発展、そしてこの多くの素晴らしい思い出をみんながずっと忘れずにいてくれることを願います。

A few months prior to the beginning of the summer, I had no idea that I would be participating in one of the most enjoyable, emotional and unforgettable experiences of a lifetime. I had been scheduled to take musical theory classes in downtown Toronto, spending my July commuting downtown everyday and boiling away in some classroom learning about the great masters of Baroque music. But the moment my mother and I received a phone call from our Toronto Kyuyokai president, Mr. Toshihiko Nakada, something told me that that would not be my fate this summer.

I'll admit I had some apprehensions about the trip: would I enjoy myself? would I make friends? would I get an extremely painful sunburn like last time?? Thankfully, I'm home, minus the sunburn, after my amazing trip and have nothing but great memories of many of good times, good friends and good food.

Upon first arriving, the first impression I had of what was to come was this: I needed sleep! It was rather taxing to travel for roughly a day and a half with restless sleep for the night and awake the next morning to a tight schedule. On my first morning in Japan I greeted some of the people who were to become my friends over the next few days. My sleepy eyes met other smiling yet fatigued faces from several different countries, but all of whom held one thing in common with myself: the existence of an Okinawan heritage.

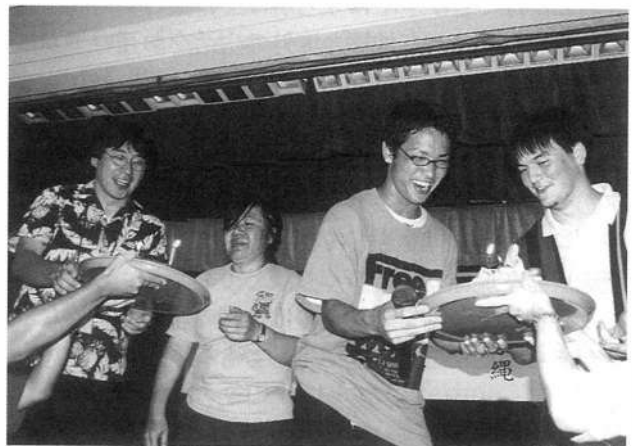
From that first morning onwards, the week went by in a whirlwind of sights, sounds and tastes. Meeting other young Okinawans was a complete joy to me, despite our rather awkward language barrier. To add to the fun, the volunteer students of the Kokusai Koryu Club were wonderful in helping everyone become more comfortable with each other through games and activities. Everyone had a good time befriending them, and learning about each other's life in Okinawa or abroad. My only regret was that we were not given more free time to exchange different cultural ideas and strengthen friendships, both with the students from the Kokusai Koryu Club and the students on the program.

Of all the activities, I felt the cultural lessons we had at the Gyokusen-do were the most interesting, followed by the chance to make some Okinawan lacquer ware and glass ware. I also felt the visit to the Peace Memorial was very important in helping everyone attain a better grasp of the history behind the once war torn island. In the end, after a week's time I felt as if we had barely scratched the surface on the number of different activities that can be done on Okinawa Island.

As the trip came to a close with the Sayonara Party, emotions were flowing as well as tears as each of us said goodbye to friends, with whom we held quite dear. We had each created such a deep bond with one another, despite the fact that

we had only just met, and just as quickly had to part. I left the island not knowing much about my new friends, but oddly enough I felt closer to them than I felt to some of my own friends back home. I think the feeling of family and kinship that the island has engrained within it's blood really took hold of everyone that week. Many of us especially felt this feeling of attachment as we said our goodbyes and watched as the island and our friends disappeared over the horizon.

It has now been roughly two weeks since my experience, but the memories are still quite vivid. The manner in which I was so warmly greeted and welcomed, the smiling faces of everyone as we tiredly marched along the trail to the waterfall in Yanbaru, and the tears which both myself and my friends shed on our last day together. My wish remains that we can all stay in touch, which is a better possibility in our world of today thanks to technology and the internet. Sadly, I know that years from now I will no longer be speaking with some of the Junior Study Tour students, but as a last goodbye I wish them all the luck in their future endeavours, and lots of love in the memories which I hope will remain with them for a lifetime. Sincerely,





ミシェル アベダニア  
ペベニト  
Michelle Abedania Pebenito  
フィリピン Philippines  
フィリピン沖縄県人会  
3世



## 『いつかまた、ここに戻りたい』

沖縄の美しい海と輝く夕日が飛行機から見えた。空港に着くと、大きな横断幕とフィリピンの国旗がすぐに目に付いた。そして、ジュニアスタディーツアーのスタッフの方々が温かい笑顔で私達を歓迎してくれた。空港を出る頃には、もうすでに日が暮れていた。

その夜、この旅が夢ではないとまだ自分に言い聞かせていた。まさか、この旅で私の人生が変わると思ってもいなかった。

次の日は、みんなにとっても大きな始まりの日だった。私はうれしさと同時に緊張感を感じていた。このツアーで私達にいったい何が待ちかまえているのか、見当もつかなかった。

財団に着くとすぐに、それぞれ異なった言葉を話していたが、たくさんの似た感じの顔を見た。それぞれ自己紹介をした。みんなそれぞれが知り合ったばかりだったので、少し気が楽になった。

その夜のウェルカムパーティーでは、ボランティアの生徒が用意してくれたゲームや余興のおかげで、私達はずっとお互いを知ることができた。パーティーが終わっても、部屋でルームメイトと何時間もおしゃべりをした。そのときから、みんなの名前を覚え、たとえ上手に日本語で会話できなくても、私は新しい友人ができたことをうれしく思った。

次の朝からは、目覚めるのが待ち遠しかった。そして、みんなにとって忙しい日々の始まりだとわかった。まずは、沖縄県庁を訪れた。県庁内の見学は簡単には出来ないことだと知っていたので、私にとってとても充実した時間だった。

その後、那覇市内のレストランで昼食を取った。いまだに、あの沖縄そばの味は忘れられない。昼食後、私達は那覇市内を散策した。暖かな南国の気候、お土産品店、そして、市場の豊富なシーフードは私の故郷に似ていた。その時、沖縄で私は自分の故郷にいるように感じた。最後に首里城に行った。本殿を見た時の驚きは言い表せない。何度も破壊されたとは思えないほど、今では、本来の美しさを取り戻している。

ホテルに戻って、自由時間があったので、何人かでプールに行って、水中鬼ごっこをしたり、みんなで楽しんだ。夕食までの時間にすっかり、みんな打ち解けていた。

次の日は、またしても私達にとって長い一日だった。平和祈念公園に行って、沖縄戦についてのビデオを見た。それは、恐ろしく悲惨なものだった。この悲惨な戦争から生き残ったとしても、そのすさまじい経験は人々の心に決して消えない傷を残していることを思い、とても気

持ちが沈んだ。

その後、琉球ガラス作りを体験した。そこは建物全体がガラスで覆われていたのでビックリした。最後には、琉球漆器作りも体験した。自分でデザインし、結構大変な作業だった。

木曜日は、それぞれが選択した芸能体験が出来る玉泉洞をみんな楽しみにしていた。私は琉球舞踊に参加し、グループみんな、レッスンを楽しんだ。90分後、それぞれの練習の成果を発表した。三線、空手、そして最後に舞踊を発表した。昼食後、エイサーショーを楽しみ、ショーが終わると、体験レッスンもあった。玉泉洞を出た後は、黒糖工場へ向かい、黒糖の作り方を学び、試食することが出来た。

夕食後のキャンプファイヤーでは、ボランティアの生徒の方々が用意してくれたグループゲームで、その夜はみんな楽しんだ。

こんなに時がたつのは早いものだとは思わなかった。もう金曜日だなんて。

その日はいつもより早く起きて、出かける準備をし、二つのグループに別れて、行動した。私のグループはまず慶佐次のマングローブ林に行った。そこには、様々な種類の木やカニがいて、驚いた。慶佐次を出発して、山原の森へ向かった。そこで、もうすでに大滝まで行って来た、他のグループに会った。階段を60段登った時に、なぜもう一つのグループがすごく疲れていて、お腹を空かせていたことがわかった。1時間歩いて、ついに比地大滝に到着した。滝は素晴らしい景色で、水は冷たくて、そこに行ったかいいが思った。それを見て、またフィリピンを思い出した。

最後に、パイナップルパークへ行き、パインの味を楽しみつつ、その加工品の多さに驚かされた。

その長い一日を終え、みんな疲れ切っていた。しかし、みんなと一緒に過ごす最後の夜だったので、ほとんどの人が眠らず、その夜はみんな楽しい時間を過ごした。

土曜日が来て、私はワクワクしていた。なぜなら、その日はビーチに行く日だった。ビーチでは楽しい時間を過ごした。素晴らしい景色で、一日中ここにいらればなあと思った。数時間後ビーチを去り、ホストファミリーと対面した。待ち合わせ場所に到着した時、夢乃さんの母親である山城さんとお会いすることができて、とても嬉しかった。家族の皆さんは親切でとても嬉しかった。

楽しい時間を過ごした。彼らは私を色々な場所に連れて行ってくれた。夜のマーケットやモールにも行き、大きな観覧車にも乗った。てっぺんまで行くと、美しい夜景を見ることが出来た。日曜日が来て、とても悲

しい気持ちになった。その日が一緒にいられる最後の日だった。

昼食時間の間に国際通りに行き、何人かの友達と待ち合わせて買い物に行った。5時になって、さよならパーティーの会場である都ホテルに到着した。

その夜は、期待と興奮と悲しみに溢れていた。知事が、修了証書を一人一人に手渡してくださった。パーティーが終わり、みんな悲しそうな顔をしていた。泣いている子もいた。その夜が、みんなで過ごす最後の日だった。もちろん私自身みんなで過ごした時間が恋しい。この1週間はお互いを知るのに十分な時間だった。短い期間で私達は、同じ時間を過ごし、きずなを結んだ。

翌日、空港で何とか、ハッピーでいられるように努力した。沖縄での素晴らしい時間を忘れることはできないからだ。

いつかまた、ここに戻り友人たちと過ごした素晴らしい時間をよみがえらせた。このような機会が与えられ、そして、自分のルーツを知り、豊かな文化、素晴らしい歴史を学べたことに感謝します。

ここで学んだ貴重なこと、素晴らしい友人たちは何物にも代え難く、永遠に私の心の中に残るでしょう。

From the plane, I saw the beautiful ocean and the bright sunset at Okinawa. When we arrived at the airport, a large banner and the Philippine flag immediately caught our attention, and the coordinators of the Junior Study Tour welcomed us with warm smiles. It was already dusk when we got out of the airport. That night, I was still trying to convince myself that this whole trip was not a dream at all. What I didn't realize was that this tour was going to change my life.

The next day was big start for everyone. We already met a few students who also stayed at the hotel. I was euphoric and tensed at the same time because I didn't have a clue of what was in store for us in this tour.

Upon arriving at the Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation, I saw a myriad of comparable faces speaking diverse languages. We introduced ourselves and I felt better because we were all beginning to know each other.

That evening, we had the welcome party. It was the time when we got to know each other more because of the games and presentations prepared by some students. When the party was over, we got back to our rooms and chatted with our roommates for a few more hours. At that moment, I began to know people by their names and even if I couldn't communicate well in Japanese, I was glad that I made new friends.

I was eager to wake up the next morning and I knew that it was going to be a hectic day for everyone. First stop was the Okinawa Prefectural Government. We were introduced to the government officials and after which we toured the building. It was an enriching moment for me to learn about the Okinawan government because I know that only a few people can

experience being toured around a government's building.

We had lunch at some restaurant in Naha City. Right now, I still miss the delightful taste of the Okinawan soba. After lunch, we toured around Naha City, particularly in Kokusai Dori. That moment, I was amazed because I felt like I was in my own country. Almost everything was similar. The hot tropical weather, bargain shops, and the rich seafood sold at the marketplace. Right then, I felt at home in Okinawa.

Last stop was the Shurijo Castle. I couldn't express my awe and wonder at the sight of the castle itself after we passed Houshinmon Gate. I couldn't imagine how it has been destroyed several times because today it is beautifully restored to its original majestic beauty.

When we returned to the hotel, we had a free time so some of us went swimming at the pool. All of us had fun because we played tag in the water and bonded for quite a while until it was time for dinner.

The next day was yet another long day for us. We went to the Peace Prayer and Memorial Park. Then we viewed a film about the historical battle of Okinawa. I was deeply distressed and terrified by what I saw. I felt bad because I know that even if some people did survive that tragic warfare, the bitter violence that once happened to them will forever leave a scar in their hearts and minds. The peace memorial statue will signify peace to every human being eternally.

After that, we went to the Ryukyuan glassware factory where each one of us experienced making an authentic Ryukyuan glass. I was astounded by the structure of the building because it was filled with tiny square glasses some of which was formed with designs. It was one of the most beautiful and creative buildings that I've been to. The last place we went to was the Lacquer ware shop where we also experienced making the designs on the plates. I have to admit it was tough to work on the designs because you have to do it intricately in the most artistic idea you can come up with.

Thursday came, and we were all eager to go to Gyokusendo because we were all going to study different cultural activities. I was assigned at the Ryukyuan dance, and my fellow group members and I had enjoyed learning Buyo. After an hour and a half, everyone was supposed to show what was taught to us. There was a group, who played the Sanshin, and another performed Karate, and finally we danced Buyo. Everyone was pleased to learn the different cultural activities.

After lunch, everyone had been waiting to see the Eisa dance. Everybody enjoyed watching the show. And to top it all, they even taught Eisa to everyone after their performance.

After we left Gyokusendo, we headed to the brown sugar factory where each of us was given some brown sugar to taste. Then we learned how they manufacture brown sugar itself.

That night, after dinner, the volunteer students set up a campfire for us and prepared some group games for us to play. Everyone had enjoyed all the activities that evening.

The next day, I didn't notice how fast the days went by because it was already Friday. I woke up earlier than usual because I had to prepare for our trip that day.

We were divided into two groups and my group first went to the Kesaji Mangroves. I was amazed at the different kinds of trees and crabs that were to be found there.

When we left the mangroves, we headed to the forests of Yanbaru. We met the first group who went there. Then as we were climbing the 60-step stairs, I realized why the other group looked so exhausted and hungry when they returned. After about an hour of trekking, we finally reached the Hijiotaki waterfalls. It was all worth it because the water was cool and the falls was a breathtaking sight. Upon seeing it, I was remembered the Philippines once again.

Our last stop was the Pineapple Park. I was amazed because they made a lot of pineapple products. Everyone had a great time tasting different pineapple delicacies.

After a long day, everyone was really tired. But that didn't stop us from having a good time with each other. It was going to be our last night together because the next night we were scheduled to stay with our host families. Most of us couldn't sleep that evening.

Saturday came and I was very excited because we were going to the beach. When we got to the resort, I had a great time with my friends. The beach was really breathtaking and I wanted so much to stay there the whole daylong. I fell in love at the turquoise waters, the powdery white sand, and the warm tropical weather.

After a few hours, we left the beach and headed to meet our host families. When we arrived at the meeting place, I was so happy to meet Mrs. Yamashiro, the mother of Yumeno. I was going to spend the night with their family.

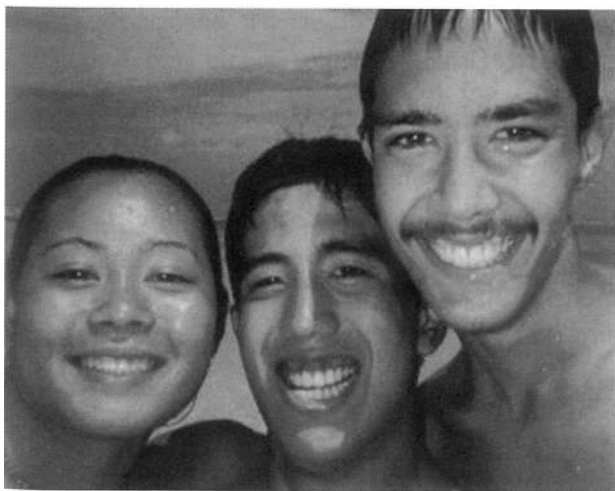
I was overjoyed because they were really nice to me. I even found out that Mrs. Yamashiro's father was a Filipino. We all had a wonderful time together. They toured me around, and we went to a night market, and a mall. We even took a ride in the huge Ferris wheel. At the top, I could see the beautiful view of the city at night.

Sunday came and I was somehow sad because this was going to be our last day together. During lunchtime, we went to Kokusai Dori to meet up with several of our friends to go shopping. Then at five o'clock, we left for Miyako Hotel, the venue of our farewell party.

That evening was filled with anticipation, sheer excitement, and sadness as well. The governor awarded each one of us certificates of completion for being participants in the Junior Study Tour 2002. After the awarding ceremony, dinner was served followed by a program.

Everyone was glum after the party was over. There were even some who cried because that was our last night with one another. I myself would surely miss all those moments we spent as a group. A whole week was enough for everybody to get to know one another, yet it was such a short time to bond and share moments together.

The next day at the airport, I tried my best to be happy yet I know that it's not possible to forget the precious moments that we all left in Okinawa. One day, I'll go back there and rekindle those fond memories that my friends and I once had. I'm glad that I had been given an opportunity to go to Okinawa to trace my roots and learn about its rich culture and remarkable history. Nothing could replace the valuable lessons and the beautiful friendships that I had made because everything was a priceless beauty that will forever linger in me.





ジョネロバス コメロス  
イグナシオ  
Jonerobeth Comeros  
Ignacio  
フィリピン Philippines  
フィリピン沖縄県人会  
3世



## 『パラダイス沖縄』

私の沖縄での旅は本当に素晴らしく、楽しいものだった。私達が訪れた場所、ツアーで会った人々、全てに興奮した。

初日、色々な国から来た参加者20名と国内参加者24名の自己紹介の場が設けられていた。

2日目、私達は首里城を訪れた。城の全てが美しく、とても驚いた。そして、建築様式には、中国と沖縄、そして日本の影響を受けているのが見られた。

またその後には、国際通りも散策した。ここでは食料品や色々な物が安く売っていて、観光客がお土産やプレゼントを買うために最適な場所だ。市場にも行ったが、市場はとても整っていて、清潔だった。

3日目には、平和祈念公園に行った。沖縄戦時中の人々の生活を学んだ。

そのあと、琉球ガラスと漆器作りの体験学習があった。琉球ガラスのコップを作り、漆器はハイビスカスやイルカなど、デザインを自分で選ぶことが出来た。漆器に使われている材木は乾燥するのに3~5年もかかるそうだ。

4日目、私達は玉泉洞に行き、エイサーショーを見て、エイサーのステップを習った。エイサーは沖縄でも人気のある伝統芸能の一つだ。その後、私達は3つのグループに分かれて、琉球舞踊、空手、三線のレッスンを受けた。私は、琉球舞踊のグループを選んだ。

そのあと、嘉手納の広大なアメリカ軍基地の見学に行った。

次の日は、沖縄の北部、森林地帯のやんばるツアーに出かけた。山の中を歩き、やっと比地大滝に着いた時は、すごく疲れていたが、滝が見えると疲れも飛んでいった。滝はとても大きくて、水は冷たかった。シダやコケのような、珍しい動植物が、滝の周りに生えていた。また、慶佐次のマングローブも見に行った。慶佐次川の河口にマングローブの林があり、そこには、3種類のマングローブがあった。

最後の日は、海と水族館に行った。私は、水族館に行った。水族館はとても大きくて、様々な海の生き物を見ることが出来、イルカショーも見た。

以上が、私の沖縄での旅です。美しい景色、ユニークな沖縄の文化、きれいな通り、人々の温かい心、様々なデザインのビル。

本当に、ここは忘れられない場所です。そして、誰もがこのパラダイスのような島を訪れると、離れたたくなるでしょう。

### “A week at Okinawa, Japan”

My trip at Okinawa, Japan is absolutely wonderful and enjoyable. I am so excited about the places that we would visit and the people that I would meet at the tour. The places that we have visit are the Okinawa International Exchange and Human Resources Development Foundation (O.I.H.F), Okinawa Prefectural Government, Shurijo Castle, Peace Prayer and Memorial Park, Peace Memorial Museum, Cornerstone of Peace, Ryukyuan Glassware, Lacquer ware, Gyokusendo, Kadena air base, Nago Pineapple Park, Hijiotaki, Kesaji mangrove river, and the Aquarium.

At the first day the other participants of the tour that came from other countries like Cuba, Hawaii, Los Angeles, San Francisco, Washington D.C., Atlanta, Toronto, Argentina, Brazil, Bolivia, Peru, Singapore and also the Philippines meet there together with the other 24 participants from Okinawa, Osaka, Miyako, Isigaki and Kanagawa japan. We are allowed to room around and know the name of the other participants of the said tour.

At the second day we went at the Shurijo Castle. I am amazed by the place because all of the castles are all so beautiful and you would notice the unique mixture of the Chinese, Okinawan and Japanese styles architecture that reflects in the castle. We also went to the busy street of Kokusai Dori. All the products and food items here are all sold in low and cheap prices. This place is really meant for the foreigners that want to buy souvenirs



and gifts in low prices. We also went to their public market. I notice that there market although it is a wet market, it is still very organized and the place is still clean.

At the third day we went to the Peace Prayer and Memorial Park. You also would locate the Peace Memorial Museum, Cornerstone of Peace in this place. I have learned the lifestyle of okinawan people during the battle for Okinawa against the U.S. forces. Over 236,000 names both civilian and soldiers regardless of their nationalities can be found in the cenotaphs at the Cornerstone of Peace. This quite and relaxing place is made for the symbol of peace not only for Okinawa but also for the mankind. We also went at the Ryukyuan Glassware and to the Lacquer ware. The Ryukyuan Glassware building is so nice. The building is made of different colored glass. The instructor let us tried to do our own glassware, a vase, and it is so beautiful. At the lacquer ware area, we made our own lacquer ware product. You would choose whether you'd make the Hibiscus or the dolphin design. I have learned here that the woods used in making lacquer ware products are stored from there to 5 years so it would become really, really dry.

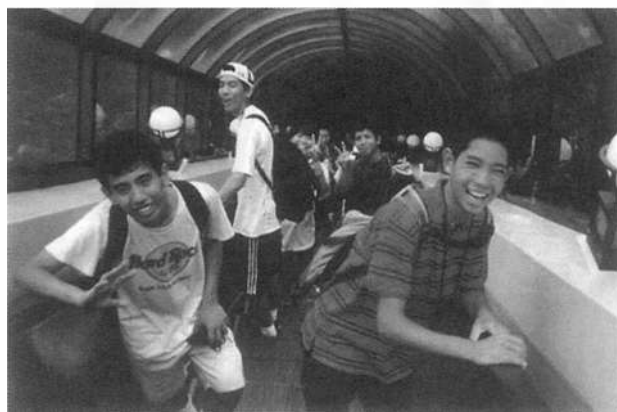
At the fourth day we went at the Kadena Air Base, the biggest U.S base that you would find in the Okinawa. Then we went to Gyokusendo we have watched some Okinawan people performing Eisa Dance. This Eisa Dance is one of the most popular and famous okinawan folk dance representing bravery and magnificence. The personnel of Gyokusendo also teach us some steps of the Eisa Dance. The participants is group into three. I am designed to do the Buyo or the Ryukyuan dance group, the others are in the karate and sanshin group.



At our fifth day in Okinawa we went at the Yanbaru, a natural forest area, at the northern part of Okinawa. Many extinct species live here like the Noguchigera (Pryer's woodpecker). We walked through the edge of the Yanbaru forest to find the Hijiotaki falls at the topmost part of it. I am so tired by that time but when I have seen the falls it feels like all I have done is paid off. The falls is so big and the water is cold. Rare flora and fauna such as fern and mosses grow around the waterfall. Then we also went at the Kesaji Mangrove River. In the mouth of the Kesaji River there is a Mangrove forest. There are three kinds of Mangroves growing in this area. Mangroves that grow in the sea, in the intertidal areas and estuary mouths between land and sea.

At the sixth day the participants are allowed to choose whether they would go to the aquarium museum or to the beach. I choose to go to the aquarium museum. The place is so big. I have watched a dolphin show there and seen a wide different variety of fish and sea creatures.

That is my trip at Okinawa, Japan. All the nice and beautiful sight seeing place, the unique culture of the Okinawan people, the busy but very clean streets added with the warm acceptance of the people living there, the big and mixed architectural design of the buildings. Japan really is an unforgettable place and you'll feel that you don't want to leave the all most paradise island.





照屋 なつ子  
Natsuko Teruya

シンガポール Shingapore  
星琉会  
2世



『沖縄に誇りを持つようになった』

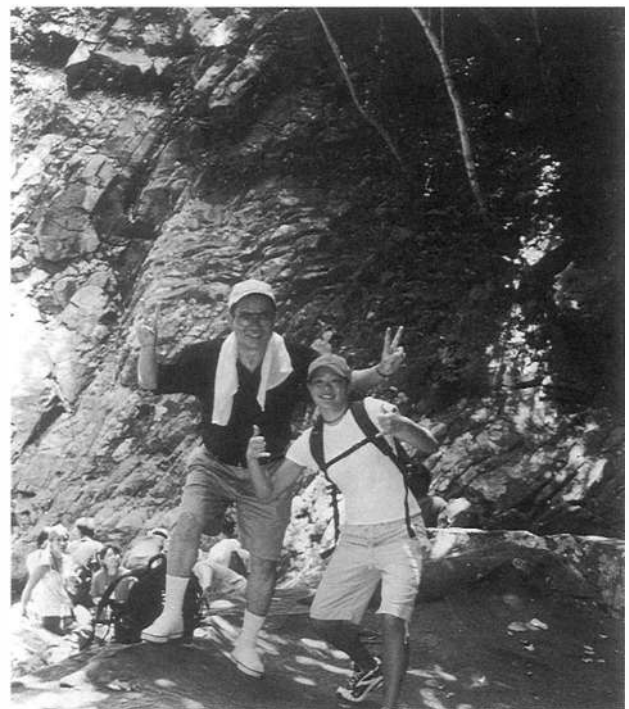
ジュニアスタディツアーに参加し、私は大変楽しみました。ジュニアスタディツアーでは、沢山の新しい友達ができ、また、文化の違う人たちと交流できるチャンスを与えてもらい、感謝しています。それに、沖縄のことも勉強できました（お父さんが沖縄出身なのに、全然知らない沖縄を知ることができました）。この機会を通して、沖縄の人々が乗り越えて来た苦しみや悲しみを知り、一層、沖縄の人々、沖縄の土地に誇りを持つようになりました。

一番の思い出は沢山の友達ができたことです。例えば、アスカたち、久美ちゃん、リナちゃん。もっと街を観光する時間があれば良かったのかなと思いました。とは、言うものの、グループで行動したことは、とてもいい経験になったけれども、仲良くなった友達と過ごす時間ももっとあれば、さらに楽しめたと思います。ほんとに。最後になりますが、このような素晴らしい機会を作ってくれたスタッフの方々に感謝いたします。本当に本当に楽しく素敵な旅でした。

I enjoyed the Study Tour very much. It gave me such an opportunity to make friends and bond with people from different cultural differences, as well as studying about Okinawa. (Which I had no idea about, even though my dad was from Okinawa...) It Really gave me a new found respect for that place and the struggle they're (the Okinawa people) been through, and I am very grateful for that.

The best part of the trip is that I've made loads of friend. ( Askas, Kumi-chan, Rina etc.) I think it would have been better if we had more time in the city and although group division is a good tactic to socialise, it would have been better if we had more time with close friends that I've met...(really).

Thanks to the staffs who have helped out with the making of such a great opportunity and who have helped us organised and have a great time. It was truly great and tour. Thanks again.





宮城 聖里香  
Miyagi Serika

辺土名高校3年

『沖縄に住んでいても、  
知らなかった事が多くあった』

長い様で短かった一週間が終わり、私は今、みんなの事を思い出しています。どの友達と話をしても「楽しかったよ。参加して良かった。」という言葉が出てきます。はじめは不安で胸がいっぱいでした。何故なら、言葉の違いという壁があったからです。英語ならまだしも、普段耳にする事のないスペイン語やポルトガル語の人の

の会話は、どうしていいのかわかりませんでした。しかし、相手もそれは同じで、その分一生懸命に私の言っている事を理解しようとしてくれました。

ツアー中色々な人と話をし、時には話が盛り上がりすぎて、食事を忘れたこともありました。内緒話をしたり、日本のギャグを教えたり、色々な事で交流を楽しめたと思います。みんな個性豊かな人たちで、いつも笑いが絶えませんでした。

ツアー中いろいろな場所へ行きました。沖縄に住んでいても、知らなかった事や今まで体験した事のない事が多くありました。他国の人と話をしながら歩いた比地大滝は、自分の身近にあるものだけでも、格別楽しく感じることができました。又、いろいろな国の文化や芸能の話もしながら過ごしていました。初めて見るサンバやタンゴはとても魅力的で、その後、みんな一緒に練習をしました。最後にはみんなで曲に合わせて踊れるまでに上達しました。

今思えば、その過ごした日々は、毎日が新しい発見の日々だったのだと思います。

最後の日のお別れパーティーで、このツアーでできた私の一番の親友が泣きました。そしたら、私の中で、今日でもう会えなくなるという思いが強くなり、涙が止まりませんでした。たった一週間だけの交流会で、自分がこんなに泣くなんて思ってもみなかったです。参加しなかった友達や同級生から見れば単なる交流会と思われるかもしれませんが、私にとってはあの一週間の出来事は、簡単には語り尽くすことができない貴重な体験です。一緒に過ごした時間は短かいけれど、私の大切な仲間です。嬉しい事や楽しい事も一緒に感じた人たちにしか伝わらない何かがあると私は思います。

また、このジュニアスタディーツアーで異文化に接して感じた事をこれからの私の残り少ない高校生活の中で、多くの面で生かしていきたいと考えています。

最後に一生懸命私たちのために準備してくれたスタッフや参加者全員に感謝しています。ありがとうございました。



大城 奈津紀  
Oshiro Natsuki

石川高校2年

『いろんな国や地域に、友達を沢山作りたい』

夏休みに入っすぐ始まったジュニアスタディ。外国人と泊まるという初めての体験で私はいろいろな事を学びました。

人見知りの激しい私は、知り合いもないこの企画でやっていけるか不安でいっぱいでした。英語は話せないし、日本人には、話しかけられない…。そんな不安を取

り除いてくれたのが、なっちゃんでした。ポーっとしていた私に、話しかけてくれました。しかも日本語だったので、とっても驚きました。そんなこんなで始まったジュニアスタディにも、だんだん馴れていき、友達も増えました。そして、改めて周りを見ると、みんな大人っぽくて私とかほりが、とても小さく見えました。私とかほりは似ている部分がありました。英検三級をもっていて…。英語を話せないし、身長も小さい方で(なっきの方がちょっと大きいけど) 仲も良かったです。たぶん…。

私達二人はいつもサンバの練習を頑張っていました。けれど、なかなかうまくいきません。それに対して、ゴリさんが、超→うまくなって、少しライバル心を燃やしていました。糸満のホテルでは、かほりと二人でダイエットをしました。暇があればサウナに入るという状況で、いつも入りに来ている常連さんと仲良くなりました。けれ

ど、体重は減りませんでした。よくよく考えてみると、私達は、食前に入って、食後に入って、減ると言うより元の体重を保つみたいな感じでした。意味のないことをしたな→とつくづく思いました。

ヒロシの失礼な態度は、本当におもしろかったです。かわいいなどの反対に変態とかオナラとか、お前はアホかっ！！と感じてたけどね。

終わってみると、最初は、あと五日間って感じでしたが、最後は、たった一週間でした。まだ、みんなと行っていないところもあるし、いっぱい話したい事もあったし、いっぱい遊びたかった。まだまだ、足りません。空港では寂しいのをこらえて、笑顔で見送ろうと頑張ったけど、帰っていくのを見るのは、とても辛くて、涙が止まりませんでした。

この体験をバネに、これからもいろいろな企画に積極的に参加していきたいです。そしていろいろな国や地域に、友達を沢山作っていき、文化などを勉強していきたいです。

もし、成人になって皆にお金が貯まったら、今度は外国で、シニアスタディをしたいです。あの時よりも、友情を深めていきたい。



山城 夢乃  
Yamashiro Yumeno

美里高校1年

### 『いつかみんなの国に行きたい』

初めは、だんだん行く日が近づいて来ると、友達ができるか、英語で話すことができるかなど、不安になってきました。

そんな時に、ハンドブックに住所や電話番号が載っていることに気がつき、早速参加者の中から同じ年の人に電話をかけてみました。いろいろ不安などを話しあい、少

し安心し、オリエンテーションの日を迎えました。

ウェルカムパーティの時、英語に自信のなかった私は、なかなか他の国の人に話しかけることができませんでした。

次の日の国際通り散策の時、やっと勇気をだして同じグループの人に話しかけることができましたが、英語が通じなくて大変でした。でも、その時話しかけたことで、少し自信がつき、少しずついろいろな人に話しかけることができるようになりました。

比地大滝や、エイサーなどもとても楽しかったのですが、夜にみんなで話をしたり、踊ったりしたことが、私にとって、とてもいい思い出になりました。その時に、今まであまり話したことがなかった人に話しかける事ができました。

ホームステイの日、私の家にはフィリピンからミシェルが来ました。ミシェルは日本語があまりわからないので、みんなでいる時は、解からない英語などは、誰かに訳してもらっていたので、二人になるのが不安でした。

その日は美浜のナイトマーケットに行くことになり、二人でいろいろ見ながら歩いている時に、ミシェルに値段を聞かれたので、お店の人に聞いてみると千円でした。私はその時、英語で千円という単語が分かりませんでした。そしたら、お店の人が九百円にしてくれました。私は、英語が解らないことも得する事があるんだなと思いました。私は前の日、皆で過ごす最後の日ということもあり寝るのが惜しいと思い、皆で夜通し楽しく語り合い寝なかったの、夜は眠くて眠くて、せっかくミシェルが家に来てくれたのに、すぐに寝てしまいました。

最後のさよならパーティーの時は皆で過ごした楽しく、忘れられない日々を思い出しながら、出会えたうれしさと、別れの寂しさで胸がいっぱいになりました。1週間という日数がとても短く感じ、もっと皆と過ごしたかったです。

ツアーを終えた今でも、県内や海外からの出会えた友達とメール等でコミュニケーションを続けています。

メールをするために、英語を勉強するようになり、テレビとかで今回来ていた人の国を見ると、「あの人の国はこういう所なんだな」とか、考えながら見るようになりました。

日本の人も、他の国の人も、みんな明るくて、話しかけるまでは大変でしたが、話しかけると、すぐ仲良くしてくれて、すごく楽しい一週間でした。これからでもみんなと連絡をとり、いつかみんなの国に行けたらいいなと思います。



宮里 あすか  
Miyazato Asuka

宜野湾高校3年

## 『言葉は分からなくても、楽しい気持ちは一緒』

今回、ジュニアスタディーという、各国の日系三・四世の同世代のみなさんと交流をもてとても幸せに思っています。最初は不安という言葉から始まったこの旅。同じ島に住んでいるはずのみんなとも初対面とあって、仲良くなれるのかと心配でした。

ツアーの初日、重い荷物と不安な気持ちを抱え、集合場所へと向かいました。そこでは緊張したムードが流れ、どうにか仲良くなろうという私の気持ちと同様にみんなの気持ちが伝わってきました。

一行は、泊まるホテルへと移動し、その夜は交流プログラムとウェルカムパーティー。そこでは、ブラジルのダンスを踊ったり、沖尚のみなさんが企画してくれたゲームなどをして、とても楽しい一日を終えました。その時、私は、言葉は分からなくても楽しい気持ちは一緒なのでこのプログラムやダンスが仲良くなれたきっかけだと思いました。

そんな日々を過ごす中で、歴史学習や平和学習、そして体験学習を体験しました。その体験した中で一番心に強く残っているのが、平和学習です。私たちの知らない戦争で尊い命を失った人達の名前が刻まれた平和の礎、悲劇を物語ったビデオやパネル、そして遺品が展示されている平和祈念資料館を見学しました。そこでは戦争の生々しさが伝わり、涙を流している人もいて、私同様に戦争は二度と起こってはならないという強い何かを感じたことでしょう。外国の参加者たちに忘れてはならない沖縄の悲劇を知ってもらって、私なりに感動しました。

気持ちはだんだん一つになってきた中、北部へと移り、キャンプファイヤーやゲームなどをし、さらにみんなの仲は深まりました。

暑い中、何時間もかけて登った比地大滝では、疲れているはずの身体も嘘のように幼少にかえり、みんな滝へと飛び込みました。夜は花火大会、寂しさを感じ涙する面でもありました。共にする最後の夜は、一睡もせずみんなで話し込んでいました。

翌日は自宅へ帰り、私の家にはワシントン D.C から来たパウチャー・アスカさんがホームステイしました。二人で温泉へ行ったり、家族と共に沖縄料理を食べながら楽しい時間を過ごしました。

さよならパーティーの朝、みんなの考えは一つになり、国際通りへと集まりました。お土産を買ったりして長い時間を有意義に過ごしました。それからパーティー会場に向かい、式典、そしてパーティーが始まり、歌を披露しました。涙が止まらない一日になりました。

私は高校最後の夏休みに貴重な体験をさせて頂いた学校の先生、県・スタッフの皆様、そして海外からの引率者の方に感謝致します。皆様と出会えた事は、何かのご縁だと思いますのでこれから先も交流を深めたいと思います。

本当に有り難うございます。





高本 哲也  
Takemoto Tetsuya

西原高校2年

『もっと英語を喋れるようになりたい』

僕のジュニアスタディーツアーに参加しての感想は、自分は初め、知らない人ばかりで、しかも外国の人達にも言葉が通じなくて、とても不安でした。でも、沖尚の人達が企画してくれたウェルカムパーティーでゲームやダンスをしているうちに少しずつ外国の人や他の学校の人と喋れるようになりました。そして夜になると、各部屋に戻り各国

の文化を話し合い、いろんな国の文化を知ることができ勉強になりました。

ツアーの前半は県庁や首里城、国際通りを散策し、琉球ガラスや漆器などを作りました。僕は沖縄で生まれ沖縄で育ったんですけど、初めて琉球ガラスや漆器などを作り、あらためて沖縄の文化に触れることができました。

ツアーの後半では、キャンプファイヤーに、やんばるエコツアーや海などに行き、沖縄の自然に触れることができました。エコツアーではやんばるの山に登り、大きな滝の下の川に入り、とても気持ち良かったです。

ツアーの最後の方にホームステイがあり、僕はアメリカに住むジョーという男の子を家に泊めました。しかしジョーはツアーで疲れているみたいですぐに眠ってしまったので少し残念でした。

そして最後の夜はさよならパーティーをやりました。パーティーではみんな泣いていて、とても寂しかったです。

このツアーで初めてこんなに外国の人と触れ合っ、もっと英語を喋れるようになりたいと思いました。ツアーでは英語やスペイン語は上手に喋れなかったけど、外国の人達は最後まで真剣に聞き取ろうとしてくれて、おかげで伝えたいことが何とか伝わりました。

今はメールなどを交換しているけど解読するのに時間がかかり、文を作るのにも時間がかかるのでなかなか返すことができません。だから英語をもっと勉強してメールを返せるようになりたいです。

最後にこんな楽しいツアーができ、作文には書けないくらいたくさんの思い出ができました。いつかお金をためて海外の友達に会いに行きたいです。



西筋 理奈  
Irisuji Rina

那覇高校1年

『以前とは違う自分を見つけることができた』

私はこのジュニアスタディーツアーに参加して私達とは異なった言葉・文化をもった色々な国の人と出会いました。初日はさすがに緊張がとけなくてとまどってばかりでした。だけど、交流を重ねていくうちに、言葉はあまり通じないけど、心が通じたような気がしました。それぞれ違う国の言葉に対し、どうすればよいのか分からなくても、かたことの日本語、

英語、スペイン語などで辞書を片手に話したり、通訳の人を通して一緒に会話したり、時には身ぶり手ぶりで言いたいことを伝えた日もありました。

最初の頃は正直言って、言葉が通じないのが恐くて、自分から話しかけるのをさけていました。だけど時間が過ぎるたびにその不安は消えていきました。とにかく他の国のことを聞きたくて、話してみたくて、必死に伝えてみたりもしました。夕食前にはみんなで多目的ホールや広場に集まり、ダンスを踊り、サッカーのようなゲームをしたり、おしゃべりしたりして楽しみました。夜は同じ部屋のメンバーで一つのフトンに集まって恋愛話に燃えた日もあって、すごいいました (笑)

みんなと仲良くなってからは楽しすぎて、時間が過ぎるのが早すぎて、足りないくらいでした。みんなと楽しい時間を過ごしていくうちに別れの時もせまってくる、という思いもあって、私は楽しさの裏に少しだけ寂しさがありました。みんなと一緒に過ごせる最後の夜の日は、眠たいんだけど、眠ってしまうのが惜しくなって、夜遅くまで起きていました。メンバーの中の夏休みの宿題を真ん中において2~3人集まってみんなで解いてみたり、ギター片手に歌を歌ったり、話をするのに一生懸命で我を忘れてしまっていたりもしました。眠かったけど睡眠時間さえ惜しんでまでみんなと一緒にいたかったです。

しかし、それだけ一緒になって楽しい時間を過ごした分、別れるのは本当につらかったです。約一週間ずっと一緒になって笑い、遊びいろんなことについて学んできただけあって、別れるのはとっても寂しかったです。一週間は長いようであつという間に過ぎていってしまっていて今思えば、とっても短かったような気がします。

私はこのツアーでたくさんの友達を作ることができました。みんな言葉が通じなくても、最高の仲間です。また、以前とは違う自分を見つけることができたような気がします。たくさんのいい思い出を作ることができました。本当にたくさんの人に出会い、色々な文化にふれ、私達の住む沖縄の文化についても考え、学ぶことができました。

このツアーはこれからの私にとって、大きなプラスになっていくと思います。心から、みんなに出会うことができて良かったと思います。

最後になりましたが、ウェルカムパーティーやキャンプファイヤーなどで、盛り上げてくださった沖縄尚学の国際交流クラブのみなさん、一週間一緒になって本島をまわってくださった関係者のみなさん、本当にありがとうございました。

またいつか、みんなで楽しく話せる時が来るといいな〜…と思います。

それではまた、いつかどこかで会いましょう。



玉城 智佳  
Tamaki Chika

沖縄女子短大  
附属高校3年

### 『この経験を活かしたい』

夏休みに入って早々の七日間にわたるジュニアスタディーツアー、とっても楽しかったです。県外をはじめ海外からの参加者たちと交流する機会、それから沖縄を改めて総学習できる機会もめったにできない私にとって、今回のスタディーツアーは色々な面で、勉強になりました。

ツアーの始め、みんな沖縄との血縁関係もあって、誰に何語で話しかけたらいいのか戸惑いもありました。でも、二、三日もたたないうちに、だんだんとその壁も無くなり、初めて会ったのがついこの間とは思えないくらい仲良くなりました。お互いの国のダンスや音楽、言葉を教え合い交流できて、サイコーでした。又、社会、平和、伝統芸能、自然といった、体験学習も含めた沖縄の総合学習もサイコーでした。

私が、このジュニアスタディーツアーに参加する一番の目的は、地元の沖縄を改めてきちんと学習したいということで参加しました。理由は、自分が地元のウチナンチュでありながら、意外に地元のことを知らないと感じていたからです。気づききっかけとなったのが、自分の留学経験と、私の義理の伯母が県外の出身者ということもあって、沖縄について何度か質問されたことがありました。その時、私は上手く答えることが出来ず、これまで自分が口だけのウチナンチュであることに気づきました。だから、私が今回のスタディーツアーに参加したことで、改めて地元の沖縄のことを見直すことができて良かったし、又、その経験を今後の自分に活かしていきたいと思っています。

最後に、ジュニアスタディーツアーの関係者のみなさん、おつかれ様でした。そして、すごく貴重な体験をありがとうございました。





國場 雄作  
Kokuba Yusaku

豊見城高校 2年

## 『一生忘れられない思い出』

僕は、ジュニアスタディーツアーに参加できて、とても嬉しく思っています。各国の人達に会え、色々な言葉を耳にし、色々な話が聞けました。今、僕は「各国の人達」と表現しましたが、そんな他人行儀な言葉を使うと、自分が嫌な気持ちになるほど、とても仲良くなれました。

オリエンテーションで、僕は隣の日本人の一美たちとしか喋ろうとしなく、スタッフの人がクリスを連れてきても、とまどい、あまり喋れませんでした。バスの中でも同じ班のあすかさん（Japanese）としか、喋っていませんでした。ジョー君が話しかけてくれても、あすかさんに助けを求めてばかりで、自分で英語を話そうとは思いませんでした。

ウェルカムパーティーでも僕はゴリやてっちゃんと話をしたり、行動をしていたりしました。しかし、部屋に戻ると、ジミーやマシューがルームメイトだったので頑張って喋ってみました。ゴリと二人で頑張って英語で喋っていたのを覚えています。そのとき、英語が使えなくても喋れるんだなと思いました。

その夜はネンシーや石井たちとサックスを吹いたり、ギターを聞いたりとコミュニケーションをとりました。

翌日は県庁見学でナリマンがスピーチしたり、ゆりこ、アスカ（U.S.A）、クリスティンなどと会話が出来ました。ご飯時にはトマスが、初めて聞くなまりで日本語を使い話しかけてくれました。国際通り散策ではミシェルが他の班へまぎれていなくなったり、のーぶー、ゆりえ達と写真を撮ったりしました。ホテルではプールでエリアーナが話しかけてくれ、お互い意味のわからない英語で会話（？）しました。夜はサンダース、ひろし達とけまりみたいなゲームをして遊びました。その横でジャッキー達が踊っており、僕もリズムをとりながらゲームを楽しんでいました。

黒糖工場ではなつ子達と一緒に黒糖を作りました。夜はまたゲームをしたり、ロニーの手品を見たりしました。タネがわからなくて悔しかった…。

海洋博では秋奈達と行動して買い物をしたりしました。ジョーナと魚を見たり、海でヤドカリを捕ったり遊んだのもいい思い出です。最後の日にはシエイや、ちかさん、かほり達とエイサーを飛び入りで踊れて嬉しかったです。

また、聖里香さんと奈津紀を間違えたり、夢乃の相談（？）にのったり、美姫乃、星河、久美子達と国際通りへ行ったり、麻臣や真菜をからかったり、綾、麻奈美、香奈と会話したりしなかったり、美香とバスの中で歌ったり、理奈がみんなに踊りを教えているのを見たり、一之が年下なのにビックリしたり（人のこと言えない）、スタッフ、通訳の人ともご飯を一緒に食べたり、買い物したりしました。

この一週間で色々な一生忘れられない思い出ができました。またチャンスがあったらみんなに会いたいです。それでは最後に WAZAー！！







又吉 香穂利  
Matayoshi Kahori

糸満高校1年

『心をオープンに交流したい』

このツアーで私は、友達の輪が広がりました。ペルーの人と手紙を交換したり、カナダとメールをしたりしています。

ツアーに行く前は、言葉が通じるか不安でした。英語の特訓をしようとして、結局やらなかったのもとても不安でした。けど、沖縄人もいっぱい来るみたいだったので、新しい友達

を作るのに胸トキメキでした。結果…、色んな人と仲良くなれました。年上の人や年下の人とか年齢に関係なく親しくなれた事に大満足しています。なんて素晴らしいことでしょう。外国の方とも、身ぶり手ぶりでどうにかなるもんだということが分かりました。アミーゴと笑顔だけでやっていけたので、将来は外人さんのお嫁さんになる事も夢ではないですね。

みんな相談にのってくれたりしてくれて、とても知り合って1週間の人達とは思えませんでした。

ウェルカムパーティーや花火大会やサンバ、楽しかった事がたくさんありすぎました。

一人一本しかなかった花火、すごく早く終わりました。キャンプファイヤーの周りでゲームをした時、熱かったです。マメ取り競争で一番になったのはとても光栄でした。サウナで地元のオバチャン達とも仲良くなれたのは嬉しかったです。肌がすべすべなオバチャン達でした。玉泉洞でのエイサーは、かっこよかったです。太鼓の音がドンドン響いてきて、沖縄の文化って素晴らしいと思いました。琉舞もエイサーも教えてくれて、有り難いって感じだったけど、私はみんなで何かが出来たという事が嬉しかったです。滝で滑ってびしょぬれになったりした時に外国の友達と本当に仲良くなれたような気がしました。最後の海洋博ではたくさん思い出を作ろうと走り回りました。他にもたくさんありすぎるので心の中にしまっておく事にします。

さよならパーティーでエイサーを踊りました。国の壁を乗り越えて…やっぱり人間はみんな一つなんですね。三時間も前から集まって練習しました。あんなに笑顔で踊れたエイサー団体を作るのが夢です。

私は、ジュニアスタディーツアーに参加できた事を心より嬉しく思っています。沖縄人でありながらあまり体験できないことが出来たりして、私はラッキー少女です。今でも、あのお別れの瞬間を思い出すと泣けてきます。あんなに大泣きできるってとても素晴らしいツアーです。

これからも、心をオープンに色んな人と触れ合っていこうと思います。今度は、みんなで外国に集合して遊びに行きたいです。いや、行きます。

色々勉強になりました。いい思い出をありがとうございました。

また一緒におふろに入りましょうね！！





石井 雄大  
Ishii Takehiro

八重山高校3年

『みんな大好きだよ！会えて良かった！』

「国際交流」という言葉からまずはじめに連想することは何でしょうか？

外国人、言葉の壁、文化の違い、価値観の違い。イメージ的には堅苦しくて、難しく、たくさんの知識が必要な気がします。私も初めはそう思っていました。しかし実際に体験した

沖縄での国際交流は、自分の持っていたそんなイメージとは全く別なものでした。私の体験したそれは、最高に楽しく、充実していて、参加者の全員ともすぐにうち解けあうことができました。年が近いこともあったかもしれませんが、言葉が通じなくとも、考えてることはなぜか伝えあうことができたのです。沖縄についての勉強も海外からの友達が一緒だと、ひと味違うように感じました。また、勉強だけではなく、一週間という短い期間の中で、レクレーションやダンス、音楽、食事、睡眠を通してお互いの性格を知ることができ、冗談を言い合ったり、ふざけたりと、笑いが絶えることはありませんでした。お互いの心と心がつながりました。国際交流とは、表面的な付き合いではなく、このようにフィーリングでつながるといえることがその一番重要な目的ではないでしょうか。私はこのプログラムが本当の意味での国際交流になったと思います。そしてそこから、私はひとつの大切なことを学びました。自分の中にある固定概念にとらわれず、興味を世界に向けることの喜びです。【国際交流】という難しい言葉にだまされ、国際交流にマイナスなイメージを抱いていた私でしたが、それが結果的に自分の中に自分で殻をつくることになっていました。そんな殻はすててしましましょう！素直に笑顔で相手に接すれば、また相手からも笑顔で返事が返ってきます。これは、普段の私たちの生活でも同じことが言えるはず。そう、国際交流といっても相手は自分と同じ一人の人間です。機械なんかではないのだから、心を持っているのです。だからきっと相手のことも、自分のことも、お互いにわかりあえるようになるのではないのでしょうか。私はこの国際交流プログラムに参加して、こんな簡単で、しかし重要なことに気づくことができました。みなさんも、チャンスがあれば、自分の中にある固定概念を砕くようなプログラムにトライしてみてください。きっと自分の世界観が変わるとおもいます。私にとってこのプログラムは本当に意義のあるものでした。最後に、堅い言葉なしで言わせてください。ごっつ大阪弁でまっしろしろのくみこのねえさん。ハイハイテンションで歌の上手なあすか。受験生は大変だ！！先輩ですか？とおもって声かけたら「うそ〜」が大好きな後輩だったダンサーのりな。カラフルサンバイザーがかっちょええ本名不明の男ゴリ、しぶい。あれ？船こいで遊びに来るっていったはずなのにまだこないのびたくん、早く来い。洋服送るの遅くなってごめんねてっちゃっん。おもしろい誕生日プレゼントサンキューゆめの。あんたが大将だよ、さく。まさか芸能人の方がきているだなんて、山田花子。テンションの高い方々、たくし、り〜な〜、まりあ、りんだ、かずよ、ゆうき、もりも〜りもりおくん！ジョセフ、ジョナサン、くまのぷーさんマツト、クリス、アスカ、クリスティン、ユリコ、トマス、……。ツアーのみんな。それから交流会を盛り上げてくれた沖尚のみんな。はるばる海を越えてやってきた海外のみんな。みんな大好きだよ！あえてよかった！

I love all you guys!!Nice to meeting you!! Thank you to read.

おしまい





宮里 諒哉  
Miyazato Ryoya

名護市立大宮中学校  
3年

### 『ベストフレンド』

ぼくは、このスタディーツアーに参加したことが、とてもいい体験になり、またいい思い出をつくることができました。

Jr.スタディーツアーに参加する前は、自分自身、海外の人々と話したことがなかったので、どういうふうに話せばいいのか、うまくコミュニケーションがとれるかなど、さまざま

な不安がありました。

初めてみんなと会ったときは、みんなとあまりなじむことができませんでした。しかし、海外の人たちから、話しかけてくれるようになったので、うまくなじむことができました。

ぼくが、一番楽しかったのはキャンプファイヤーのときでした。みんなと一緒にサンバやゲームをしたりして、ぼくの大切な思い出の一つになりました。また、自由時間のときには、ブラジルの人やアルゼンチン、ペルーの人たちと一緒に広場でサッカーをして、サッカーというスポーツで交流を深めることができました。

そして、とうとうみんなと別れる日がきたときには、なんだかとても悲しくなりました。7日間を一緒にすごした仲間達とぼくは離れたくない、そういう気持ちでいっぱいでした。アルゼンチンのダニエルさんとは、サッカーについてよく話をしたり、いろいろとアドバイスをしてくれました。同じ国のトマス君もぼくと一緒におどったり、将来について、自分の夢について語り合うことができました。

そして、最後の空港でルイス・フェルナンド君がぼくに向かって「ベストフレンド」とぼくに向かっていったときには、ぼくはもう涙が止まりませんでした。

今でも、この時のことははっきり覚えています。

このJr.スタディーツアーに参加して本当によかったと思います。また、自分の英語が通じたことにより自分に自信がつけました。

このJr.スタディーツアーは、これからももっともっとつづけてほしいです。

ぼくらだけではなくいろんな人々にも、この楽しさをわかってほしいと思いました。

これからぼくは、このJr.スタディーツアーでの体験をいかし、海外にもっと目をやり、海外の人々と交流しつづけたと思います。

本当に、ありがとうございました。



奥間 友里恵  
Okuma Yurie

金武町立金武中学校  
2年

### 『英語を使って、わかってくれた時はとてもうれしかった』

初めは、友達作れるかなとか、外国から来た人達と上手く話せるかなという不安な気持ちや、どんな人がいるのかなという気持ちでいっぱいでした。

オリエンテーションで、みんなに会った時、海外の人は、だいたい仲良くなっていて、英語で話をしていて、不安が大

きくなりました。

でも、ウェルカムパーティーで、沖尚の人達が企画してくれた、ゲームや、みんなの出し物などを見ているうちに、だんだん仲良くなってきて不安は消えました。海外の人達は、日本語で話しかけてくれたりして、日本の私達も、わかる英語を使って話したりしました。英語で説明とかをして、わかってくれた時は、とてもうれしかったです。

玉泉洞では、三味線、空手、舞踊にわかれて、沖縄の文化を体験しました。私は、三味線に挑戦しました。沖縄に住んでいて、三味線を弾いているところを見たり、聞いたりしたことはあったけど、「弾く」というのは初め

てで、楽譜の読み方など、初めてわかったことがありました。ほかにも、エイサーを体験しました。ジャンプとかをして、ちょっと難しくて、上手く踊れなかったけど、みんなで踊った時は、とても楽しかったです。

四日目には、今まで泊まっていたスポーツロッジ糸満をあとにして、恩納村にあるペンション「キャロライナ」に行きました。そこでは、キャンプファイヤーをしました。沖尚の人達も来て、一緒に踊ったり、ゲームをしました。ゲームでは、粉の中のアメを口で探すものや、早食い競争などをして、とてももりあがりました。そのあとに、花火をしました。花火は、とてもきれいで、みんなとても楽しんでいました。

みんなで過ごした最後の夜は、誰か誘ったわけでもないのに、みんなで話をしたりしました。みんなと色々な話をし、とても楽しかったです。

さよならパーティーで、ジュニアスタディーツアーに参加してから、最後の日までに、撮っていた写真を見ました。一週間前まで、全然知らない人達だったのに、今は、みんな友達で、すごいなあと思いました。最後にみんなで「ベストフレンド」を歌った時は、楽しかった一週間の思い出しました。

日本の人は、一緒に遊んだりできるけど、海外の人とは、もう会えないかもしれないと思うと本当に悲しいです。悲しいけど、このジュニアスタディーツアーに参加して、いろんな人と会って、いろんな体験をして、新しいことを知りました。みんなと、友達になれたし、ジュニアスタディーツアーに参加して本当によかったと思っています。



与那城 美姫乃  
Yonashiro Mikino

沖縄市立  
安慶田中学校 1年

### 『短かったツアー』

私は、このジュニアスタディーツアーでいろいろな経験をしました。

私が、このツアーに参加した理由は同じくらいの歳の中学生、先輩の高校生や外国人が来る交流会というので「楽しそう。」と思ったからでした。

最初は、とてもはりきっていたけど、どんどん近づいてくるうちに緊張してきました。

私は会場へ向かう車の中で、「どんな感じの人がいるのかなあ。」とか、「友達作れるのかなあ。」とか不安だったけど、「楽しみ。」というのもありました。

東町会館に着いて同じジュニスタメンバーと初めて会った時は、とても緊張したけど隣の席で自分より年上の人が話しかけてきてくれたのでとてもうれしかったです。

そして、この後から5日間にわたるツアーが始まりました。

このいろいろあったツアーの中で一番心に残ったことは、琉球漆器作りです。花びらや葉っぱなどに模様と色をつけました。皿にそれを貼り付ける時は慎重にやりすぎて手がふるえてしまいました。だけど完成した時は、とてもうれしかったです。

その他にも琉球ガラス作りも初体験だったので、難しかったけど何とかできました。完成品は、とてもきれいで自分で作ったとは思いませんでした。

比地大滝とパイン園もとても楽しかったです。

そして、この楽しかった時も終わって、さよならパーティーの日に、一人一人賞状をもらいました。その後、料理を食べたり、写真をとったりしました。

こうして、この一週間という長いようで、短かったツアーが終わりました。

私は、このツアーを考えてくれた財団の人達や、他のこのツアーに協力してくれた人達全員に感謝しています。

このジュニアスタディーツアーで友達になった人達と今は、電話をしたり、メールなどで話をしています。

とても楽しかったツアーでした。

ありがとうございました。



伊良波 一美  
Iraha Kazumi

沖縄市立  
山内中学校3年

### 『みんなに出会えて感謝！』

7月22日から28日まで私は学校代表としてジュニアスタディーツアーに参加しました。1日目のオリエンテーションの時はみんな初対面だったのでとても緊張しました。私は内心、県外参加者の人達とは英語が通じるかとても不安だった

ので、話しかけることができませんでした。

そして、二日、三日が過ぎて県外参加者の人達は、一生懸命日本語で話しかけてきてくれました。その時、自分もがんばって話しかけようと思い、私の家にホームステイに来る、ジョネロベス・コメロス・イグナシオさん(ジョネ)に初めて、自分から英語で自己紹介をしました。私の英語が通じて少し仲良くなりました。

次の日は、玉泉洞でエイサー体験をしました。エイサーを踊るのは小学校の運動会以来だったので少し難しかったけど、みんなでエイサーを踊った時はちゃんとできたので良かったです。その他にも、三線、舞踊、空手のグループに分かれて伝統芸能体験をしました。そして、各グループの発表会をしました。どのグループもとても上手でした。

その他にも、キャンプファイヤーや比地大滝を登ったり、マングローブの自然観察をしました。楽しかったけどすこしつかれました。

そうして、ツアー最終日になり、私はジョネといっしょに家に帰りました。家に着いて私の部屋で、歌手や映画について色々話しました。夕ごはんのメニューは沖縄料理のソーキ汁や、てびちの煮付けなど、ジョネはおいしそうに全部食べてくれました。食事をした後、ジョネと私と妹と弟と母の5人で美浜へ行きました。そこで、3Dに乗ったり、プリクラを写したりしました。とても楽しい時間をいっしょに過ごしました。

次の日はジャスコで少し買い物をして、都ホテルへ向かいました。

さよならパーティーでは、ジョネはもちろん、他の海外参加者の人達とも仲良くなれてきたのに、最後の夜になりました。9時に終わるはずのパーティーも、10時過ぎに終わり、みんな別れをおしんでいました。

最後の日、7月29日、私は朝から夕方5時まで空港で見送りをしました。

ジュニアスタディーツアーのこの一週間は、私にとって、とても貴重な体験でした。これからもっといろんなことを勉強して、自分を磨いて、いろんな人と出会って、ここ沖縄からいろんな事を他の国の人達にも伝えていきたいと思いました。

最後にこのジュニアスタディーツアーに関わったみんなに出会えてとても感謝しています。



嘉数 真菜  
Kakazu Mana

浦添市立  
浦西中学校2年

### 『もっと英語を勉強して、みんなともっと話したい』

ジュニアスタディーツアーに参加して感じたことは、生まれた国はちがっても、みんなが分かり合おうとすれば仲良くなれるんだという事を感じました。

最初のオリエンテーションでは、緊張してみんなとあまりしゃべれませんでした。

ウェルカムパーティーでは、みんなとも慣れてきて、話も少しはできるようになりました。パーティーが始まる前には、不安でいっぱいだったけど、パーティーが始まると、みんなで話をしたり、踊ったりして、楽しかったです。

ツアーでは、平和学習や、伝統工芸、伝統芸能など初めて体験する事が多くて、良い思い出ができました。海外の人達も沖縄の事をたくさん知る事ができたと思います。

ペンションに泊まった時は朝まで起きて、怖い話や、今までの事をたくさん話したので、とっても楽しかったです。

さよならパーティーは、みんなボロ泣きで私もとっても悲しかったです。今までの事や、みんなと離れると思うと心細くなりました。

空港で見送った時はパーティーの時よりも、ずっとさびしかったです。

みんなとは、またどこかで会いたいです。その時は、今よりももっと英語を勉強してみんなともっと話したいです。

このツアーに参加して、本当によかったです。



比嘉 麻臣  
Higa Asami

那覇市立  
松城中学校1年

### 『わったーみんなうちな〜んちゅ』

わたしは、このジュニアスタディーツアーに参加できたことをとってもよかったと思っています。

初日は、知ってる人が誰もいなくてあんまりたのしくなかったけど、時間がたつにつれて、みんなとしゃべったりして仲良くなりました。

ジュニアスタディーツアーは5泊6日で長いようでとっても短いツアーでした。

このツアーでは、いろんな人と出会って、いろんな所に行って、たくさんのことをしました。最高の一週間でした。

わたしはこのジュニアスタディーツアーで、沖縄の文化や伝統などを学び、体験しました。

もう一つ、もっと大切なことをこのツアーで学ぶことができました。

それは、交流の意味、大切さです。わたしは、交流という言葉は知っていました。意味も知っていました。だけど、ほんとうの意味は、このジュニアスタディーツアーではじめて知りました。交流はただ、他の国、県の人たちといろんな所を観光するだけかなあと思っていました。

だけど、このジュニアスタディーツアーで学んだ交流の意味はちがっていました。

ジュニアスタディーツアーでは、うちな〜んちゅの2世、3世や4世の人たちが集まって、交流するツアーでした。

みんな、住んでる国、使う言葉もちがって、言葉が通じない人もいました。だけど、みんな同じウチナーンチュとしてどこかで通じ合ったような気がしました。

このツアーでとってもたくさんのことを学び、きずなを深めることができました。

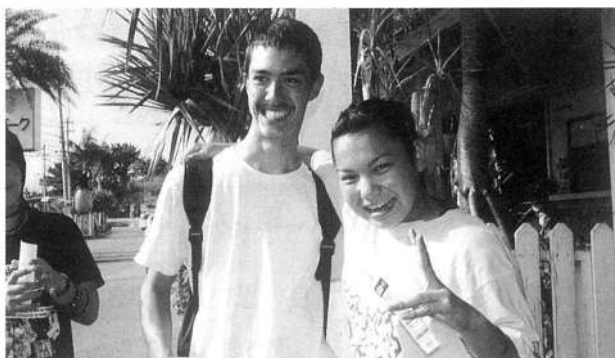
ほんとに、最高な一週間でした。一生忘れられない思い出となりました。

またみんなで沖縄に集まっていっしょに遊びたいです。

このジュニアスタディーツアーで学んだ、たくさんのことをこれからも生かして、いろんな交流に関することに目をむけていきたいです。

このジュニアスタディーツアーの責任者はじめ協力者の方々に感謝します。

ありがとうございました。





平敷 綾  
Heshiki Aya

那覇市立  
小祿中学校3年

『他の国の言葉を話せるようになりたい』

私はこのジュニアスタディーツアーに参加して良かった事は、みんなと出会えた事です。

最初は、本当に六泊七日のこのツアーでみんなと仲良くなっていけるのがとても不安で、毎日のように緊張していま

したがすぐに学校の友達のように打ち解けあう事ができました。

私が特に思い出に残ったのは、平和祈念公園に行った事です。今までは家族の人と行ったり、学校の遠足で見学に行きましたが今回、海外の人達と一緒にビデオを見たり資料や戦争の写真を見たりして、また平和祈念堂に行って折り紙で鶴を折った事がとても印象に残りました。

あと勉強になったのは、今まで英語とか他の国の言葉をしゃべる機会があまりなくて、しゃべってみようと思ってもなかなか勇気がなくてしゃべれなかったのですが、今回このツアーに参加した海外の人はあまり日本語が話せなかったのも、自分から英語をしゃべってみようという気持ちになって勇気を出して話してみると通じる部分もあったので、前よりもっと自信を持って人と接することができるようになりました。

そして今回は、私達が沖縄に住んでいてもあまり体験できないような琉球ガラス村でのグラス作り、玉泉洞王国村での三線やエイサー体験、また黒糖工場見学をすることができ、とても良い思い出になりました。

また楽しかった思い出は、沖縄尚学高校の方達との交流です。ウェルカムパーティーの時はみんなとても緊張していたのに、ゲームやダンスで盛り上げてくださったり、キャンプファイヤーの時は恩納村まで来てくださったり、私達の為に楽しい企画を作ってください本当にありがとうございました。

一週間がすぐ過ぎて、海外の人達が自分の国へ帰る日に私は那覇空港に見送りに行きました。ツアーに参加する前は、テレビでよくある別れの時のように私も最後に泣くのかなと思っていたのですが、同じグループだった美千代さん、ネンシー、ジャッキーが帰る時はたくさん泣いてしまいました。そのぐらいみんなと仲良くなれたんだなと思いました。

家に帰ってきてから、夏休みの宿題に今毎日追われていますが、中学校生活の最後の夏休みにこんな体験に参加できて本当に一生の最高の宝物になりました。

そして私は、ツアーから帰ってきてやってみたい事ができました。それはまず、英語をもっともっと勉強して上手に話せるようになったら、今度は他の国の言葉を話せるようになることです。それを目標に、ジュニアスタディーで学んだ事を忘れずにこれからも頑張っていきます。

私達にこのような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。



山城 信裕  
Yamashiro Nobuhiro

与那原町立  
与那原中学校2年

『もっとみんなといたかった』

楽しかった。もっとみんなといたかった。それが、僕のツアーが終わった時の正直な感想です。僕だけでなく、みんなきっとそうだったと思います。

僕は、7月22日～29日の一週間、ジュニアスタディーツアーに参加しました。

ツアー1日目のウェルカムパーティーで、僕も、あまりにも積極的で陽気な外国人パワーに圧倒されてしまいました。しかし僕は、これではダメだと思い、二日目からは自分もはずかしがらず、積極的にいこう、と決心しました。すると二日目からは周りの人ともしゃべれるようになって、特に、ボリビア人のロニーとは、スペイン語を教えてもらえるくらいまで仲良くなれたのです。それからは毎日とても楽しい日々が続いて、ねる時間もお

しいぐらいになって夜おそくまでみんなで話したりしていました。

そして、気がつけば、楽しかったツアーも終わりに近づいてきました。最後のさよならパーティーでは、みんな最後の思い出作りをしていました。

いよいよ別れの日。みんな見送るたびに泣いていました。

僕たちはこれから大人になっていきます。その中で今回の体験はきっとどこかでいかされていくと思います。僕はこのツアーで学んだことを将来役立てていきたいと思います。僕はできるならこのツアーにまた参加したいです。

これからもこのツアーを続けて、このすばらしい旅をいろいろな人に体験させてあげてください。本当に楽しい旅をありがとうございました。



杉山 星河  
Sugiyama Seika

豊見城市立  
伊良波中学校1年

### 『短い一週間の沢山の思い出』

ほんの一週間だった。不安と希望とを胸に私はその一週間で十分すぎる程の体験をした。「ジュニアスタディーツアー」を知ったのはまだ夏休みに入ろうともしていない六月で、それだけで私の心は希望に満ち溢れました。ハンドブックを何度も何度も読み返し、荷物も何度も確かめて準備は完ぺきで

した。しかし、ツアーの日が近づいてくると、不安になりました。「友達はあるかなあ、できなかったら嫌だなあ。」「外国の人達も来るんだよね、文化の違いとかでとまどったりしないかなあ。」考えればきりがなく、母に相談したりもしました。でも、「そういう不安はみんな一緒だと思うよ。それに帰ろうと思ったら帰れる場所にお母さんたちいるわけでしょ。そういう部分では県外や海外の人達の方が不安は大きいんじゃない?」と言われ、何となく家族がいるっていいなあと感じました。

オリエンテーションの場ではさっそく友達ができて、これからの一週間の日程にワクワクしていました。

ツアー初日、楽しい国際通り散策になるはず…だったのですが、クーラーによる寒さと緊張のしすぎ(?)でどうにも胃痛がやってきたのでした。その日の夜、私が胃腸薬を飲んだのは言うまでもありません。でも次の日からの琉球ガラス村や玉泉洞大王国村、黒糖工場の見学等の日程は、元気でもとても楽しく過ごしました。

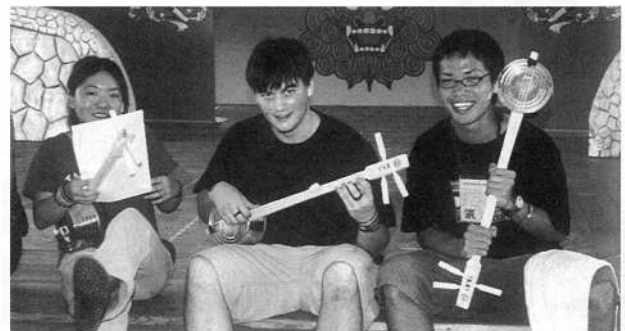
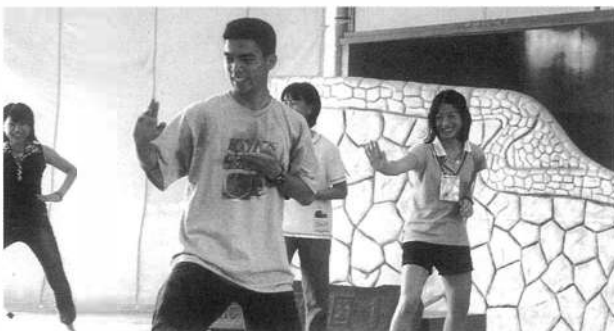
ウェルカムパーティーやキャンプファイヤーでいろいろとお世話になった沖尚高等学校の皆さんも楽しい人達ばかりで、本当に楽しいパーティーでした。

26日の帰りのバスの中では歌で盛り上がり、このまま帰りたくないと思ったりしました。初めてホームステイに来たなっちゃんもおしゃべりをして、27日、さよならパーティーを迎えたのでした。

沖縄都ホテルでのパーティーは沢山の人が出しものをしていて、そのたびに見入ったり笑ったりしました。一番最後に「ベスト・フレンド」をみんなで歌った時には、もうお別れなんだと思い、わんわん泣きました。パーティーの終わった後での記念写真ではまたもや泣いて目を赤くしながら写りました。

本当に楽しくて、また一週間では十分過ぎるくらいの経験をして、とっても貴重な夏休みの思い出となりました。

このツアーに参加して、本当に心から良かったと思います。お世話になった皆さん、ありがとうございました！中学校生活初の夏休みの、一番の思い出になりました。







川平 一之  
Kawahira Kazuyuki

城辺町立  
福嶺中学校3年

## 『体を使って交流』

僕はこのツアーに初めて参加し自分の郷土について色々知ることができました。最初のうちは、不安と緊張が入り交じり複雑な気持ちでいっぱいでしたがしかし、いざ始めると、友達も日に日にでき、とても楽しい思い出を作ることができ

ました。また、沖縄の歴史・文化などを改めて学び、実際に体験をすることができとても勉強になりました。中でも比地大滝のようなすばらしい自然が残っていたことを知り感激しました。そこに行くまでは、上り下りが多くきつかったんですが、滝に着くと疲れも吹っ飛び、疲れを忘れていました。僕が住んでいる沖縄にも、こんなに美しい自然が残っていたことを初めて知り、感動しました。僕たちはこのような美しい沖縄の自然を壊さないよう大切に守っていかなくてはいけないんだと改めて実感し、これなかった友達にもお話ししてあげ、みんなで自然を守るように小さいことから努力していかなくてはいけないなと思いました。

また、平和学習では沖縄戦のことについても改めて勉強させられました。二十一世紀の社会に二度とこのような悲惨な戦争を起こさせないように明るく楽しい社会を作っていくのが、今の僕たちに与えられた使命だと思つづく感じました。それから、エイサー体験は難しかったんですが、友達と教えあいながら楽しく踊ることができました。エイサーは沖縄の伝統芸能なのでこれからも、踊り続け、色々な人にエイサーを伝承していきたいと思ひます。

今回のツアー中で、本格的な英語を話したり聞いたりしているうちに、自分自身の英語力もだんだんついてきたと思います。初めの日には、あまり積極的に話しをすることができませんでしたでしたが、日がたつにつれ段々と積極的に話しをすることができました。コミュニケーションがとれてお互いのことも色々分かることができました。しかし、スペイン語などは、話すことはできませんでしたでしたが、体を使って交流して、楽しむことができよかったですと思います。

最後に僕はこのツアーを通し、沖縄の色々な文化や歴史などを知ることができ、また、以前よりも自分自身をふり変えることができました。これからも、Eメールや手紙などで各国の友達とたくさん交流していきたいと思ひます。そして、沖縄県の今後の発展の為に役立てるような人になれるよう、一生懸命頑張っていきたいと思ひます。色々な体験や勉強をさせていただいた県関係の皆様にお礼を申し上げます。一週間本当にありがとうございました。



県内参加者



川崎 麻奈美  
Kawasaki Manami

神奈川県  
鶴見中学校 2年

### 『もっと話したい』

最初、ジュニアスタディーツアーにでる予定のなかった私の所に、香奈のお母さんから「ジュニアスタディーツアーに参加どうですか？」と、電話が来たようです。その時、なんの話だか分かんなかったし、私より沖縄出身の母の方がなぜかまいあがっていました。

沖縄に行って2日目に、熱中しようになりました。すごくショックでした。何回も来た所なのに、初めてなったからです。

琉球ガラス作りでは、コップを作りました。できあがりを見ると、あんまりうまくできていませんでした。次に琉球漆器作りをしました。見本を見ながら、色をぬっていきました。見本とは、ちょっとちがう色を使ったりしてやりました。

エイサー体験。最後ぐらいの所が覚えらなくて、ちょっとまちがえてしまった。恥ずかしかったです。

比地大滝。すごくきつかったです。登ったり下ったりで、つかれました。滝の所まで行って水の中に入りました。すごくつめたかったです。

ホームステイでは、しんせきの人達と一緒にいろいろな所へ行き、おみやげを買いました。そのあと、いろいろな所を歩きました。

最後の日、沖縄からはなれるし、みんなとわかれるので、すごくさびしかったです。あと二日か三日あれば、もっとほかの人達と話せたと思います。すごくたのしい一週間でした。



金城 香奈  
Kinjo Kana

神奈川県  
鶴見中学校 2年

### 『昔からの友達のように感じた』

私は、今回いろいろと体験させてもらって、すごい良かったと思います。私はその中でも5個のことを紹介します。

まずは、平和学習です。最初にビデオ鑑賞をして「戦争はこんなのだったんだ。」と知らされた様な気がしました。その

後、館内を見学していると痛々しい部分が幾つかありました。戦争が風化しているせいもありますが、唯一地上戦があったという理由もあるでしょう。私の学校にも平和学習はあります。でも受ける印象の大きさが全然違いました。私は本当の戦争を感じられたと思います。

2個目は、玉泉洞で体験したことです。玉泉洞では初めての三線&エイサー体験がありました。三線は思うように音が出ず、苦戦をしいられました。でも自分の中では短時間のわりには上手くできていたつもりです。その次のエイサーも一回転半のジャンプなどすごい技もあったけど、全身を動かしてとても楽しかったです。

3個目は、名護のパイン園のことです。私は前からパイナップルが大好きだったので、このツアーで特に楽しみにしていました。そこにはパイナップル風の車がありました。それに乗りまわっている途中で坂があると急に速度が落ちたりしてビックリしました。降りてからは、貝が展示されていて見たことのない貝がたくさんありました。そのまま歩いてると試食がありました。横浜ではほとんど食べてない生のパインがありとても感動でした。

その次は、海での自然体験です。神奈川の海はお世辞にもきれいとは言えません。しかし、沖縄の海はすごくきれいで感激しながら入りました。その後、イルカショーに行く時のバス代をジョセフが出してくれました。急いでいたのでとても助かりました。そして無事イルカショーを見ることができ、よかったです。

5個目はみんなと友達になれたことです。私たちは沖縄という共通点と、

「Ya! Hi! Hola! Oi!」この4つの言葉で繋がったのです。

初日はみんな緊張していたのに最後には昔からの友達のように感じ、別れるのがとても辛かったです。私の場

県外参加者

合、標準語からなまってきたのが帰ってからわかりました。7泊8日の旅行のはずが2泊3日に感じました。

私はこのツアーに参加でき、とても良かったと思います。沖縄のことは学べたし、いろいろな人とふれあうことが出来たからです。

このジュニアスターディーツアーにたずさわった全ての人に感謝してます。沖縄には独特の文化があります。私はそれを横浜で広められたらと思っています。私も独特の個性が出せるように頑張りたいです。



糸洲 久美子  
Itosu Kumiko

大阪府  
明浄学院高校3年

### 『みんなありがとう』

あの一週間という長いようで短かった時間は今にも心に大きく残っています。7日間だけで、こんなにみんなが一つになって一緒に笑ったり、泣いたり、あんなに別れを惜しむことは私にとって初めての経験でした。

沖縄・大阪・東京から来た友達、海外から来た友達からたくさんのことを教えてもらいました。どれもこのツアーに参加しないと作れない心に残った楽しい思い出ばかりです。

沖縄の文化、戦争の恐ろしさ、平和の大切さ、そして仲間たちからいっぱいもらった友情。一緒に過ごしてきた時間。国や言葉や文化が違うのにもかかわらずみんな本当の友達になれたのではないのでしょうか。

みんなと一緒にレクリエーションをしたり、滝を見に行ったり、海に行ったり、夜おしゃべりをしたり。本当に心から楽しかった。一週間、病気やけがを誰一人しなかったのは、ずっと温かい目で見守ってくれていた引率者さんたちのおかげです。本当にありがとうございました。

あの一週間という日はまるで夢のようでした。大阪に帰ってきた時、なぜか心がとても寂しくて切なくて、夢から現実に引き戻された気がしてたまりませんでした。

今、このスターディーツアーの仲間みんなそれぞれ遠く離れた地にいます。だけど私はこれからも信じます。いつかまたみんなに会えると。

海や陸や国境を越えて今それぞれが自分の地にいます。どれだけ離れていてもみんなと永遠に友達です。

このジュニアスターディーツアーというのは私にとっての人生のスタート地点といえるのかもしれませんが。大人になってもこの経験は大きかったといえるでしょう。これから、どこかでくじけそうな時、みんなと過ごした時間、笑顔や涙を思い出すとがんばれそうな気がします。またいつかみんなと再会できることを楽しみにしています。みんな、ありがとう。





與那嶺 美香  
Yonamine Mika

大阪府  
天下茶屋中学校1年

### 『忘れないでね』

私は、この夏休みジュニアスタディーツアーでたくさん  
のを知り、体験しました。

友達大切さ、言葉の通じない不安。私たちのために沖尚の  
人が案内をしてくれました。お互いすぐに話せなかったけど

交流プログラムのゲームで仲良くなれました。ウェルカムパーティーで「島唄」を。みかは三線と歌。ゆめは、  
歌。とびいりで4人も一緒に歌ってくれた。もう、めっちゃきんちょうしたけど一生懸命したので大成功！でし  
た(笑)

私がすごく印象にのこるのは舞踊、三線、空手の体験があった時です。私は舞踊を体験しました。やっぱり簡単  
ではなかったけどバーキを持って踊るのは楽しかったです！！昔からの伝統芸能、すごく身近にあるけどめった  
に体験することが出来ない。私は一生懸命取り組んだ。昼からのエイサーは、「トーシンドーイ」を教えてもらっ  
た。私のエイサーの形とはちがっていて迫力もあった。私も、もっと勉強していきたいと思います。

平和のいしじを見に行った時、私の先祖が、ねむっているので手を合わせた。戦争のビデオを見た時、あらた  
めて思いました。「二度と戦争があってほしくない。このままずっと平和がつづいてほしい。」と思いました。

ほかにも楽しい思い出がたくさんあった。県庁に行ったこと、比地大滝で遊んだこと、みんなで泊まるさいご  
の日に夜おそくまで遊んだこと。

さよならパーティー当日。やっとみんなに会える！私は早くホテルへ行った。美香とあさみは「はとま節」を  
することになっていた。スタッフの方が車をかしてくれて車の中で1時間練習した。この曲をひくのがみかは初めて  
だった。式がはじまり、一人ずつ県知事から賞状をもらった。なんとか、あさみが歌にあわせてくれた。中  
1でうるさい二人やけど、やればできた！！こんなにたくさんの思い出、友達ができて良かった。

内藤さん、大城さん、ゆうこさん、遅くまでおきておこられた事、遊んでくれた事ぜったい忘れません！うる  
さい大阪のみ〜か〜忘れないでね。また、みんなで集まりたいです。そのときは、よろしくお願います。



県外参加者



具志堅 ジーナ 美千代  
Gina Michiyo Gushiken

ブラジル沖縄県人会  
2世

## 『熱い友情』

まず最初にグアリュエリヨス空港での南米各地の九名の参加者との出会い、あこがれの地、おじいちゃん、おばあちゃんの生まれた島、沖縄。夢が実現され、期待と不安で胸が

いっぱい、彼らの姿を見て、初めて私が留学生として沖縄を訪れた時の事を思い出しました。那覇空港では親戚の方々や関係者の方々が温かく迎えて下さいました。

あちら、こちら見学をさせて頂きましたけど、最も印象に残ったのは自然の美しさ、海と空、海岸通りの素晴らしさ。それと平和祈念資料館でのドキュメントを見て、戦争を知らない彼らは物凄いショックを受けていた。二度と繰り返す事を許さないと言う思いにかられた。

それから伝統芸能体験もブラジルで趣味としてエイサーや三味線、舞踊を勉強していましたので、さらにやる気になったと話していました。

ボランティアの高校生もとても親切で一緒に楽しく過ごしました。

この度のジュニアスタディーツアーは短い期間ではありましたが、素晴らしい沖縄を肌で感じ、また参加者同士、お互い熱い友情が芽生えた。言葉、習慣に関係なく、胸を開いてお互いの友情を深め、一生忘れられない楽しい思い出となりました。

引率者の一人として感じた事はこのような素晴らしい企画を末永く続けて欲しいと思います。彼らも、とても勉強になったと喜んでいました。

最後に担当者の方々は、参加者の到着日よりずっと親切に面倒を見て下さり、心から感謝致します。



新里 ダニエル  
エステバン  
Shinzato Daniel Esteban

在亜沖縄県人連合会  
2世

## 『期待以上に満足』

沖縄でのハードな九日間を終え、ジュニアスタディーツアーは期待以上に満足したと断言できます。

あまりにも豊かな沖縄の文化を、この短い期間ではすべて学ぶことは出来ないと思いますが、参加者や私個人も沖縄の文化に近づき、ウチナンチュのアイデンティティを強めたと思います。しかし、旅行前に、各自で少しでも事前学習をしておけば、沖縄でのすべてのツアーに興味を持ち、もっと満足のいくツアーになったと思います。特

に第二次世界大戦のテーマの場合にはその事前学習が必要だと感じました。

参加者の交流については、大変良かったと思います、しかし皆が交流できるフリータイムをもっと増やす必要があると思います。フリータイムが多ければ多いほど参加者同士の絆がもっと強まるのではないかと思います。

ホームステイに関しては、ツアーの始まりにされた方がいいと思います。親戚の方々は、子供達に会うことを楽しみにしていて、長旅の疲れを取る休みにもなると思います。

金銭的な面では、各国の経済状態が違うので前もって実費である日々も連絡して頂ければありがたいです。それだけではなく、アルゼンチンに住んでいる人々にとってはこのようなツアーに参加できることはとても大切で唯一のチャンスですのでツアーが終わっても、もう少し日本に滞

在できるように、考えて頂ければありがたいです。もちろん、ツアー後の責任は両親にあります。

そして、沖縄の人々の参加者に対する温かい心やスタッフの皆さんと私達引率者のチームワークの良さもここで示したいと思います。その団結した働きのおかげでこのツアーが成功したと思います。そして、今後もジュニアスタディーツアーが続けられるように私はできる限り、協力することを誓います。これから、私も在亜沖縄県人連合会と共にこのジュニアスタディーツアーが限られた人々の中で終わらないように宣伝や応援をしたいと思います。

それから、迷惑でなければ、沖縄の方からの報告とアルゼンチングループの評価も送ってくださいましたら、ありがたいことです。

最後に、私達にこの忘れられない思い出を作ってくれた、スタッフの皆さんとボランティアの学生の皆さんに、感謝します。皆さんどうもありがとうございました。そして、ジュニアスタディーツアーの成功、おめでとうございます。

Me dirijo a usted fin de expresarles mis conclusiones en relación al Junior Study Tour 2002.

Luego de la experiencia vivida durante estos intensos los nueve días de nuestra estadía en Okinawa, puedo decir que las expectativas previas que tenia del tour fueron más que satisfechas.

En lo relacionado al conocimiento de la cultura okinawense considero, que al ser la misma tanta rica no puede ser analizada en tan pocos días, pero si creo que con lo que hizo los jóvenes y mi persona también lograron acercarse y reconocer aún más a sus raíces.

Seguramente el realizar estudios previos (en cada país de origen) al viaje de cada tema a bordar durante el tour harían más satisfactorios las salidas culturales, especialmente el tema de la 2º guerra mundial. En lo relacionado al Inter. Relación de los jóvenes creo que los resultados fueron mas que buenos, ya fueron observados día a día por nosotros durante todo el tour. Por tal motivo

considero que deberían proyectarse dentro del plan un poco más de tiempo libre para poder favorecer aun más este feedback.

En lo relacionado a Home Stay considero acertada la idea de que se realice antes del inicio del tour, ya que las familias están muy deseosas de encontrarse con los jóvenes y además esto permitiría una adaptación y un descanso necesario para poder aprovechar más el tour.

Teniendo en cuenta que la posibilidad de realizar un viaje de estas características (por razones económicas) para los argentinos es un gran oportunidad considero necesario analizar la posibilidad de autorizar una mayor estadía de los jóvenes ya sea en Okinawa o para conocer otros lugares del Japón, bajo la responsabilidad de sus respectivos padres.

En lo relacionado a lo económico considero que se convendría informar previamente cuales serian los posibles que corresponderían afrontar a cada participante (comidas, bebidas, etc.) ya que la situación no es la misma en todos los países.

Quiero destacar la calidez con la que fue tratado a todos los integrantes del tour y la excelente relación que se formo entre los instructores y el staff lo que considero colaboro en los resultados obtenidos.

Deseando que este tour continúe los próximos años, me comprometo a hacer lo necesario para apoyar su continuidad desde mi país.

Proyectando como esta experiencia podrá compartirse con la población okinawense de nuestro país, sin que quede solo en los participantes del mismo.

Esperando poder recibir en un futuro las conclusiones obtenidas por ustedes del Junior Study Tour 2002 y de ser posible una mini evaluación del grupo argentino.

Para finalizar quiero agradecer y felicitar al staff organizador y a los estudiantes que colaboraron en la organización, por hacer de este evento un recuerdo inolvidable.



赤嶺 光弘  
Mitsuhiro Akamine

ペルー沖縄県人会  
1世

## 『大きな家族のように』

初めに、この度のジュニアスタディーツアーを企画・実施された稲嶺恵一沖縄県知事始め関係者各位並びにスタッフの皆様のご尽力に対しペルーからの引率者として心より深く感謝申し上げます。

「今回の企画は昨年のツアーを踏まえてより充実したツアーにしました」との内藤さんや大城さんから、スタッフの言葉の通り、7月22日の国際交流・人材育成財団ホールでのオリエンテーションから28日の都ホテルでのさよならパーティーまでのプログラムは一分の隙も無い完璧な程に組み立てられていました。初日海外9カ国14地域から初めて沖縄を訪れた20名の中高校生と、国内・県内から24名の同じ中高校生が財団においてのオリエンテーションでの初顔合わせは、お互い緊張しあい遠慮しあっていたのが、同夜のホテルでの歓迎パーティーの場ではすっかり緊張もほぐれ、それぞれが言葉や文化の違う国々から来たにもかかわらず、お互いの意志を一生懸命に伝えようとジェスチャーを交えながら交流しあっている彼らの姿を目の当たりにして、最初の日はこのツアーの趣旨・目的が身を通して知ることが出来ました。

2日目の県庁表敬では、比嘉副知事の激励の言葉から始まり、県議会議場見学、市内散策、首里城見学等の社会、歴史学習、首里城内ではガイドの説明に、沖縄の歴史が中国と深い関わりがあることを知り盛んに質問を投げかけてくる子ども、他の観光客グループと交わり合いガイドの説明が途切れがちになる場面もしばしば。

3日目の平和祈念資料館、平和の礎、平和祈念堂、等の平和学習、琉球ガラス、琉球漆器等の文化体験学習、平和祈念資料館の戦争の生々しいビデオ放送を見ながら涙する子らの姿も。

4日目の三線、踊り、空手等の体験学習、玉泉洞内の自然学習、エイサー体験学習等、グループごとに短時間内に教えられた演舞や曲目を披露する、チームワークの良さを示す場面だった。夕方は恩納村のペンションに宿を移してのキャンプファイヤー等、沖尚の強力なボランティアも交えての交流。

5日目は慶佐次のヒルギ林グループと比地大滝グループに分かれての自然体験学習、ノグチゲラヤヤンバルクイナ、マンガースやハブなどの山原に生息する小動物が見られなかったのは残念と言うしかない。帰りにパイナップル公園見学。

6日目は本部の海洋博記念公園内のエメラルドビーチでの水泳と、イルカショー、水族館見学。南米と北米からの参加者は真っ先にビーチへ、ボリビアからの参加者にとっては初めての体験に！午後からはホームステイ先の家族との感動の出会いで、それぞれ参加者たちはホームステイ先へと散って行きました。

6日目の朝、数名の中高校生成を対象にアンケートをとって見た。ハワイからの高校生は今回参加できたのは夢のようでラッキーだ、自分のルーツを知り、多くの友達が出来た、これからインターネットを通じて交流を深めて行きたい、あまりにも期間が短かった。又フィリピンからの女子高校生は、異文化の中で育ってきた同年代の者が、立派なチームワークでプログラムをこなし、参加する前は日本語が十分に話せないために心配もあったが交流を深めて行くうちに、その心配も消え今後の交流も約束し合ったことや、糸満のホテルでの共同風呂についてちょっぴり苦情を漏らした。ボリビアからの男の子は言葉の面で一番心配していた、平和学習で沖縄での戦争の悲惨さを知り涙が抑えられなかった、平和の礎でこんなに多くの人（23万人以上）が犠牲になったのを知り驚嘆した、今日ビーチで水泳が出来のを楽しみにしている、これまで海に入ったことがないので、と心を弾ませていた。そして一番に関心があったキューバからの参加者は、今ははっきり言えるのは自分がここにいること自体夢のようで、皆に感謝したい気持ちで一杯です、気候が自分の国と似ている、特にラテン系の人達と友達が出来た、ルーツを知り沖縄を少しでも理解出来たことが大きな収穫、食事は今まで口にすることがない料理で慣れるのに苦労した、糸満での共同風呂についても今まで経験がなくしんどかった等々、体験談を語ってくれた。私自身の参考意見として、ホームステイを最初の日にも設定してくれたら、持ってきたお土産も早めに渡すことが出来るし、親戚の方々との交流も、もっと密に交わすことができるのでは！又、実際に沖縄の学校での体験学習を希望する子ども。

28日最終日、全員がユニホーム姿で都ホテルに時間きっかりに集合。厳粛なムードの中、嘉数出納長から、人々に賞状が手渡された。やがて海外参加者や国内・県内参加者の演芸が始まり、プログラムが進むに連れ熱気を帯びてきた。そして最後のベストフレンドのメロディーが流れると誰彼となく目頭を押さえ抱き合い、曲が終わっても誰として帰ろうとしない。それは一つの大きな家族のように、誰もが別れを惜しんでの涙のパーティーになってしまいました。

1週間という短い期間のツアーの中で、お互いが交流を深めることでネットワークを構築し、ホームステイでウチナーチュとしてのルーツを探り当て、体験学習を通じて沖縄をより理解することでウチナーンチュとしてのアイデンティティを高め、帰国後、それぞれが居住国で将来県系人社会の中でリーダーとしての役目を担うことを願うことで今回のツアーが意義ある事業であったと確信致しました。

終わりに稲嶺県知事を始めスタッフの皆様、ボランティアの皆様のご苦勞に対し深く感謝申し上げ、今後もこの事業が継続されますよう強く要望しレポートを締めくくらせて頂きます。



エステル タマキ  
トーレス  
Esther Tamaki Torres

キューバ沖縄県人会  
3世

度も会ったことのない親戚で、ただ数枚の彼らの写真と、彼らに会いたいという大きな希望しかなかった。時間が過ぎ、私と健太は時々連絡を取り合っていたが、私の親戚の情報は収穫の無いままだった。しかし、ジュニアスタディーツアーの始まる1週間前に、彼からついに私のおばが見つかったと連絡があった。この小説のような話に驚いた。私はこの情報が間違っているのではないかと考えたが、健太は確かな情報を教えてくれた。そのおかげで、私の日本への旅は本当に素晴らしいものとなった。

空港では、これからツアーを共にする生徒達の家族や友達から温かな歓迎を受けた。スタッフの皆さんは、初めから、細かいところまでとても気を配ってくださった。

期待に胸を膨らませやって来た私達参加者は、すぐにお互い打ち解けた。そして、それぞれの国の生活について学ぶという事も目的のうちの一つであった。皆が日本語を話せるわけではなかったので片言の日本語と英語、ポルトガル語、スペイン語を交え会話を進めるといふ非常に面白い経験となった。私は言葉の違いに対する不安を持っていたが、言葉が障害になることはなかった。その結果、ツアーの間に私達は日本語だけでなく、他国の言葉も学ぶことができた。

朝八時からツアーの予定がぎっしり詰まっていて、私達は疲れ果てていたが、ホテルに戻っても、皆、交流をし続けていた。沖縄の気候や植物、自然、家に飾られた観葉植物までキューバととても似ていた。訪れた場所すべてに感動したが、特に、私達の戦争への知識を深めることができた平和祈念公園が印象深い。資

### 『素晴らしい街で過ごした日々』

先祖の地を訪れることができる事を知った時、私は今までに無い驚きを体験した。実現することはない遠い夢だといつも思っていたので、旅の手続きを行っている時でさえ、あまり実感が湧かなかった。しかし、飛行機に乗り込む時にやっと、確信が持てた。ナリマンと私が東京に着いた時には、ハバナからの長旅の疲れにもかかわらず、感動で眠ることが出来なかった。私達は以前からすでに、沖縄の人々、街、文化や習慣について、話や映画、本などで勉強していた。しかし、それらで学んだことはいつも現実とは異なっていることも知っていた。しかし、沖縄にたった半日いるだけで、話に聞いていた通り全て素晴らしく、人々も他とは違うと実感した。

沖縄では、世界のあちこちから来た沖縄子弟と出会い、そして文化が似ているように、皆、外見もとても似ていると感じた。また、キューバでは、沖縄県人会を設立したばかりだったので、世界中にある県人会を知り、その組織力を少しうらやましいと思った。

去年、キューバにスペイン語の勉強のために来ていた富山健太という沖縄の青年がおり、仲良くなった。彼は、2001年10月の帰国の際、私の親戚を捜してくれるという約束をして日本へ帰って行った。一



料館では、沖縄の人々の苦しみを伝えていた。そして、人々の団結力、世界の繁栄と平和へ対する絶え間ない努力のおかげでここまで発展する事が出来た。戦争のビデオを見て、皆、落胆した。ほとんどが涙を抑えることが出来なかった。

毎晩、私達は次の日の予定の確認と、その日体験したことを話し合っていた。家族と遠く離れているにもかかわらず、私達はいつも自分の家にいるように感じた。

スタッフの皆さんは、とても親切で細かいところまで気配りをしており、そのおかげで問題も無く、ツアーは進んでいった。

友人の健太と、ここで新たに知ったことを話している時、彼が、料理の美味しい沖縄を離れてキューバに居た期間を同情した。自分の国に着いてからも3日間、子供の頃から食べ続けていた料理の中から食べたいものが見つからず、食欲が湧かなかった。キューバの料理が美味しく無いというわけではないが、沖縄料理がとても美味しかったからだ。

さよならパーティーは、10日間を共に過ごした友人達ともうこれ以上一緒に過ごせないという事実を受け止めなければならなくて悲しかった。住所、写真、お土産を交換し、そして互いに抱きしめ合った。沖縄に着いたこの団体は、色々な出来事を共に分かちあった家族のようだった。

以前は職場へメールが一通も届かない時もあったが、今はたくさんのウチナンチュのメールの返事を楽しみに待っている。

沖縄の人々の団結力と礼儀正しさ、きれいな通り、分かり易い交通案内、老人への尊敬、これらを持ち合わせたこの素晴らしい街で過ごした日々を忘れることはないでしょう。

この素晴らしい企画を可能にしてくれた全ての人々、また沖縄県へ感謝申し上げます。本当にありがとうございました。そして、私はこのような企画がずっと続き、世界中のウチナンチュがもっときずなを深め、互いの距離が縮まることを望みます。

Comienzo contandoles la sorpresa que experimente cuando conoci de la posibilidad de visitar la tierra de mis antepasados, siempre me parecio un sueño lejano casi imposible de realizar, hice los tramites para el viaje con cierta inseguridad, solo me senti confiada cuando ya estaba en el avion de la JAL. Cuando

llegamos Narryman y yo a Tokio apenas pudimos dormir de lo emocionada que estabamos, a pesar del cansancio luego de tantas horas de vuelo Habana/ Mexico/ Canada/ Tokio, conciliar el sueño resultaba bien difícil, eran muchas las interrogantes que nos planteabamos, conociamos mucho de Okinawa, de su gente, su ciudad, sus costumbres, su cultura en general, pero todo esto lo conociamos por anécdotas, por películas, documentales, libros, que siempre es bien diferente a la realidad. Con solo estar medio día en Okinawa te percatas que todo lo maravilloso que te han contado de esta ciudad es cierto que su gente es maravillosa, su forma de vida se distingue entre todas las de otros países.

En Okinawa encontramos descendientes de diferentes latitudes del mundo, con un asombroso parecido tanto físicos como culturales. Sentimos un poco de celos por lo organizada que se encuentran las sociedades de Okinawenses en el mundo, en Cuba recién estamos organizando nuestra sociedad.

El año pasado estubo en Cuba un joven okinawense, vino aca a estudiar español, hicimos gran afinidad, me refiero a Kenta Tomiyama, este jove regreso a Japon con el proposito de encontrar a mi familia, familia con la que nunca habiamos tenido contacto, solo teniamos de ellos algunas fotografías y unos deseos inmensos de encontrarnos, esto fue en octubre del 2001, trascuria el tiempo Kenta y yo nos comunicabamos con cierta frecuencia, pero la busqueda continuaba siendo infructuosa, cuando solo faltaba una semana para el inicio del Junior Study Tour, me comunico que finalmente habia podido encontrar a mi tia, la sorpresa fue inmensa, parecia algo de novelas, tenia mis reservas de que pudiera existir alguna equivocacion, Kenta ofrecio datos que no dejaban lugar a dudas, por lo que el viaje a Japon era superior a lo maravilloso, visitar la tierra de mis abuelos paternos, compartir con uchinanchus de todo el mundo y como si fuera poco conocer a mi familia.

En el aeropuerto de Okinawa recibimos un caluroso recibimiento, familiares, amigos, estudiantes del idioma japonés que compartirian con nosotros el Tour, y los organizadores del evento que desde el primer momento se portaron extremadamente preocupados por cada detalle.

Muy pronto nos familiarizamos con todos los integrantes de la delegacion, todos habiamos llegado a Okinawa con miles de expectativas, pero por sobre todas las cosas, con muchos deseos de comunicarnos, de conocernos, saber como viviamos cada uno de nosotros en nuestros paises. Resultaba una experiencia de lo mas interesante, no todos podiamos comunicarnos completamente en japones por lo que hablamos unas palabras en japones otras en ingles, portugues, español, siempre tuve temor por el idioma, pero el idioma no constituyo barrera alguna, durante el Tour nio solo aprendimos algo mas de japones sino que aprendimos varias palabras en otros idiomas. El programa del Tour estaba realmente apretado mucha actividad desde las 8 de la mañana, en ocasiones nos sentiamos agotados pero era tanto lo que deseabamos saber unos de otros que al llegar al hotel en lugar de descansar continuabamos el intercambio. Conocimos muchos sitios bonitos e interesantes, el clima, la vegetacion, y la naturaleza en general de Okinawa es muy similar a la de Cuba, en las casas hasta las mismas plantas hornamentales. A mi en lo particular me agradaron mucho todos los sitios que visitamos pero entre todos debo resaltar el Parque Memorial de la Paz, en el pudimos profundizar nuestros conocimientos de la guerra, las exposiciones que alli se muestran te trasladan hasta esos dificiles momentos que vivieron los okinawenses, comprendes porque han podido alcanzar tal grado de desarrollo, porque su solidaridad y sus constantes esfuerzos por hacer un mundo de paz y prosperidad, con la muestra del video de las imágenes de la guerra todos quedamos muy consternados, solo pocos pudieron contener las lagrimas.

Cada noche nos reuniamos para coordinar el programa del siguiente dia, y ademas relatar las experiencias del dia, a pesar de estar lejos de la familia, en mi caso de mis hijos, nos sentimos

siempre como en nuestra casa. El Sr Naito se mostro al igual que el resto de los organizadores muy atento y preocupado por cada detalle que pudieramos necesitar, todas las actividades estuvieron muy bien organizadas y cumplieron su objetivo.

Cuando conversaba con mi amigo Kenta acerca de todo lo nuevo que conocia, no podia dejar de compadecerlo

por el tiempo que estuvo fuera de Okinawa, donde debio extrañar mucho la deliciosa comida okinawense, esto fue algo que me impresiono muchisimo, al punto que al llegar a mi pais estuve 3 dias sin apetito, no encontraba sabrosas las comidas criollas que desde niña he comido, y no es que la comida cubana no sea sabrosa es caso es que la okinawense supera a muchas cocinas internacionales en gran medida.

La fiesta de despedida fue triste, en esos 10 dias nos compenetramos mucho, era dificil aceptar que no continuaramos juntos algunas jornadas mas, nos intercambiabamos direcciones, fotografias, abrazos, presentes a modo de recuerdo, la delegacion que habia llegado a Okinawa dias atras ya no era tal sino una familia grande, linda, con muchas cosas en comun para compartir, con muchas historias aun por contarse y con muy pocos deseos de separarse. No habia llegado a mi trabajo que es donde tengo el Email y ya tenia varios Email de uchinanchus esperando su respuesta.

Nunca podre olvidar los momentos que vivi en esa maravillosa ciudad, la cortesia y la solidaridad de su gente, sus calles limpias, el desarrollado sistema de señalizacion en las calles, las tiendas y todos los establecimientos en general que no permiten que te sientas perdido, el respeto a los ancianos.

Estoy eternamente agradecida por todo lo que vivi por esos dias, a todas las personas que hicieron posible un proyecto tan hermoso, al gobierno de Okinawa. Muchas, muchas gracias a todos, ojala que estos encuentros puedan continuar efectuandose y que todos los uchinanchus del mundo estrechen con mas fuerza los lazos que los unen.





呉屋 君子  
Kimiko Goya

北米沖縄県人会  
1世

### 『自分のルーツを学習するチャンス』

強い日差しのもとで怪我も病気もなくジュニアスタディーツアーは無事に終了し、帰国した今は色々楽しかった思い出に耽っております。

国際交流課の皆様には大変お世話になり本当に有り難うございました。しっかりチームワークのとれた

今回のジュニアスタディーツアーにはとても感動致しました。

参加者はこの体験を通して沖縄の文化・歴史・社会を学習し、又、自然学習では、やんばるエコツアーを、平和学習では南部戦跡を回り本当に色々勉強させられる体験ツアーでした。

もうすでにハワイ出身のマイケル君が発起人となりインターネットを通して写真入りで情報收拾を開始致しました。これを機会に母県沖縄との絆を深め海外及び沖縄や日本からの参加者との交流を広げ又、次世代の人材育成に貢献して欲しいと願っております。

私と同行致しましたクリスティン様はスポーツのサッカーで奨学金を獲得し近日中にオレゴン州の大学へ行きますがそこで日本語の課目を選択すると機内で話しておりました。そのことをクリスティンの御両親に話したら「たった一週間でこんなに人生観が変われるとは…よっぽど楽しく充実したツアーだったんだろう。」と喜んでおられました。現役の大学教授もおられる家系のお嬢さんだから将来必ず日米のかけ橋となり大きく飛躍してくれる事でしょう。

帰国の際には今まで全然面識もなかった方々から沢山お土産も頂き本当に恐縮致しております。特に琉球民謡協会顧問の山里勇吉先生からミンサーの帯やカセットテープを頂き、沖縄カナダ協会事務局長の川上様からはミンサーのハンドバッグ、CD そして黒砂糖等を頂き、クリスティンの親戚の方、そしてペルー出身のひろし君の親戚のおばあちゃんから手製のクラフトを頂き又「手作りの漬物はとても美味しいから持って行ってね。」と言われたときはとても嬉しいやら困惑するやらで本当にウチナンチャーのスピリットに触れた思いで胸が厚くなったもんです。以上の皆様に、もしお会いする機会がございましたらどうぞ宜しくお伝え下さい。

内藤さんが沖縄が大好きで骨を沖縄に埋めるつもりとおっしゃったその気持ちが理解出来る様になりました。

最後になりましたが、毎日はずらつと楽しく学習をしていました参加者たちが平和祈念資料館で映画や写真を鑑賞して涙し、又空港では別れをおしみハグしながら涙を流しているのを見て彼らの多面性を垣間見たようで感動の連続でした。

内藤さん、大城さん、銘苅さん始めスタッフの皆様は本当にいたれりつくせりで私達を接待して下さい人生最高の一週間を過ごさせて頂き心から感謝申し上げます。とても思い出深い有意義なツアーでございましたので何の要望もございません。どうか来年も是非予算を組んで頂いて日本や海外の若い世代に自分のルーツを学習するチャンスを与えて欲しいと切に希望しております。

それでは皆様の益々の御活躍と御発展を祈念申し上げ、感想文とさせていただきます。





大城 順市  
Junichi Oshiro  
北加沖縄県人会  
1世

## 『更に素晴らしいツアーに』

今回のジュニアスタディーツアーの7日間は、引率者として参加しました私にとりまして一生に残る思い出となりました。

私達、海外移住者（県人会）は、その子息（2世～5世まで育っています。）に、彼らのアイデンティティーの確立にどのような機会を、勉強の場を与えられるかが、最大の課題でもあります。今回第2回、沖縄県の企画しましたジュニアスタディーツアーは、その意味で最高の場を私達に与えてくれたと感謝しています。

そして、24時間体制で対応して頂いた国際交流課の皆様には並々ならぬ努力と行動力に心からありがとうございますと言いたいと思います。そういう国際交流課の皆さんの姿を見て私達海外参加者、特に引率者は何か自分たちも役に立てればと共に協力し、今回、大成功に終えたのではないかと考えています。

さて第一日目のオリエンテーションから海外参加の子供達と県内外の子供達が、ハキハキと自己紹介し、そして自分たちで作ったプログラム（ゲーム等）によって、交流を深め、言葉や国境をこえたコミュニケーションが成り立ち、初日から互いに慣れ親しんでいたことは、本当に子供達のパワーと子供達とその無限の可能性を感じ、とても感動しました。その時に、是非海外参加の引率者のミーティング等もあってもよかったのではないかと感じました。

いよいよ2日目からプログラム（勉強会）がはじまったわけですが、戦争と平和の学習をはじめ、琉球王国文化、芸能体験、民芸品作成、沖縄の自然学習等、たいへん充実した内容だったと思います。

その中で私が一番難しく思いましたのが、戦争についての学習の時でした。冒頭に鑑賞した戦争についての映画を子供達に通訳する時、その内容は非常に生々しく、私自身も時に画面から目をそむけざるおえないもので、子供達にはきびしい内容だったのではないかと感じました。もう少し、目的や年齢を考慮し、映画を選択するか、もしくは別の勉強方法、例えば戦争体験者のおじい様やおばあ様方々をまじえたディスカッション形式（小グループに分かれて）で話し合う等、再考する必要があると思います。

芸能体験にプランされた舞踊、空手、三線は良かったのですが、鑑賞するのがエイサー太鼓のみで、しかもショー的に構成されたエイサーでしたので、今回は是非、本場の琉球舞踊（古典を含め）、そして各地元に伝わるエイサー（本番で町や村をねり歩く）を見せてあげたらと思いました。

食事は、当番制で良かったと思いますが、今回はビーチサイドでのバーベキューを考えてはどうかと思いました。

あと、ホームステイが最終日前の一日だけのみでしたので、もし可能であればもう二、三日増やしていただければ子供達も異なったおのおのの学習が出来るのではないかと感じました。

最後になりますが、私達は引率者という名のもとにジュニアスタディーツアーに参加しましたが、時に引率者とその子供が離ればなれのグループになることがありましたので、それは再考して頂ければと思います。私達はあくまでも県人会代表でその親御さんからお子さんを預かってきているわけですから、何時もそのお子さんを見ているという事は、私達引率者の責任の一つだと思うからです。また、ここ海外の地元でもなかなか一緒に行動したりすることができるわけでもなく、このジュニアスタディーツアーを通して、その子供達と交流し、その中で県人会の役割、スタディーツアーに参加する意味など、もっと深くほりさげて子供達に伝えることが出来るのではないかと感じました。実際、往復の航空機の中では、努めてそういう話はしていたのですが、又、引率者という名称、別の名にしてもいいかと思っています。例えば、アドバイザー、等々…。以上、私の感想と意見を述べました。



藤田 みどり

Midori Fujita

トロント球陽会

1世

## 『視野も大きく広がったツアー』

引率者として招待され、今年のジュニアスタディーツアーに参加できたことを大変光栄に思います。そして心から感謝申し上げます。内藤さん、大城さん、津覇さん、そしてスタッフの皆様、この素晴らしいツアーの成功をお祝い申し上げます。皆様がこのツアーを成功させ、多くの成果を上げ、参加者を楽しませるために数え切れないほどの時間と多大な労力を費やされたことと思います。

この機会を持ちまして、皆様のご尽力に、そしてウチナンチュとして温かく受け入れてくださったことに対して深くお礼申し上げます。

人生のほとんどを欧米で過ごしたものにとって、今回のツアーは大変ためになるものであり、私自身の視野も大きく広げてくれました。とりわけ、歴史・文化学習、そしてエコロジーツアーにおいては大きな収穫がありました。

まず歴史・文化学習について触れたいと思います。私が知っていた沖縄の歴史というものは、西洋の視点から見た一方的なものであったことに気付かされました。

沖縄の文化がこんなに奥深いものである事、昔、国際的な貿易で栄えていた事などは全く知りませんでした。そのような史実は世界史のクラスでは全く教えられていないことです。また、沖縄戦に関しても、第二次世界大戦において沖縄は激戦地であり、多くの兵士たちがその命を落とした、と簡単にしか伝えられていません。沖縄戦の被害者達の声や彼らの証言は、覆い隠されていました。しかし、このツアーを通して、私は悲劇を体験した沖縄の人々の声を聞き、学ぶことができました。

今、私はウチナンチュであるということがどういうこ

とか理解できます。私達の祖先は強い精神力を持って、荒廃した土地を世界に名だたる地へと変えていきました（沖縄はG8サミットが開催され、各国首脳そして世界中の人々が注目するにふさわしい地だったと思います）。その姿はまるで、廃墟から立ち上がる美しく気高い不死鳥を思い出させます。そして私がウチナンチュであることを誇りに思っている理由の一つでもあります。

エコツアーでは、精神的な面からも自然を満喫することが出来たと思います。沖縄の海が美しいという事は知っていましたが、沖縄の山に行くのは私にとっても初めての経験でしたので、その美しさに恐れさえ感じました。私が移住したカナダという国もまた、雄大な自然とその美しさで知られていますが、それに少しうんざりしていた感もありました。しかし、この祖先の地である沖縄の、豊かな緑の中に身を置くというのは、尊い経験でした。滝の水音、セミや鳥の鳴き声が響きながらも、深い緑に包まれた森の静けさ、母なる自然に包まれ、安らぎと一体感を感じました。沖縄の人々がこの聖域を守り続け、後世に残してくれることを祈ります。

聞いていただけるなら、私の方から主催者側にちょっとした要望があります。

事前にミニ講座を開いてビデオを見せたり、野鳥や昆虫、植物その他に関するパンフレットを配布してはどうですか？鳴き声や存在を感じることができても、それがどういう姿をしているのかわからず残念でした。ちゃんと見てみなくては忘れてしまいます。沖縄の野鳥の本を購入する機会があったのですが、蝶や昆虫についてまでは掲載されていませんでした。

最後に、このツアーは芸術的にも文化的にも多くのものを私達に与えてくれました。とりわけ海外から来た生徒達にとっては感謝すべきものになったと思います。ツアーは、エキサイティングでとても楽しく、私達を一つにしてくれました。

芸術や文化は、言語の壁を超える橋となり、コミュニケーションをとるうえで最高の手段となりました。

ジュニアスタディーツアーのプログラムすべて、私

が今まで参加したどれよりも豊かで実り多きものでした。このツアーにメンバーとして参加できたことは本当に幸運です。このツアーが継続され、多くのウチナンチュが、私達のように素晴らしい恩恵を受けることが出来るよう祈念いたします。

次回のプログラムのために、いくつか改善して欲しい点をアドバイス致します。

- 1, 海外参加者、特に女の子に個室風呂を強く要望します。日本のやり方もあると思いますが、海外から来たものにとって慣れていないことを強要するのは良くないと思います。共同風呂は、海外参加者には絶対にお勧めしません。
- 2, 沖縄まで24時間以上もかかる旅には、プログラムの前日に1日は休息の日が必要です。睡眠不足は次の日からのプログラムに影響が出ると思います。
- 3, 引率者と生徒の部屋は別にした方がいいと思います。夜遅くまで続く若い人のおしゃべりで眠れず、結果、引率者の睡眠不足になってしまいます。
- 4, 参加者、特に海外参加者に買い物をする時間を与えた方がいいと思います。お土産を買ったり、お店を見ることによって、沖縄の産業物の勉強にもなると思います。

終わりに、この素晴らしいプログラムに携わった方々に、その働きと努力に感謝申し上げます。

To be invited as a chaperon to participate in this year's Junior Study Tour was an enormous honour and a privilege to which I wish to express my heartfelt gratitude and appreciation. Mr. Naito, Mr. Oshiro, Ms. Tsuha, and the staff of Junior Study Tour are to be congratulated and commended for the success of the program. Undoubtedly a countless hours of hard work and spirit went into making this program into a success and the fruit of their labour was enjoyed by all participants. I wish to take this opportunity to express my deepest appreciation for all your hard work and thank you also for your warm Uchinanchu reception.

For a person who spent most of her life in the west, this study tour was a great educational opportunity

and an eye opener for me. From Okinawan history to culture and ecology study I have learned a great deal. Firstly, history lesson: What I know of or I should say, what I knew of an Okinawan history, I realize now was very much a one sided (westernized) version. I had no idea of the depth and breath of Okinawan cultural and commercial exchange taking place on an international level existing so far back into history. This historical fact is completely missing from the text of world history class. The Battle of Okinawa during WWII is briefly mentioned as the fiercely fought battle of Pacific with many soldiers lives being lost, but the tragedy endured by the victims (Okinawans) is glossed over and mentioned almost as a footnotes. Through this tour I have learned the other version, the victims story, of the tragic history of the WWII. Now I understand what it means to be an Uchinanchu. The strength and the spirit of my Uchinanchu forefathers to have overcome such devastating tragedy and to rise and rebuild Okinawa into a world class stage that it is today (good enough to stage G8 Summit of the world leaders and for all the world to see) conjure up an imagery of a beautiful and graceful phoenix rising from the ashes of the ruined. For this I feel extremely proud and honoured to be one of the descendants of the Uchinanchu.

The Eco Tour was very physical from sensory and spiritual point of view. I have always known the beautiful beaches of Okinawa, but the lush mountainous area of Okinawa was a first experience for me and I was awe struck by its beauty. My adoptive country of Canada have great many natural beauty and I have become jaded by it, but to be in Okinawa of my ancestral land and to stand in the midst of green lush forest was an indescribable spiritual experience. The sound of the waterfall mixed with the cry of semi and birds and yet you can feel the quiet of the forest enveloped by the lush greenery. It was as though I was in the protective wraapture of mother nature herself ; a sense of peace, safety and belonging. I hope the Okinawan people will continue to protect

this sanctuary so that it will remain as one of the treasures to pass on to our future generations. There is one request I wish to make to the organizers, if I may. That is, please have a mini prep session the night before the eco tour in the form of video presentation or a pamphlet handout with some description of native birds, insects, and vegetations, etc. I could hear their cries and presence and yet I was not lucky enough to see what they look like. Not knowing what they look like was like going home with a missing link. I was able to purchase a book on Okinawan native birds before leaving Okinawa but was unsuccessful in obtaining book on insects and butterflies.

Lastly, the artistic talent and cultural gifts this tour presented to us, especially to the international students, was much appreciated. It was very exciting, entertaining, and harmonious to all. Arts and culture bridge language barrier, and it's the best communication tool of all.

All in all this Study Tour has been the most enriching and rewarding program I have ever participated. I believe the participants of this Tour were truly fortunate to have been a part of this great program. I highly recommend that this program continue into the future so that many more Uchinanchu could reap the benefit as I and the other participants of 2002 have.

Some recommendations I wish to make to improve future program are:

1. I would strongly advise that there be a private bathing facilities made available to the overseas participants, particularly for the female participants. While we respect the Japanese way of bathing, a method of personal hygiene is such a personal and private matter that it should not be forced upon to accept or be changed from our usual way. Public "ofuro" is definitely not recommended for the overseas participants.

2. Where a travel time to Okinawa takes more than 24 hours, there should be a one day rest period

before commencement of the program. From Canada and Eastern U.S. it took day and a half to arrive in Okinawa. Sleep deprivation can be a major negative effect on the performance of the following day.

3. The logic behind having chaperon share sleeping quarters with ten or more students seems acceptable on the surface, however, it does not work well for the chaperon. This arrangement created another sleep deprivation caused by noisy talkativeness of the young people.

4. There should be some time set aside for the participants, particularly for the overseas participants, for "omiyage shopping". Omiyage is an integral part of Okinawan cultural activities which overseas Uchinanchu takes very seriously. Omiyage give and take is an expression between people that's been in practice for generations and should not be considered a frivolous activities. Added educational benefit to this is that we can see and appreciate what kind of artistic/commercial items are available in Okinawa, thus understand Okinawan industry.

In closing, I wish to thank again the people involved in organizing this great program for their hard work and dedication.

Sincerely,





エステーラ アレホ  
アドルフォ  
Estela Alejo Adolfo  
フィリピン沖縄県人会  
2世

### 『沖縄子弟であることの誇り』

午前9時半にマニラを出発、台湾を経由して、私が引率するミッシェル・ペベントとジョネロベス・イグナシオと、午後7時ついに那覇空港に到着した。空港では、国際交流財団のスタッフが横断幕とフィリピンの国旗を持って、温かく迎えてくれた。私達は空港から15分くらいの所にあるハイパーホテルへと向かった。次の日の午前中は自由時間が有り、興奮していた私達は、ホテルの向かいにあるジャスコショッピングモールへ向かった。昼食後、皆、ホテルのロビーに集合し、オリエンテーションの為、財団へと向かった。そこで、沖縄の地図やパンフレット、ジュニアスタディーツアーのTシャツ、参加者達には学習キットも配られた。始めに、日本も含め、10カ国から来た参加者達の自己紹介があったが、ほとんどの海外からの参加者があまり日本語を話せなかったので、引率者達は通訳もしなければならなかった。オリエンテーション後、私達は那覇から30分程かかる糸満にあるホテルスポーツロッジに向かった。部屋は典型的な日本式で、海外参加者達はとても驚いた。一部屋10~12人用で、ベットではなく、自分たちで布団を敷かなければならなかった。一番驚いたことは、公共風呂、大浴場に入らなければならなかったことだ。私を含め、ほとんどの海外参加者は、それを拒否した。スタッフの気分を害したくなかったので、私達は内緒で部屋にある浴室を交替で使った。それから、9時にミーティングがあり、私達引率者は、日本の文化を学びたいが、大浴場だけは私達にはどうしても受け入れられないとスタッフの方に説明した。彼らは、私達の言い訳を理解してくれ、部屋の浴室の使用を認めてくれた。その日の午後は、交流プログラムがあり、沖縄の学生ボランティアが、とても準備されたプログラムやゲームで私達を楽しませてくれた。また、参加者達もそれぞれの出し物を披露し、その気取った雰囲気のないパーティーが終わる頃には、皆、仲良くなっていた。

7月23日、二日目から忙しいスケジュールが始まった、9時半にホテルを出発し、県庁を表敬訪問した。副知事が私達を迎えてくれ、公式に紹介された。その後、県庁内と議会棟内を案内してもらった。昼食後には、1グループ7~8人で、各グループに2人の学生ボランティアが私達に国際通りと市場を案内してくれた。一時間半程散策した後、私達はバスで首里城に向かった。そこでは日本語の専門ガイドの方が案内してくれ、沖縄の歴史を学んだ。沖縄が本土ととても異なった独特の歴史があったことを知らなかった。三日目、平和祈念公園を訪れた。そこはアメリカの人々が自決の崖と呼んでいた。第二次世界大戦の衝撃的なビデオを見た。その後、資料館の中を見学し、戦争に生き残った方の案内で公園内を回った。昼食後、琉球ガラスと琉球漆器作りを体験した。出来上がった作品は、最後の日のサヨナラパーティーで渡された。四日目、玉泉洞を訪れ、それぞれ希望のサンシン、琉球舞踊、空手のレッスンがあった。私の引率したジョネとミッシェルは、舞踊を選んでいて、練習が終わると、参加者全員がそれぞれ習ったものを発表した。その後、洞窟を回り、昼食後には、沖縄でも人気のエイサーの見学とレッスンがあった。それを見ていた台湾からの観光客が私達に拍手をくれた。玉泉洞を出発し、嘉手納空軍基地へ向かい、それから黒糖工場見学をして、それから恩納村にあるペンションに到着した。夕食後には、キャンプファイヤーをした。五日目は、とても忙しい日だった。私達は、2つのグループに分かれ、やんばるエコツアーに行った。比地大滝を目指し、一時間ほど山道を上り下りした。何度も階段を上り、引率者達はとても疲れていたが、自分の歳を認めたくなかったのか、休憩なしに進んだ。エコツアーの後には、階段を見るのさえ嫌になった。その後、再び出発地点に戻り、昼食後にマングローブのある慶佐次川に向かい、ガイドの方からマングローブの種類とその重要性を学んだ。六日目、午前中は海洋博、昼食後にホームステイの家族のお迎えがあった。七日目、親戚や、ホストファミリーと過ごした。午後には、サヨナラパーティーの準備のために、ハイパーホテルに戻り、パーティーは都ホテルで開かれた。7月29日、帰国の日。



このツアーで、自分に受け継がれたこの独特で、豊かな沖縄の文化と、沖縄子弟である事の誇りを学んだ。沢山の人が、このようなチャンスを体験できることを願います。

また、私にこのような機会を与えてくださり、沖縄県とフィリピン県人会に感謝しています。最後に、この素晴らしいツアーを作り上げたスタッフの方々にも感謝申し上げます。

**Maraming salamat po at mabuhay tayo!**

After leaving Manila at 9:30 a.m. with stop over at Taiwan for four hours, I together with Michelle A. Pebenito and Jonerobeth C. Ignacio whom I escorted as guardian finally arrived at Naha airport at 7:00 p.m. We were met warmly by the staff of Kokusai Koryuzaidan complete with welcome banner and the Philippine flag at the airport. We proceeded to Hyper Hotel located about 15 minutes away from the airport. We were given free time in the morning to rest because some of the foreign participants had to travel for more than 24 hours. Because most of us were too excited, some decided to go to the Jusco shopping mall which was located just across the street. After taking our lunch, there we assembled at the hotel lobby at noon to go to Kencho for the orientation. We were given pamphlets, map of Okinawa, and t-shirts which we were to wear for our courtesy call to the governor and sayonara party and study tour kit for the junior students. Before the orientation, all the participants were asked to make a short introduction of ourselves. The participants came from 10 countries including Japan. Most of the foreign students spoke little or no Japanese at all so most of the guardians were asked to translate for them. After the orientation, we checked in at the Hotel Sports Lodge in Itoman located 30 minutes away from Naha city. We, the foreign participants got a big surprise because the place looked like a typical Japanese style hotel. Ten to twelve people stayed in a room with no bed except for futon which we had to make ourselves before going to sleep and make-up in the morning. The biggest surprise of all was that we were asked to take our bath in the ofuro which

is a public bath where all of us had to take the bath in on big bathroom naked. Most of the foreign participants including me refused to do so. But because we didn't want to offend the organizers we decided to take our bath in turns secretly in our bathroom inside our room. Then at our nightly meeting at 9:00 p.m., we, the guardians politely told them that as much as we would like to know and learn about the Japanese culture that the ofuro thing was quite a bit hard for us to follow. They understood our situation and allowed us to use our bathrooms to take our showers but discretely. At around 4:30 p.m., we had our cultural exchange. The Japanese volunteer students entertained us with their well prepared program and games where all the students participated and some of the foreign students showed their different talents. After that, we had our informal welcome get together so that all of us could interact with one another.

Our hectic schedule started on the second day, July 23. We left the hotel at 9:30 for our courtesy call to the governor of Okinawa at the Okinawan Prefectural Government Office. The governor was not able to meet us but instead the vice governor welcomed us on his behalf, all of the participants were introduced to the official. After the courtesy call, we had the guided tour inside the Prefectural building and also the assembly. From there, we walked along the famous Kokusai Dori, this is a kilometer long street where you can go shopping and where we also took our lunch.

After lunch, we were divided into six groups with each group composing of about 7-8 foreign participants with 2 Japanese volunteer students who served us our tour guide going around Kokusai Dori and the wet and dry market. We went around for 1 1/2 hours by foot then. After the tour of the market, we went to Shurijo Castle by bus. We had a guide tour by a professional guide in Japanese. This is the place where I learned most of the Okinawan history. I never realized that Okinawa has a very interesting history of its own, very different from main land Japan. After Shurijo, we went back to the hotel and the students were allowed to go swimming at the nearby pool up to dinnertime.

On our third day, we visited the Peace Prayer and Memorial Park. This is the place where the Americans called the Suicide Cliff. They showed us the video about World War 2.

The film was very heart breaking after the video showing we went around the museum and park with the guide who was one of the survivors of the war.

After this, we proceeded to the Ryukyu Glassware where we took our lunch then we were shown how to make glassware and all of us took part in making one glass cup which was given to us at the farewell party. From there we proceeded to the lacquer factory where we designed the lacquer ware plate, this also was given to us on the sayonara party. This was the last itinerary for the day.

On the fourth day, we went to Gyokusendo Village. There we were asked to join the class we wanted to attend. There was sanshin class (Okinawa three string banjo), Okinawa dance, or karate. Joanna and Michelle chose Okinawan dance. After the lesson, all of the participants were asked to perform in front of the others what they had learned. After this, we toured the underground cave also located inside the Gyokusendo Village. We took our lunch there. After that, we watched the Eisa dance which is one of the most famous and popular dances in Okinawa. All the dancers have different sizes of drums which they play while dancing. After the show, all of us were taught how to dance the Eisa, then we were asked to perform on stage. While performing, some Taiwanese tourists watched us. After seeing us perform, they clapped their hands with approval.

From Gyokusendo Village, we proceeded to the Kadena Air Base then to the brown sugar factory then back to another hotel, the Pension Carolina, an hour away from the Gyokusendo Village. This time, the hotel is located at Onna-son, we took our dinner there and camped fire near the hotel after dinner.

The fifth day, July 26 was the most hectic day. On this day, we went to the Yambaru Ecology tour. We were divided into 2 groups. Our group went to the Yambaru natural forest area where Hijitaki water falls is found. We had to walk up and down the hill

for almost an hour. The walk was so tiring for the older members of the group because we had to climb lots of steep stairs many times. Most of us wanted to stop half way but of ego, won't allow us to admit that we were that old. After this tour, I really hated to see stairs. Upon returning to the starting place we took our packed lunch there and proceeded to the mangrove reservation area in Kesaji River. The guide showed us different kinds of mangrove and its importance to nature. From there, we went to the pineapple park, then back to the hotel.

July 27, our 6<sup>th</sup> day, we went to the Ocean park in the morning and after lunch we were picked up by the host families for our home stay.

July 28, 7<sup>th</sup> day, spent with our families/host families.

We went back to Hyper Hotel at 4:00 pm to prepare for the sayonara party. The party was held at the Miyako Hotel then we went back to Hyper Hotel after the party.

July 29, the day we came back from the study tour.

During this tour, I've learned more of my unique and rich heritage. I have learned to be proud to being an Okinawan descendant. I hope that all the members will be able to experience this unique opportunity given to us by the Okinawan government.

I thank the Okinawan government and the Philippine Okinawan Society for this opportunity that was given to me. I shall always cherish this.

Lastly, I would like to thank and commend kokusai Kouryuzaidan especially Mr.Naito and his staff for the excellent job for making the Junior Study Tour a success.

Maraming salamat po at mabuhay tayo!



橋本 真理  
Mari Hashimoto

星琉会(シンガポール)  
1世

## 『国や年令を超えた友情』

皆様、お元気でお過ごしですか？

第2回ジュニアスタディツアーに、シンガポールから引率として参加させていただき、本当に貴

重な体験をさせていただきました。全世界9ヶ国、関東や関西、そして沖縄各地から集まった、中高生の参加者、ボランティアの皆様、内藤さんや大城さんやその他スタッフの皆様、ホームステイを受け入れて下さった家族の皆様、ガイドや運転手の方々、県職員の皆様、ツアーの行く先々で取材してくださったTV関係者の方々、本当に沢山の方々で作られたこの素晴らしいツアーに参加できましたことに感謝でいっぱいです。

今振り返ってみても沢山の思い出が蘇って来ます。シンガポールから参加したナっちゃんは、最初、『日本人の友達できるかどうか不安』とずっと心配していました。それが、初日のウェルカムパーティーで仲良し4人組が出来上がってしまいました。国際通り散策では、物価価値の違う参加者を気づかうルートを子供達が考え出してくれていたのが印象的でした。首里城では、シンガポールでは見ることの出来ない真っ青な空が心に焼き付いています。平和記念館では、ナっちゃんの親友となった沖縄のアスカちゃんとリナちゃんが、沖縄の悲惨な歴史を教えてくれて、『6月23日の唄』を歌って聞かせてくれました。琉球ガラスを作ったことや、空手やエイサーの体験も楽しかった(筋肉痛で年令の差を感じましたケド)。沖縄と言えば海！と思っていた私には、やんばるの自然が新鮮でした。

9日間の間に、子供達や各国の引率者の方とも仲良くなり、国や年令を越えた友情が生まれたように思います。最後の那覇空港でナっちゃんがこぼした大粒の涙にもらい泣きし、アルゼンチンの引率者ダニエルが少年の様に大泣きして内藤さんに抱きつき、内藤さんも赤い目でまるでお兄さんが諭すようにダニエルの背中をたたいていた光景が頭から離れません。

沖縄の自然、歴史、文化、そして人間の素晴らしさ、子供達の純粹さ、大人達の暖かさを感じたこのジュニアスタディツアーを是非これからも、状況の許す限り続けていって欲しいと願ってやみません。またいつか、皆様に御会いすることがあります様、そしてそれまで、みなさんお元気で。



# 資 料 編

◇受入実績

◇平成14年度参加者名簿

◇平成13年度（第3回世界のウチナーンチュ大会）参加者名簿

◇制作物

◇参加申込書・引率者調査表

◇パーティー式次第

◇評価と反省・要望点

◇協力団体

◇新聞記事

◇世界で活躍するウチナーンチュ

## 受 入 実 績

(1) 海外参加者・引率者の国別内訳 【 ( ) はそのうち引率者の人数】

年 度 国 名	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	計
ボリビア	5 (1)	2	7 (1)
ブラジル	7 (1)	3 (1)	10 (2)
ク (カンボグラデ)	3 (1)	1	4 (1)
アルゼンチン	5 (1)	3 (1)	8 (2)
ペルー	5 (1)	3 (1)	8 (2)
ベネズエラ	2 (1)	0	2 (1)
メキシコ	3 (1)	0	3 (1)
キューバ	0	2 (1)	2 (1)
フランス	2 (1)	0	2 (1)
イギリス	2 (1)	0	2 (1)
ドイツ	2 (1)	0	2 (1)
米国(ハワイ)	0	2	2
ク (ケム)	1	0	1
ク(本土)	20 (4)	6 (2)	26 (6)
カナダ	6 (2)	2 (1)	8 (3)
フィリピン	4 (1)	3 (1)	7 (2)
シンガポール	0	2 (1)	2 (1)
計	67 (17)	29 (9)	96 (26)

(2) 海外参加者の世代別内訳

年 度 世 代	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	計
2 世	26	4	30
3 世	21	9	30
4 世	3	7	10
計	50	20	70

(3) 県内・国内参加者内訳

年 度 小中高	H13 (ウチナンチュ大会)	H14	計
小学生	9	0	9
中学生	24	13	37
高校生	17	11	28
計	50	24	74

平成14年度 参加者名簿

海外

	氏名	年齢	性別	世代	グループ	県人会名	趣味・特技等
1	当間 嗣栄 マウリシオ Mauricio Shiei Touma	14	男	4世	A	ブラジル 沖縄県人会	三線・舞踊 数学・沖縄文化
2	高良 グラウシヤ ネンシー Glaucia Nancy Takara	16	女	3世	A		サッカー
3	志良堂 ジャケリネ Jacqueline Shirado	16	女	4世	A	カンポグランデ 沖縄県人会	日本歌謡・民謡
4	米須 トマス Tomas Komesu	17	男	2世	B	在亜沖縄県人 連合会	タンゴ(ダンス)・サッカー
5	島袋 エリアーナ ビルヒーニア Eliana Virginia Shimabukuro	17	女	3世	C		ピアノ演奏
6	広中 山城 ルイス フェルナンド Luis Fernando Hironaka Yamagusuku	14	男	4世	B	ペルー 沖縄県人会	ギター演奏・歌・エイサー
7	ゴンザレス 平良 ハイメ Jaime Gonzales Taira	18	男	3世	C		ギター演奏・歌・エイサー
8	仲里 秋奈 Akina Nakazato	17	女	2世	B	ボリビア 沖縄県人会	料理、琉球國祭太鼓
9	ロニー ヴェレス 真栄城 Rony Velez Maeshiro	16	男	3世	C		ギター
10	ナリマン ピーニャ フォンテ Narryman Piña Fonte	17	女	4世	C	キューバ 沖縄県人会	ピアノ
11	清本・伊舎良 マッシュー 誠 Matthew Makoto Kiyomoto-Isara	15	男	4世	D	ハワイ 沖縄県人会	ウェイトリフティング・ビデオ ゲーム・ビデオ撮影
12	伊良波 クリストファー マイケル Christopher Michael Iraha	16	男	4世	E		コンピュータ・陸上・クロス カントリー競技
13	比嘉 クリステイン ミヨシ Cristan Miyoshi Higa	17	女	4世	F	北米 沖縄県人会	なし
14	バウチャー 飛鳥 Asuka Christine Boutcher	17	女	2世	F	ワシントンD.C. 沖縄会	ドラム・ギター・サッカー
15	ジョンサン サンダース Johnathan David Saunders	15	男	3世	E	アトランタ 沖縄県人会	サッカー 音楽(チェロ、ベース)
16	ジョセフ リー バザード Joseph Lee Buzzard	15	男	3世	D	北加 沖縄県人会	サクソホン
17	藤田 エリザベス 由利子 Elizabeth Yuriko Fujita	17	女	2世	D	トロント 球陽会	ピアノ・オーボエ・バレエ ジャズダンス・タップダンス
18	ミシェル アベダニア ペベニト Michelle Abedania Pebenito	18	女	3世	D	フィリピン 沖縄県人会	コンピュータ操作・読書 映画鑑賞・音楽鑑賞・朗読
19	ジョネロベス コメロス イグナシオ Jonerobeth Comereros Ignacio	17	女	3世	F		ダンス・チェス・音楽鑑賞 単語作りゲーム・ダンス
20	照屋 なつ子 Natsuko Teruya	15	女	2世	E	星琉会	音楽

引率者

	氏名	年齢	性別	世代	グループ	県人会名
1	具志堅 ジーナ 美千代	32	女	2世	A	ブラジル沖縄県人会
2	新里 ダニエル エステバン	32	男	2世	B	在亜沖縄県人連合会
3	赤嶺 光弘	56	男	1世	C	ペルー沖縄県人会
4	エステル タマキ トレス	35	女	3世	B	キューバ沖縄県人会
5	呉屋 君子	60	女	1世	D	北米沖縄県人会
6	大城 順市	37	男	1世	E	北加沖縄県人会
7	藤田 みどり	53	女	1世	E	トロント球陽会
8	エステーラ アレホ アドルフォ	48	女	2世	F	フィリピン沖縄県人会
9	橋本 真理	37	女	1世	F	星琉会(シンガポール)

平成14年度 参加者名簿

県内

	氏名	年齢	性別	グループ	学校名	趣味等
1	宮城 聖里香 Serika Miyagi	17	女	A	辺土名高校	バレー・ドッチボール・読書
2	大城 奈津紀 Natsuki Oshiro	16	女	E	石川高校	歌
3	山城 夢乃 Yumeno Yamashiro	15	女	C	美里高校	タップダンス・歌・読書・編み物・手話
4	宮里 あすか Asuka Miyazato	17	女	D	宜野湾高校	三線・歌
5	嵩本 哲也 Tetsuya Takemoto	16	男	A	西原高校	楽器(サククス)
6	西筋 理奈 Rina Irisuji	15	女	B	那覇高校	ダンス(HIP HOP)
7	玉城 智佳 Chika Tamaki	18	女	E	沖縄女子短大 附属高校	ピアノ・エイサー(琉球國祭り太鼓)
8	國場 雄作 Yusaku Kokuba	16	男	D	豊見城高校	ピアノ
9	又吉 香穂利 Kahori Matayoshi	15	女	F	糸満高校	エイサー・バレー
10	石井 雄大 Takehiro Ishii	17	男	F	八重山高校	クラシックギター
11	宮里 諒哉 Ryoya Miyazato	15	男	A	名護市立 大宮中学校	サッカー
12	奥間 友里恵 Yurie Okuma	14	女	D	金武町立 金武中学校	ピアノ
13	與那城 美姫乃 Mikino Yonashiro	12	女	B	沖縄市立 安慶田中学校	スポーツ(陸上競技・球技) パソコン・読書・小物集め
14	伊良波 一美 Kazumi Iraha	14	女	C	沖縄市立 山内中学校	書道・水泳・三線を少し
15	嘉数 真菜 Mana Kakazu	13	女	F	浦添市立 浦西中学校	パソコン・テニス
16	比嘉 麻臣 Asami Higa	13	女	B	那覇市立 松城中学校	琉舞・アイスホッケー 水球・ピアノ・ダンス
17	平敷 綾 Aya Heshiki	15	女	A	那覇市立 小禄中学校	書道
18	山城 信裕 Nobuhiro Yamashiro	14	男	D	与那原町立 与那原中学校	テニス・三線
19	杉山 星河 Seika Sugiyama	12	女	C	豊見城市立 伊良波中学校	ピアノ
20	川平 一之 Kazuyuki Kawahira	14	男	F	城辺町立 福嶺中学校	ギター

県外

	氏名	年齢	性別	グループ	学校名	趣味等
1	川崎 麻奈美 Manami Kawasaki	13	女	E	鶴見中学校	バレー・漫画を描く事
2	金城 香奈 Kana Kinjo	13	女	E	鶴見中学校	バドミントン・ピアノ 水泳
3	糸洲 久美子 Kumiko Itosu	17	女	B	明浄学院高校	英検準2級・漢検準2級・水泳
4	與那嶺 美香 Mika Yonamine	12	女	C	大阪市立 天下茶屋中学校	三線(琉球民謡協会新人賞) エイサー・空手・ピアノ

平成13年度 参加者名簿

第3回世界のウチナンチュ大会 海外

	氏名	年齢	性別	国名	県人会名	引率者
1	与儀 エリカ ERIKA YOGI	13	女	ブラジル	ブラジル沖縄県人会	松堂 ひろみ
2	太田 ゴゴ DIOGO TAKAKE OTA	15	男			
3	知花 ムリロ MURILLO CHIBANA	13	男			
4	諸見里 春美 KARINEHARUMI MOROMIZATO	14	女			
5	崎間 ビクトル 達由鯉 VICTORTA TSUYURI SAKIMA	14	男			
6	宮里 昌宏 MARCELO MASAHIRO MIYAZATO UETA	16	男			
7	宮城 ガストン GASTON MIYASHIRO	16	男	アルゼンチン	在亜沖縄県人連合会	安里エステラ アレハンドラ
8	比嘉 フェルナルド FERNANDO EZEQUIEL HIGA	14	男			
9	玉那覇 ノルベルト NORBERTO TAMANAHA	14	男			
10	大城 ノエリア NOELIA OSHIRO	11	女	ペルー	ペルー沖縄県人会	仲宗根 吉修
11	伊芸 ヘラルド GERALDO IGEI KOHATSU	14	男			
12	亀甲 マサル MASARU ARTURO KAMEGO	17	男			
13	山城 イサベル ISABEL YAMASHIRO NAKACHI	10	女			
14	比嘉 盛繁 HECIOR ALEXANDER HIGA SHIROMA	17	男	ボリビア	ボリビア沖縄県人会	安谷屋 敬
15	比嘉 恵理子 ERIKA CAROLINA HIGA YAMASHIRO	14	女			
16	大城 ニカリ NIKARI OSHIRO MURARA	10	女			
17	中田 弘喜 FERNANDO HIROKI NAKATA	12	男			
18	仲村 美恵子 MIEKO NAKAMURA SOKEI	14	女	メキシコ	メキシコ沖縄県人会	中村 イルマ ヌネス
19	仲村 ミツオ JOSE MITSUO NAKAMURA OROZCO	14	男			
20	仲村 ヤスヒロ YASUHIRO NAKAMURA OROZCO	13	男	ブラジル	カンボグランデ沖縄県人会	具志堅 弘
21	島田 バグネル 和良 WAGNER KAZUYOSHI SHIMADA	17	男			
22	具志堅 ノブユキ ANDERSON NOBUYUKI GUSHIKEN	16	男	ベネズエラ	ベネズエラ沖縄県人会	古謝 いそえ
23	古謝 景士 RAUL KEISHI KOJA	15	男			
24	宜保 亜由美 カレン AYUMI KAREN GIBO	14	女			
25	嶺井 真実 MELISSA MAMI MINEI	17	女			
26	金城 茜 MARGARET AKANE KINJO	14	女	カナダ	バンクーバー沖縄友愛会	仲宗根 功
27	目取真 ジャネル ミホコ JANELLE MIHOKO MEDORUMA	14	女		レスブリッジ沖縄県人会	



## 平成13年度 参加者名簿

## 第3回世界のウチナーンチュ大会 海外

	氏名	年齢	性別	国名	県人会名	引率者
28	玉栄 チャールズ CHARLES MASATOMO TAMAE	11	男	アメリカ	北米沖縄県人会	前田 洋子 (北米沖縄県人会)
29	ジョセフ ジョーンズ JOSEPH FREDRIC JONES	15	男		サンディエゴ沖縄県人会	
30	ブライアン デイビス BRYAN KIYOSHI DAVIS	16	男		ユタ州沖縄県人会	
31	デイビット レイモンド DAVID RICHARD RAYMOND	10	男		ワシントン沖縄県人会クラブ	トシコ パートリー
32	アリシア 恵子 プレンズ ALICIA KEIKO BERENZ	16	女		シカゴ沖縄県人会	洋子 サンダリン (シカゴ沖縄県人会)
33	テイル リチャーズ DALE KAORU RICHARDS	16	男		遊友会	
34	ティファニー フィドラー TIFFANY FIEDLER	14	女		オハイオ 沖縄友の会	
35	比嘉 龍児 RYUJI HIGA	16	男		米国東海岸沖縄県人会	
36	落合 北斗 HOKUTO CREIG OCHIAI	17	男		ニューヨーク沖縄県人会	
37	ロバート ファンチェス ROBERT JAMES FUNCHES	15	男		ワシントン D C 沖縄県人会	
38	ケイラ ケンプ KAYLA RENEE CAMP	14	女		アトランタ沖縄県人会	
39	アンディー ライダー ANDY KIYOSHI RIDER	12	男		D FW 沖縄県人会	
40	キム ビセット KIM BISSETTE	15	女		ジャクソンビル沖縄県人会	ルイス 高江洲 佳代子 (アトランタ沖縄県人会)
41	マイケル ハーカー MICHAEL ALAN HARKA	17	男		フェイエットビル沖縄県人会	
42	クリスタル スワンソン CRYSTAL LYNN SWANSON	11	女		ペンサコーラ沖縄県人会	
43	テレサ マリコ モートン TERESA MARIKO MORTON	18	女		フロリダ沖縄郷友会(がじまる会)	引率者無し
44	クリストファー ポーティン CRISTOPHER PORTIN	18	男		グアム沖縄県人会	
45	マリア ジェイリン ディキアツコ MA. JAYLYNC. DIQUIATCO	15	女			
46	チヨミ サンタローサ ランセス CHIYOMI STA. ROSA RANCES	14	女		フィリピン	フィリピン沖縄県人会
47	嶋崎 妙恵美 TAEMI SHIMAZAKI	12	女			
48	知念 賢吾 KENGO CHINEN	16	男	フランス	フランス沖縄県人会	知念 睦子
49	石垣 優児 YUJI JOE ISHIGAKI	13	男	イギリス	イギリス沖縄県人会	石垣 栄康
50	松川 ルカ LUCA TOM MUSASHI MATSUKAWA	10	男	ドイツ	ドイツ沖縄県人会	松川 力

## 平成13年度 参加者名簿

### 第3回世界のウチナーンチュ大会 県内

	氏名	学年	性別	学 校 名	
1	知名 倫子	Rinko China	小学4年	女	宜野座小学校
2	仲田 尚仁	Naohito Nakada	小学4年	男	南風原小学校
3	又吉 椎菜	Shiina Matayoshi	小学5年	女	漢那小学校
4	平良 久美子	KuIniko Taira	小学5年	女	志真志小学校
5	仲本 達郎	Tatsuro Nakalnoto	小学5年	男	城西小学校
6	新垣 史織	Shiori Arakaki	小学5年	女	知念小学校
7	目取真 輔	Tasuku Medoruma	小学5年	男	北玉小学校
8	城間 祥大	Shoudai Shiroma	小学6年	男	若狭小学校
9	照屋 寛佳	Hiroyoshi Teruya	小学6年	男	城南小学校
10	玉城 匠	Takumi Talnaki	中学1年	男	コザ中学校
11	知念 鈴奈	Suzuna Chinen	中学1年	女	伊江中学校
12	仲間 良成	Yoshinari Nakama	中学1年	男	越来中学校
13	牧山 梨紗	Risa Makiyama	中学1年	女	沖繩尚学中学校
14	仲程 祐介	Yusuke Nakahodo	中学1年	男	古蔵中学校
15	成底 徹	Toru Narisoko	中学1年	男	港川中学校
16	仲里 彩夏	Ayaka Nakazato	中学1年	女	知念中学校
17	屋嘉比 梢	Kozue Yakabi	中学1年	女	東風平中学校
18	玉城 彩衣	Ai Tamaki	中学1年	女	那覇中学校
19	松本 佳子	Yoshiko MatsuInoto	中学1年	女	那覇中学校
20	東江 真理子	Mariko Agarie	中学2年	女	伊江中学校
21	与那嶺 悠	Haruka Yonamine	中学2年	男	伊良波中学校
22	古謝 ちひろ	Chihiro Koja	中学2年	女	嘉手納中学校
23	比嘉 紗苗	Sanae Higa	中学2年	女	鏡が丘養護学校
24	仲程 若菜	Wakana Nakahodo	中学2年	女	古蔵中学校
25	平田 吉郎	Yoshiro Hirata	中学2年	男	佐敷中学校
26	比嘉 彩賀	Ayaka Higa	中学2年	女	松城中学校
27	比嘉 亜樹	Aki Higa	中学2年	女	興南中学校
28	古堅 葵	Aoi Furugen	中学3年	女	安田中学校
29	佐久川 俊介	Shunsuke Sakugawa	中学3年	男	沖繩尚学中学校
30	謝花 千夏	Chinatsu Jahana	中学3年	女	宮里中学校
31	普天間 一樹	Kazuki Futenma	中学3年	男	小禄中学校
32	玉那覇 優香	Yuka Tamanaha	中学3年	女	西原東中学校
33	宮城 鮎子	Ayuko Mayagi	中学3年	女	西原東中学校
34	高田 真奈美	Manami Takada	高校1年	女	小禄高等学校
35	翁 長里美	Satomi Onaga	高校1年	女	小禄高等学校
36	上原 恵理佳	Erika Uehara	高校1年	女	昭和薬科付属高校
37	与那覇 恵梨	Eri Yonaha	高校1年	女	石川高等学校
38	德里 麗華	Reika Tokuzato	高校1年	女	石川高等学校
39	中村 晴枝	Harue Nakamura	高校1年	女	那覇国際高校
40	伊計 美希	Miki Ikei	高校2年	女	宮古高校
41	仲宗根 智世	Tomoyo Nakasone	高校2年	女	宮古農林高校
42	佐久田 智世	Tomoyo Sakuda	高校2年	女	宮古農林高校
43	川口 真未	Mami Kawaguchi	高校2年	女	首里東高等学校
44	池原 理一	Riichi Ikehara	高校2年	男	普天間高校
45	宝蔵寺 祐司	Yuji Hozoji	高校2年	男	普天間高校
46	仲間 明奈	Akina Nakama	高校3年	女	宮古高校
47	茶畑 美加	Mika Chabata	高校3年	女	小禄高校
48	新崎 舞	Mai Arasaki	高校3年	女	小禄高校
49	比屋根 恵美	Megumi Hiyane	高校3年	女	南風原高校
50	真謝 絵美	Emi Maja	高校3年	女	名護高校

- 募集要項
- ウェルカムボード
- 横断幕
- ネームプレート
- 名刺
- 学習ツール
- 各国ガイドブック
- Tシャツ
- 記念アルバムビデオ
- 修了証
- 引率者への感謝状



ジュニアスタディーツアーTシャツのプリント  
県費留学生 ヘルナンデス エミ子 マリアさん  
(県立芸大：北米) がデザイン

(フロント)



(バック)

参加申込書・調査票

第2号様式 2002年度ジュニアスタディーツアー 2002年5月 日

海外参加者申込書

ふりがな		写 真	
パスポート氏名 (漢字・カタカナで 正確に)		(縦4cm×横3cm)	
FAMILY NAMES (7ｶﾞﾊﾞｯﾀ大文字で)		(カラー・白黒どちらでも可)	
GIVEN NAMES (7ｶﾞﾊﾞｯﾀ大文字で)			
生年月日	年 月 日	年 齢 (2002.4.1時点)	才
学 年		性 別	M F
血液型		国 籍	
世 代	日系 世	沖縄に来るのは (今回で)	回目
日本語・聞く力 (番号に○をつける)	0・1・2・3・4 できない 中級 よくてできる	パスポート有無	有 無
日本語・話す力 (番号に○をつける)	0・1・2・3・4 できない 中級 よくてできる	パスポート期限	年 月まで有効
現 住 所 (現地の言語・活 字体で丁寧に記入)			
E-mail			
得意な事・趣味・ 人前で披露できる事			
伝統工芸希望 (1つ選んで○)		伝統体験希望 (1つ選んで○)	
1 漆器コース 2 紅型コース		1 三線 2 舞踊 3 空手	
ホームステイについて			
1 親戚・知人宅を希望。		2 県内参加児童宅を希望。	
沖縄県内連絡先 (親戚・知人)			
住 所		電 話	
氏 名			
保 護 者			
氏 名		本人との続柄	
連絡先 (電話番号)		出身市町村	
保護者の同意 私は、上記の者(被保護者)が「2002年度ジュニアスタディーツアー」 に参加する事に同意いたします。 署名			
備 考 (病気 薬 食事 その他)			

様式6号 2002年度ジュニアスタディーツアー 2002年 月 日

県内参加者申込書

ふりがな		写 真	
氏 名		(縦4cm×横3cm)	
(7ｶﾞﾊﾞｯﾀ大文字で)		(カラー・白黒どちらでも可)	
学 校		学 年	才
生年月日	年 月 日	年 令 (2002.4.1時点)	
性 別	男 女	血液型	
住 所			
電 話		F A X	
E-mail (携帯メール可)			
特技・資格			
趣味・ 人前で披露できる事			
外国語が話せる			
英語・スペイン語・ポルトガル語・ドイツ語・フランス語・( )			
伝統工芸希望 (1つ選んで○)		伝統体験希望 (1つ選んで○)	
1 漆器コース 2 紅型コース		1 三線 2 舞踊 3 空手	
海外参加者のホーム ステイ受入につ いて			
7/27(土)～28(日)に海外参加者(中学生)を自宅にホームステイさせることが出来ますか? 1 希望 2 可能 3 不可 (※選考には影響ありません)			
保 護 者		本人との続柄	
氏 名		本人との続柄	
電 話		携帯電話	
保護者の同意 私は、上記の者(被保護者)が「2002年度ジュニアスタディーツアー」 に参加する事に同意いたします。 署名 印			
備 考 (既往症 薬 食事 他)			

第3号様式 2002年度ジュニアスタディーツアー 2002年5月 日

海外引率者調査表

ふりがな		写 真	
パスポート氏名 (漢字・カタカナで 正確に)		(縦4cm×横3cm)	
FAMILY NAMES (7ｶﾞﾊﾞｯﾀ大文字で)		(カラー・白黒どちらでも可)	
GIVEN NAMES (7ｶﾞﾊﾞｯﾀ大文字で)			
生年月日	年 月 日	年 齢	才
性 別	M F	国 籍	
世 代	日系 世	沖縄に来るのは (今回で)	回目
日本語・聞く力 (番号に○をつける)	0・1・2・3・4 できない 中級 よくてできる	パスポート有無	有 無
日本語・話す力 (番号に○をつける)	0・1・2・3・4 できない 中級 よくてできる	パスポート期限	年 月まで有効
使用言語 (○をつける)			
英語 + スペイン語 + ポルトガル語 + ( )			
現 住 所 (現地の言語・活 字体で丁寧に記入)			
連絡先 (電話番号)			
F A X 番号 (国番号から記入)			
E-mail			
ホームステイ日 (7/27)の宿泊先			
1 自分の親戚・知人宅に宿泊する。		2 県の指定する場所に宿泊する。(無料)	
沖縄県内連絡先 (親戚・知人)			
住 所		電 話	
氏 名			
履 歴 事 項 (簡潔に)			
引率者の同意 私は、「2002年度ジュニアスタディーツアー」に引率者として参加し、 ツアー期間中、引率者としての業務に積極的貢献することに同意します。 署名			
備 考 (病気 薬 食事 その他)			

様式7号 2002年度ジュニアスタディーツアー 2002年 月 日

国内参加者申込書

ふりがな		写 真	
氏 名		(縦4cm×横3cm)	
(7ｶﾞﾊﾞｯﾀ大文字で)		(カラー・白黒どちらでも可)	
学 校		学 年	才
生年月日	年 月 日	年 令 (2002.4.1時点)	
性 別	男 女	血液型	
住 所			
電 話		F A X	
E-mail (携帯メール可)			
特技・資格			
趣味・ 人前で披露できる事			
外国語が話せる			
英語・スペイン語・ポルトガル語・ドイツ語・フランス語・( )			
伝統工芸希望 (1つ選んで○)		伝統体験希望 (1つ選んで○)	
1 漆器コース 2 紅型コース		1 三線 2 舞踊 3 空手	
ホームステイについて			
1 親戚・知人宅を希望。		2 県内参加児童宅を希望。	
沖縄県内連絡先 (親戚・知人)			
住 所		電 話	
氏 名			
保 護 者			
氏 名		本人との続柄	
電 話		携帯電話	
保護者の同意 私は、上記の者(被保護者)が「2002年度ジュニアスタディーツアー」 に参加する事に同意いたします。 署名 印			
備 考 (既往症 薬 食事 他)			

## 平成14年度ジュニアスタディーツアー ウェルカムパーティー式次第

日時：平成14年7月22日（月）19:00～  
場所：ホテルスポーツロッジ糸満 2階多目的ホール  
司会：（財）国際交流・人材育成財団 屋良正樹

1. 開 会
2. 歓迎のあいさつ 沖縄県文化環境部長 永山政邦
3. 乾 杯 （財）国際交流・人材育成財団理事長 翁長良盛  
～ 食事・懇談 ～
4. 余 興 （余興の希望者をオリエンテーションで募集）
  - (1) ギター演奏 ペルー参加者：広中山城 ルイス フェルナンド、ゴンザレス 平良 ハイメ
  - (2) 台湾民族舞踊「歓迎之舞」 沖縄尚学高校地域国際交流クラブ
  - (3) 民 謡 大阪沖縄県人会：與那嶺美香他3名
  - (4) 沖縄創作舞踊「カマドさん」 沖縄尚学高校：地域国際交流クラブ
  - (5) アルゼンチン・タンゴ アルゼンチン参加者：米須 トマス、島袋 エリアーナ ビルヒーニア
  - (6) ダンス 県内参加者：西筋理奈（那覇高校）
  - (7) サックス演奏 北カリフォルニア沖縄県人会：ジョセフ リー バザード
  - (8) 全員でサンバ ブラジル沖縄県人会他
- 5 閉 会

## 平成14年度ジュニアスタディーツアー サヨナラパーティー

平成14年7月28日（日）  
沖縄・都ホテル 瑞雲の間

修了式（18:30～19:10）

司会：沖縄県国際交流課長

- 1 開式
- 2 主催者あいさつ・・・知事（代読:出納長 嘉数 昇明）
- 3 修了証授与
- 4 感謝状贈呈
- 5 閉式

サヨナラパーティー（19:20～20:30）

司会：（財）沖縄県国際交流・人材育成財団国際交流課長

- 1 開会
- 2 乾杯の音頭・・・（財）沖縄県国際交流・人材育成財団理事長 翁長良盛
- 3 歓談
- 4 ジュニアスタディーツアー「思い出のアルバム」
- 5 余興
  - (1)台湾民族舞踊「日月漂風光」地域国際交流クラブ
  - (2)沖縄民謡「鳩間節」（與那嶺美香・比嘉麻臣）
  - (3)ギター、サックス「ティアーズインヘブン」（ジョセフ リー バザード・石井雄大）
  - (4)タンゴ「ラ・コンパシータ」（島袋 エリアーナ ビルヒーニア・米須 トマス）
  - (5)トランプマジック（ウエレス 真栄城 ロニー・新里 ダニエル エステバン）
  - (6)ギター「片手に三線を」（広中 山城 ルイス フェルナンド・ゴンザレス 平良 ハイメ）
  - (7)ジャズダンス（藤田 エリサベス 由利子）
  - (8)沖縄民謡「安里屋ユンタ」（当間 嗣栄 マウリオ・志良堂 ジャケリネ・與那嶺美香）
  - (9)歌「あなたに」（西筋理奈・宮里あすか・石井雄大）
  - (10)サンバ（高良 グラウシア・志良堂 ジャケリネ）
  - (11)エイサー（又吉香穂利・宮里諒哉・玉城智佳・当間 嗣栄 マウリオ・國場雄作・広中 山城 ルイス フェルナンド）
  - (12)インド創作舞踊「踊るマハラジャ」地域国際交流クラブ
  - (13)歌「ベストフレンド」（全員）
- 6 閉会

○評価点

- (1) 海外県系人子弟の沖縄に対する理解とふるさと沖縄とのきずなを深め、アイデンティティーの継承に貢献できた。
- (2) 海外子弟と県内外の児童生徒との交流が、期間中を通して活発的に行われ、若い世代の国際ネットワークの形成・発展につなげることができた。
- (3) 県内及び海外の参加生徒の国際的視野を広げ、将来の国際交流を担う人材の育成が図られた。
  - ・沖縄県への留学を希望（米国3世）
  - ・大学で日本語学科への進学（米国4世）
  - ・ツアーをきっかけに語学への興味が湧き、海外留学を目指す（県内高1生）等
- (4) ツアー終了後、ハワイの海外参加者が「ジュニアスタディーツアー」のホームページを開設し、これまでに参加者から延べ938件のアクセス（10月現在）があり、各国を結ぶ交流が継続している。
- (5) ウチナーンチュ大会のツアーの反省点を十分検討し、改善を図れた。
- (6) 高校生ボランティアはとても良かった。ボランティアに寄せ書きのお礼をしたい。

○反省・要望点

- (1) 大浴場のみ入浴は、海外参加者には受け入れにくい。個室シャワーがあると良かった。
- (2) 「パーティー」用のドレスを持ってきている海外参加者がいた。事前にTシャツで構わないことを記載して欲しい。表敬時の引率者の服装等も事前に指示が欲しい。
- (3) ホテルでもウォータータンク等で自由に水が飲めると良かった。水を購入すると高い。
- (4) エコツアーは、比地大滝に一本化して、交流しながらゆとりを持って行けたら良いのではないかな。交流する時間が足りない。
- (5) 事前に決められたプログラムだったので、可能なら参加者達の意志が反映できるようになると良い。
- (6) 「食事」は大事なキーワード。今回は全て宿泊先で用意された物だった。例えば公設市場で2,000円分ずつ買い物をして、それぞれの国の料理を作って食べ合ったりすると良いと思う。あるいは、何回目かの料理でブラジル料理を入れてみる等。
- (7) 互いの国からプレゼントを持ち寄り交換会を行ったらどうか。今回持ってきている子と持ってきていない子がおり、気兼ねしたのではないかな。1個ずつ持ち寄り交換するのも良い。
- (8) 到着してからツアー開始までの食事代が高くて困った。母国と比べ物価の高い日本では、一食であっても負担がとても大きい。
- (9) ホームステイの期間延長を希望。来日後一日と、さよならパーティー前に一日。参加者は母国の親戚などから様々な物を日本で購入してくるよう頼まれている。また、親戚へのお土産を1週間持ち歩いて、最終日に親戚に渡すのは大変だった。
- (10) 県内・国内参加者に英語、スペイン語の堪能な参加者がいるとコミュニケーションがもっと深まると思う。語学力での参加者決定枠を作るとよいのではないかな。
- (11) 海外参加者が事前に日本語を学んでから参加させるようにして欲しい。e-learning等で、海外でも日本語を学ぶことができるシステムが利用できるのではないかな。
- (12) 報告書（日本語・英語・西語）は、本を作るだけでなく、一部でもホームページ上に載せた方がよいのではないかな。海外からアクセスできるのは、インターネットだけである。
- (13) 参加者がメモを取るように働きかけたほうが良い。
- (14) こどもたちの作る「ジュニアスタディーツアーニュース」、豆記者等、参加者が主体的にかかわれる場を作るとよいのではないかな。
- (15) 「交流プログラム」の際に、引率者ミーティングが欲しかった。
- (16) エイサー体験がショー的なものだったので、本場の琉球舞踊や各地域を練り歩く伝統的なエイサーも海外の子ども達に見せてあげたかった。
- (17) 「引率者」という名称よりも例えば「アドバイザー」等がふさわしいのではないかな。
- (18) 県庁や首里城では訪問の時間が短かく、各言語の説明も見直してほしい。事前学習などが必要なのではないかな。

**協 力 団 体**

みなさん、ご協力頂きありがとうございました。（敬称は略させて頂きました。）

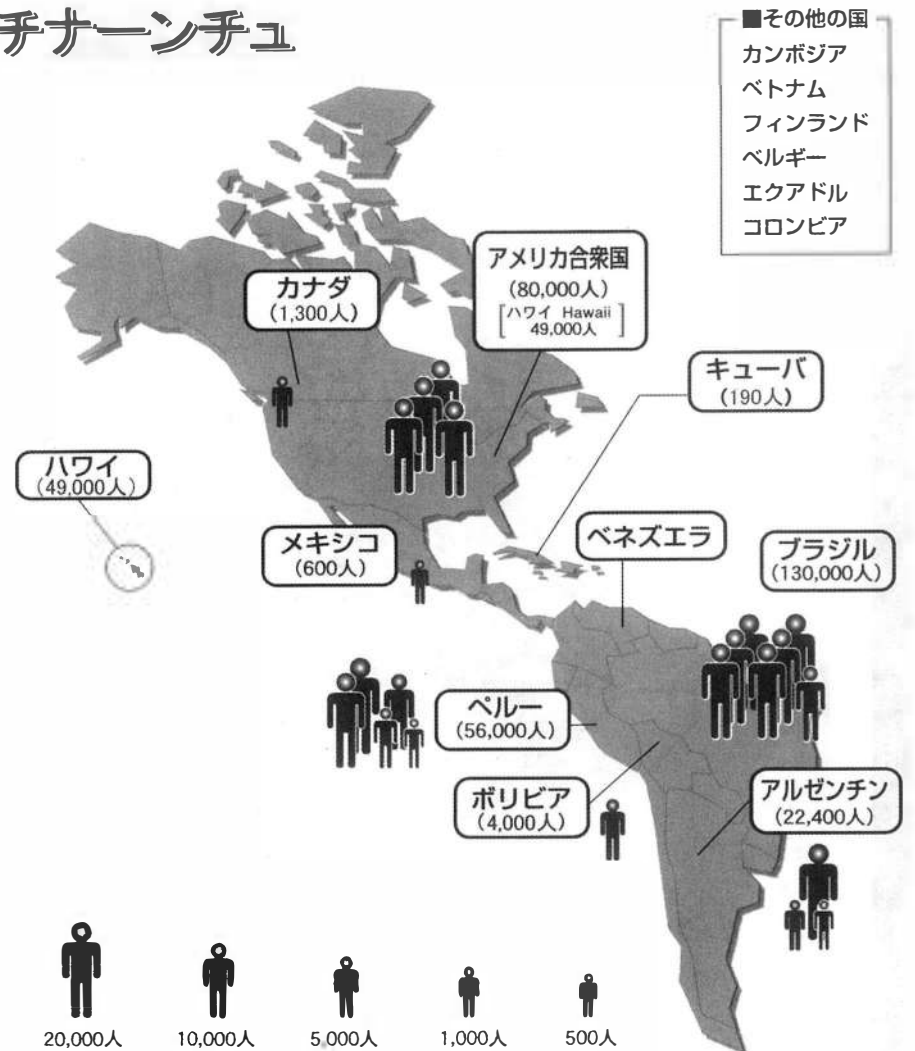
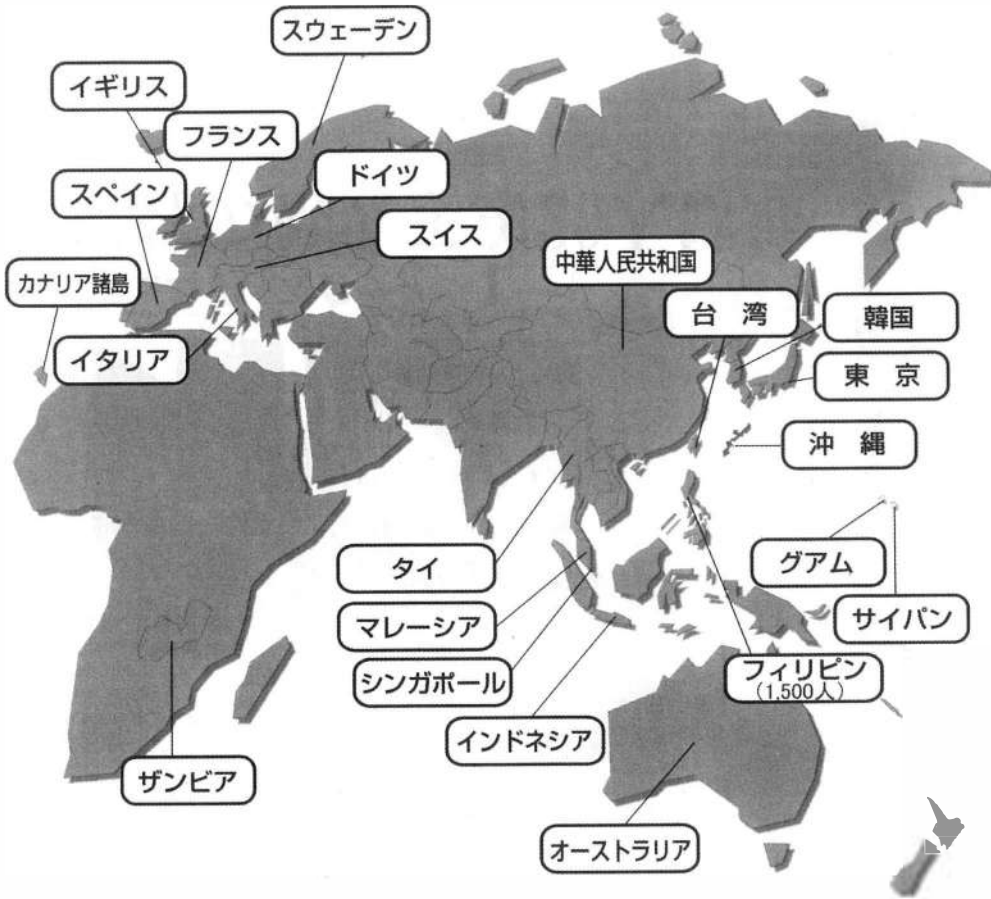
名 称			
体験学習	玉泉洞王国村	三線	志田 海音子、堀川 里香
		舞踊	新垣 史乃、斉藤 靖佳
		空手	赤嶺 一武
平和・ 歴史学習	沖縄県観光ボランティアガイド友の会	歴史ガイド	新里 スエ（首里城）
		平和ガイド	吉嶺 全一（平和祈念公園）
平和学習	県立平和祈念資料館		
自然学習	国頭村ツーリズム協会		崎濱 秀人、大城 馨 山川 雄二
ク	東村エコツーリズム協会		比嘉 茂正、島袋 要
ボランティア	沖縄尚学高校地域国際交流クラブ		与座 宏章 教諭
			全 慶子 教諭
			照屋 朋子
			坂野 雄飛
			仲本 一代
			古堅 真利亜
			澤岬 幸
			神村 盛康
			大城 利奈
			新垣 友美
			平 千恵
			新垣 友規
			崎浜 麻子
			榊 芳梨
			金城 芽里
			真栄城 優子
			上原 真由美
			池間 美香
			仲村 彩
			高山 省吾
	野崎 洋平		
	島田 博敬		
	照屋 建三		
	翁長 駿		
	金 憲祐		
	比嘉 美早紀		
	菊地 志織		
	池原 伶奈		
	山田 実奈海		
	嘉手納 梓		







# 世界で活躍するウチナーンチュ



国際交流関連業務概要より

平成12年10月現在 外務省領事移住部発行の「海外在留邦人数調査統計」に基づく県人数の推計。

## 平成14年度ジュニアスタディーツアー報告書

(平成14年11月発行)

発行／沖縄県文化環境部国際交流課  
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2  
TEL 098-866-2479 FAX 098-869-9073

財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団  
〒900-0085 那覇市東町1-1 那覇東町開館7階  
TEL 098-941-6755 FAX 098-941-6812

編集／財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

印刷／グローバル企画印刷株式会社  
〒901-1111 沖縄県南風原町字兼城577番地  
TEL 098-889-3222 FAX 098-889-0444